

Pocket WiFi® 5G A503SH
取扱説明書

Pocket WiFi® 5G A503SH 取扱説明書 目次

はじめにお読みください

はじめにお読みください.....	4
------------------	---

ご利用にあたって

各部の名称とはたらき.....	8
ホーム画面について.....	9
データ通信量に関する通知について.....	13
SIMカードについて.....	13
充電する.....	16
電源を入れる／切る.....	17

無線LANで接続する

無線LAN（Wi-Fi）について.....	20
無線LAN機能をONにする.....	20
Windows®/パソコンを接続する.....	21
Macを接続する.....	23
iPhone® / iPad®を接続する.....	24
Android搭載端末を接続する.....	26
Wi-Fi対応機器を接続する.....	28
WPS対応の無線LAN端末を接続する.....	29

USBケーブルで接続する（Windows）

Windows/パソコンとのUSB接続について.....	32
Windowsパソコンへの取り付け／取り外し.....	32

USBケーブルで接続する（Mac）

MacとのUSB接続について.....	36
Macへの取り付け／取り外し.....	36

各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

タッチメニューについて.....	40
SSIDや認証方式を設定する.....	40
データ通信量を設定する.....	44
本機と接続中の機器の情報を確認する.....	47
Wi-Fiスポットの設定を行う.....	48
その他の設定を行う.....	50
お知らせを確認する.....	65
本機の情報を確認する.....	66
データ通信量に関する操作を行う.....	67

各種機能を設定する（Web UIを使用する）

Web UIの概要.....	74
Web UIの見かた.....	77
接続中の無線LAN端末を確認する.....	80
モバイルネットワークを設定する.....	84
Wi-Fiスポットの設定を行う.....	93
PINコードを管理する.....	99
接続履歴を確認する.....	106
LAN設定を行う.....	107
Wi-Fi設定を行う.....	139
端末設定を行う.....	150
端末情報を表示する.....	174

困ったときは／仕様／保証／お問い合わせ先	
トラブルシューティング	176
仕様	179
本製品の比吸収率（SAR）について	180
FCC Notice	182
保証とアフターサービス	183
お問い合わせ先	184

はじめにお読みください

はじめにお読みください..... 4

はじめにお読みください

本製品をお使いになる前に

「クイックスタート」、「お願いとご注意」をご覧になり、正しくお取り扱いください。

ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

記載内容について

基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。
また、特にことわりがない限りホーム画面からの操作を中心に説明しています。操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、キー表示について

この本書で記載しているディスプレイ表示は、実際の表示と異なる場合があります。本書で記載しているキー表示は、説明用に簡略化しているため実際の表示とは異なります。

その他の表記について

この本書では、本製品のことを「本機」と表記しています。

動作環境（対応OS）

本機の動作環境は次のとおりです。

次の環境以外では、動作しない場合があります。また、下記に該当する場合でも、パソコン本体、接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

- ・パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各パソコンの取扱説明書などをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。
- ・ここで記載している動作環境は2025年6月現在の情報です。

項目	説明
OS	Windows 11 Home (64bit)
	Windows 11 Pro (64bit)
	Windows 11 Enterprise (64bit)
	Windows 11 Education (64bit)
	Windows 10 Home (64bit)
	Windows 10 Pro (64bit)
	macOS Sequoia 15.1 (64bit)
	Sonoma 14.7 (64bit)
	Ventura 13.7 (64bit)
	Android™
インターフェイス	iOS™
	対応OSは日本語と英語です。
対応ブラウザ	USB2.0以上 ¹
	Microsoft Edge® 130以降
	Google Chrome™ 131以降
	Safari 18.1以降

¹ 最大伝送速度は、USB3.0接続時に最大5Gbps、USB2.0接続時に最大480Mbpsとなります。「USB3.0」、「USB3.1 (Gen1)」、「USB3.2(Gen1)」は、表記は異なりますが同一の規格となります。通信速度やその他の機能に差はありません。

お買い上げ品の確認

お買い上げ品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足していた場合には、[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

付属品は大切に保管してください。

ACアダプタやUSBケーブルは付属していません。ACアダプタ（別売）、USBケーブル（別売または推奨品）をお買い求めください。

- ・A503SH（本体）
- ・SIM取り出しツール（試供品）
- ・クイックスタート
- ・お願いとご注意
- ・無線LAN初期設定シール

SSIDとパスワード（セキュリティキー）について

本機と無線LAN端末を接続するときには、SSID（ネットワーク名）とパスワード（セキュリティキー：WPA®キー）が必要となります。本機のSSIDおよびパスワード（セキュリティキー）については、次の方法で確認できます。

1

ホーム画面で **Wi-Fi接続** → **手動接続**



SSIDとパスワード（セキュリティキー）が表示されます。

- ・本機には、2種類のSSIDが設定されています。お買い上げ時の暗号化方式は、SSID A／SSID BとともにWPA2-PSK/WPA3-SAE(AES)に設定されています。お買い上げ時、SSID Bは無効に設定されています。
- ・SSIDとパスワード（セキュリティキー）のお買い上げ時の設定は、同梱の無線LAN初期設定シールで確認することもできます。

知的財産権について

- ・「SoftBank」および「ソフトバンク」の名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の商標または登録商標です。
- ・Pocket WiFiは、ソフトバンク株式会社の登録商標です。
- ・Microsoft®、Windows®、Internet Explorer®、Microsoft Edgeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・Mac、macOS、iPad、iPhone、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。
- ・iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・iOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- ・Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Access®（WPA）、Wi-Fi Alliance®、WPA2™、Wi-Fi Protected Setup™はWi-Fi Alliance®の商標または登録商標です。
- ・Android、Google Chromeは、Google LLCの商標です。
- ・QRコードは株式会社デンソーウエーブの登録商標です。
- ・USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

ご利用にあたって

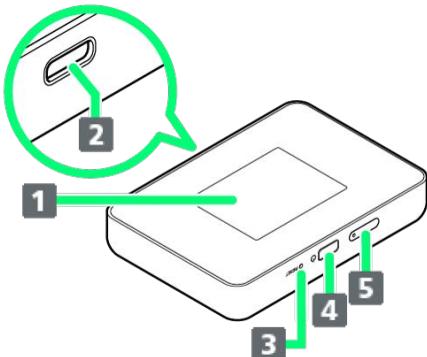
- ・本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- ・回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・第三者の利用を防ぐために、画面ロック解除時のパスワードの設定をおすすめします。画面ロック解除時にパスワードを設定する手順については、「[画面ロックを設定する](#)」を参照してください。
- ・法人でご契約された場合、管理者による機能制御が可能です。機能制御の内容によっては、本書記載の設定や操作が行えない場合があります。
- ・海外で無線LANをご利用される場合は、その国の法律に基づいた設定変更が必要となります。

ご利用にあたって

各部の名称とはたらき.....	8
ホーム画面について.....	9
データ通信量に関する通知について.....	13
SIMカードについて.....	13
充電する.....	16
電源を入れる／切る.....	17

各部の名称とはたらき

本体について



名称	説明
① ディスプレイ	本機の状態が表示されます。また、本機のディスプレイはタッチパネルです。指で直接触れて操作できます。
② USB Type-C™接続端子	USBケーブル（別売または推奨品）およびACアダプタ（別売）、クレードル（オプション品）を接続します。
③ リセットボタン	先端が細いもので長押し➡ディスプレイでOKと操作して、本機をお買い上げ時の状態に戻します。
④ 電源キー	電源の入／切やディスプレイの消灯／点灯などの操作ができます。
⑤ SIMカードトレイ	SIMカードを装着します。

💡 クレードル（オプション品）とUSBケーブル（別売または推奨品）の利用について

パソコンと有線LAN接続

本機をクレードル（オプション品）にセットし、LANケーブルでパソコンに接続してデータ通信、Web UIの利用ができます。詳しくは、クレードル（オプション品）の取扱説明書を参照してください。

パソコンとUSB接続

本機とパソコンをUSBケーブル（別売または推奨品）で接続し、充電、データ通信、Web UIの利用ができます。詳しくは、USBケーブル（別売または推奨品）の取扱説明書を参照してください。

! リセットボタン使用時のご注意

リセットボタンを使用する際には次の点にご注意ください。

- ・電源を入れた状態で行ってください。
- ・リセットボタンを押すときは、けがなどにご注意ください。
- ・リセットボタンを強く押さないでください。破損の原因となります。
- ・先端がとがったものを使用しないでください。破損の原因となります。
- ・ペンや鉛筆などを使用すると、インクなどによりリセットボタンが汚損する場合があります。ご注意ください。
- ・リセットボタン以外にWeb UIからもお買い上げ時の状態に戻することができます。詳しくは、「[本機をリセットする](#)」を参照してください。

ホーム画面について

ホーム画面の見かた



名称	説明
① ホーム画面 (1ページ目)	ホーム画面1ページ目です。
② ホーム画面 (2ページ目)	ホーム画面2ページ目です。ディスプレイを左右にフリックするとページが切り替わります。
③ ホーム画面 (3ページ目)	ホーム画面3ページ目です。
④ ステータス バー	各種のステータスアイコンが表示され、通信状態や電池残量をお知らせします。
⑤ ネットワー クオペレーター 名	現在接続しているネットワークオペレーター名です。
⑥ タッチメ ニュー	各種のタッチメニューアイコンが表示され、タップして各種機能を利用できます。
⑦ データ通 信量	ご利用開始もしくはリセットしてから現在までのデータ通信量を表示します。
⑧ ページイン ジケータ	3ページあるホーム画面のうち、現在どのページを表示中かを示します。

ステータスアイコンの見かた

アイコン	説明
■ ~ ■ 1	モバイルネットワーク接続中（4段階）
■ 1	モバイルネットワーク未接続
.id	モバイルネットワーク検索中
国外	国外
5G ² / 4G / LTE	現在接続しているネットワーク名
(↔)	Wi-Fiスポットに接続中
↓	データ受信中
↑	データ送信中
↑↓	データ送受信中
↑↓↓	データの送受信なし
↑↑↑	通信速度制限表示（本体温度が高温の場合）
↑↑	機能制限表示（本体温度が高温の場合）
①	接続中機器の台数表示
USB	USB接続表示
Ethernet	Ethernetポート接続表示
①	ソフトウェア更新情報あり表示
↓	ソフトウェアダウンロード中
■ ~ ■ 3	電池残量表示
■ ↓	充電中
■ 4	バッテリーケアモード中（弱）（電池アイコンが緑色表示）
■ 4	バッテリーケアモード中（強）（電池アイコンが黄色表示）
■ 5	電池温度が高温になったことによる充電制限中
■ 1	充電エラー表示
✉	未読お知らせあり
2G / 5G / OBS	Wi-Fiモード表示
DFS ⁶	気象レーダーなどへの電波干渉をしていないか確認中
» ⁷	通信速度の低速化の予告（個人で契約された場合に表示）
» ⁸	通信速度の低速化の開始（個人で契約された場合に表示）
»» ⁸	通信速度の低速化の解除（個人で契約された場合に表示）

- 国際ローミング中はアイコンにRマークが付きます。
- お使いの端末画面上部（画面上部）に待受時は「5G」と表示されている場合でも、通信を行う際は表示が「4G」に切り替わり、4G通信が使用される可能性があります。
- 電池温度が高くなっている場合は ■ (赤色) で表示されます。
- 充電制限中は電池アイコン内の線が斜めに表示されます。
- 長時間連続使用で充電し続けたり、充電している時間の割合が多い場合に表示されます。
- 通信規格を5GHzに設定した場合に表示されます。

- 7 低速化が開始されるまでの残りデータ通信量が規定の値になった場合に表示されます。
- 8 翌月になると自動的に消去されます。また、本機の設定で消去することもできます。詳しくは、「[データ通信量の通知アイコンを消去する](#)」を参照してください。

タッチメニューアイコンについて

タッチメニューアイコンをタップすることで、各種機能の設定や本機の情報を確認できます。



アイコン

1 Wi-Fi接続

説明

QRコードやWPSでの接続、本機のSSIDとパスワード（セキュリティキー）の確認や設定ができます。

2 データ通信量	モバイルネットワークのデータ通信量の確認や、最大通信量、自動リセット日の設定などができます。
3 接続リスト	接続中の機器を確認できます。
4 Wi-Fiスポット	Wi-FiスポットやソフトバンクWi-Fiスポットの接続や設定ができます。
5 設定	モバイルネットワーク、Wi-Fi設定、スリープ設定、画面ロック解除時のパスワード、画面の明るさ、画面点灯時間、言語／時間の表示、ソフトウェアの更新、USBモード、クイック起動、充電モード、Web UIのURLおよびQRコードの確認、電池の状態、通知アイコンの消去などの各種設定ができます。
6 お知らせ	受信したお知らせの確認や削除ができます。
7 端末情報	本機の電話番号、ソフトウェアのバージョンなどを確認できます。
8 データ量設定（個人で契約された場合）	データ通信量が、通信速度の低速化が開始される値に近づいた場合、または通信速度の低速化が開始された場合にアイコンが表示されます。通常速度に戻すお申し込みや通常速度を維持する予約または予約の取り消しができます。

- ・各種機能の設定や本機の情報の確認画面で をタップすると前の画面へ、 をタップするとホーム画面に戻ります。

ディスプレイの消灯／スリープモードについて

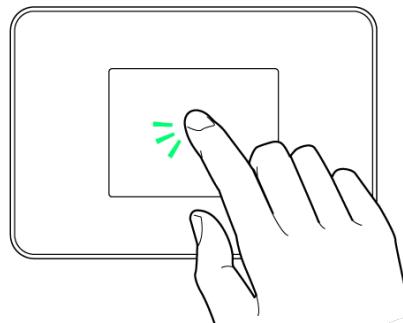
- ・本機の操作を一定時間行わなかったときは、本機のディスプレイが自動的に消灯します。再度ディスプレイを点灯させるには、電源キーを押してください。
- ・本機が無線LAN端末と接続されていない状態で、本機の操作を一定時間行わなかったときや、本機を充電していないときは、本機はディスプレイ消灯後、省電力のためにスリープモードになります（スリープモードになるまでの時間は、お買い上げ時は5分に設定されています）。
- ・スリープモード中は、無線LAN機能とモバイルネットワークがOFFになります。
- ・電源キーを押すと、ディスプレイが点灯しスリープモードが解除されます。スリープモードが解除されると、無線LAN機能とモバイルネットワークがONになり、無線LAN端末と再度接続できるようになります。
- ・一部の無線LAN端末には、無線LAN接続後一定時間データ通信が行われないと、無線LAN接続を切断する機能が搭載されています。その機能を搭載した無線LAN端末を本機に接続しているとき、無線LAN端末の機能によって無線LAN接続が切断され、その後本機がスリープモードになることがあります。
- ・スリープモードになるまでの時間やスリープモードのON/OFFの設定を、本機のタッチメニューもしくはWeb UIで変更することができます。「[スリープモードを設定する](#)」、「[Wi-Fiの詳細設定を行う](#)」を参照してください。

タッチパネルの使いかた

本機のディスプレイはタッチパネルです。指で直接触れて操作できます。

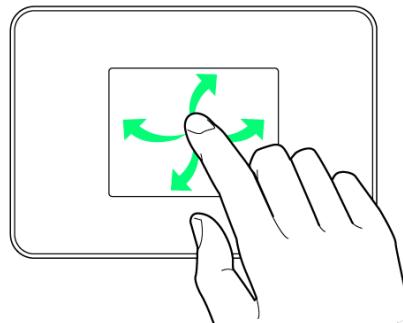
・タップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。



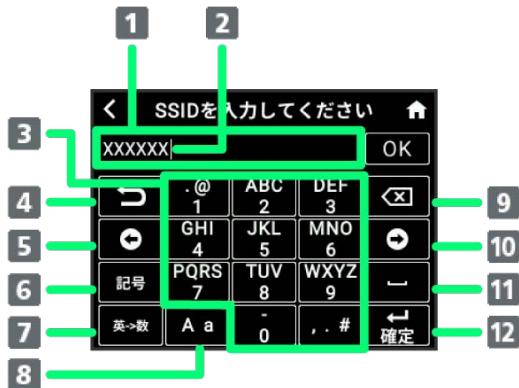
・フリック

画面に軽く触れて、上下左右に指を軽くはじきます。



文字入力画面の見かた

英数字／記号の入力時にはディスプレイにキーボードが表示されます。



項目	説明
① 入力欄	文字や数字を入力します。
② カーソル	文字が入力される位置を示します。
③ キー表示	入力する文字や数字を選択します。
④ 1つ前の文字に戻す	1つ前の文字に戻します。
⑤ カーソル移動（左）	カーソルを左に移動します。
⑥ キー表示切り替え（記号）	記号を入力する画面が表示されます。
⑦ キー表示切り替え（英字、数字）	英字の入力と数字の入力画面を切り替えます。
⑧ 大文字／小文字切り替え	入力した確定前の1文字の大文字と小文字を切り替えます。
⑨ 消去	カーソルの左にある文字を1文字消去します。
⑩ カーソル移動（右）	カーソルを右に移動します。
⑪ スペース	スペースを入力します。
⑫ 確定	入力した文字を確定します。

文字を入力する

英字は、「ABC」「DEF」のように、1つのキーに複数の文字が割り当てられています。

同じキーを連続してタップすることで、入力される文字が変わります。

- 例：「b」を入力する場合は、 を2回連続してタップします。
- 例：「c」を入力する場合は、 を3回連続してタップします。

同じキーに割り当てられている文字を1つ前の文字に戻すには、 をタップします。

- 例： を3回連続してタップして「c」が表示されている場合は、 をタップすると「b」に戻ります。

同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するには、次のように操作します。

- 例：「ca」を入力する場合は、 を3回連続してタップ → をタップ → を1回タップします。

入力した文字の大文字／小文字を切り替えるには、 をタップします。

「#」や「/」などの記号を入力する場合は、 をタップします。 をタップすると、入力できるすべての記号が表示されます。 をタップすると元の画面に戻ります。

データ通信量に関する通知について

データ通信量に関する通知について

ご契約のプランに従い、ご利用のデータ通信量により、通信速度が低速化します。

個人でご契約の場合、低速化の予告や開始をお知らせやポップアップ画面、アイコンで通知します。

法人でご契約の場合、法人コンシェルサイトの設定によって、低速化の予告や開始をお知らせで通知します。

状態	説明
低速化の予告	データ通信量が、通信速度の低速化が開始される値に近づくと、お知らせが配信され、ポップアップ画面や  がディスプレイに表示されます。
低速化の開始	データ通信量が規定の値になり、通信速度の低速化が開始された場合にお知らせが配信され、ポップアップ画面や  がディスプレイに表示されます。
低速化の解除	お客様のお申し込みにより、通信速度の低速化が解除された場合にお知らせが配信され、  がディスプレイに表示されます。

SIMカードについて

SIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。

SIMカードのお取り扱い

SIMカードのお取り扱いにあたり下記事項をご確認ください。

① IC部分

SIMカードのお取り扱いについては、下記のソフトバンクのウェブサイトをご参照ください。

<https://www.softbank.jp/mobile/support/protect/usim/>

- ・ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- ・ SIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。

② SIMカードご利用時の注意事項

SIMカード利用時は、次の点にご注意ください。

- ・ 他社製品のICカードリーダーなどにSIMカードを挿しし故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- ・ SIMカードの所有権は当社に帰属します。
- ・ 紛失・破損によるSIMカードの再発行は有償となります。
- ・ 解約などの際は、当社にご返却ください。
- ・ お客様からご返却いただいたSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- ・ SIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- ・ お客様ご自身でSIMカードに登録された情報内容は、控えをとっておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ SIMカードや本機（SIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。
- ・ SIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- ・ 他社のUSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限される場合があります。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

③ SIMカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。

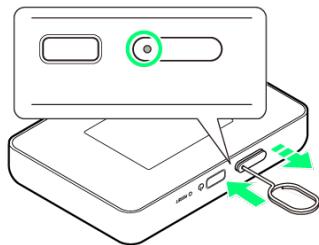
- ・ SIMカードは、あらかじめSIMカードトレイに取り付ける必要があります。SIMカードトレイに取り付けずに、SIMカードを取り付けないでください。

ご利用にあたって

A503SH

1

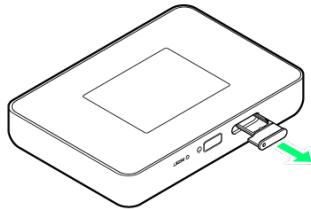
ディスプレイを上にして、SIMカードトレイ取り出し用の穴に、SIM取り出しツールの先を差し込む



- ・SIMカードトレイが飛び出すまで、しっかりとまっすぐ差し込んでください。

2

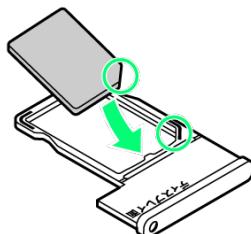
SIMカードトレイを引き出す



- ・ディスプレイを下にしたり、本機を立てた状態でSIMカードトレイを引き出すと、SIMカードがSIMカードトレイから外れ、紛失する可能性があります。
- ・SIMカードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。ゆっくりと水平にSIMカードトレイを引き抜いてください。

3

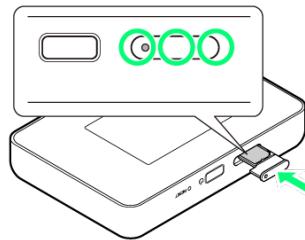
SIMカードをSIMカードトレイに取り付ける



- ・SIMカードの向き（切り欠き部分／IC（金属）部分を下向き）に注意して、ゆっくりと取り付けます。
- ・SIMカードはSIMカードトレイから浮かないように取り付けてください。浮き上がった状態のまま本機に差し込むと、破損の原因となります。

4

SIMカード挿入口に、SIMカードトレイを差し込む



- SIMカードの取り付けが完了します。

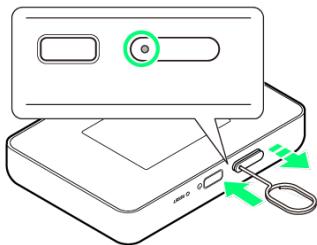
- ・SIMカードトレイを裏表逆に挿入しないでください。
- ・SIMカードトレイを矢印の方向へ奥までゆっくりと水平に差し込みます。
- ・SIMカードトレイを差し込む際は、○部分をしっかりと押して、本機とSIMカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- ・SIMカードトレイは完全に閉じてご利用ください。

SIMカードを取り外す

必ず本機の電源を切ったあとで行ってください。

1

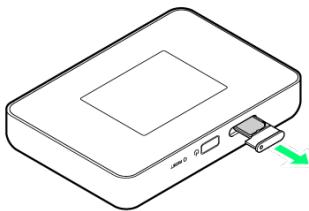
ディスプレイを上にして、SIMカードトレイ取り出し用の穴に、SIM取り出しツールの先を差し込む



- ・SIMカードトレイが飛び出すまで、しっかりとまっすぐ差し込んでください。

2

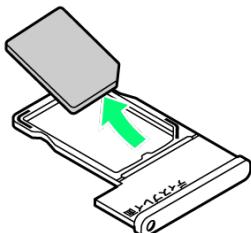
SIMカードトレイを引き出す



- ・ディスプレイを下にしたり、本機を立てた状態でSIMカードトレイを引き出すと、SIMカードがSIMカードトレイから外れ、紛失する可能性があります。
- ・SIMカードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。ゆっくりと水平にSIMカードトレイを引き抜いてください。

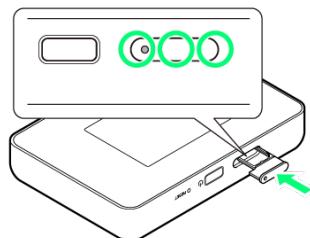
3

SIMカードを取り外す



4

SIMカード挿入口に、SIMカードトレイを差し込む



- SIMカードの取り外しが完了します。

- ・SIMカードトレイを裏表逆に挿入しないでください。
- ・SIMカードトレイを矢印の方向へ奥までゆっくりと水平に差し込みます。
- ・SIMカードトレイを差し込む際は、○部分をしっかりと押して、本機とSIMカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- ・SIMカードトレイは完全に閉じてご利用ください。

充電する

お買い上げ時、本機は十分に充電されていません。はじめてお使いになるときは、必ず充電してからお使いください。
また、本機は使用していない状態でも放電します。長期間使用しなかった場合は、充電してから使用してください。長期間使用しない場合は完全放電の防止のため、定期的に充電を行ってください。
使用時間の目安については、「仕様」を参照してください。使用時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。

充電について

充電条件について

低温下での充電は、十分な性能が得られません。USBケーブル（別売または推奨品）およびACアダプタ（別売）は周囲温度5°C～35°Cの範囲でご使用ください。
パソコンにUSBケーブル（別売または推奨品）で接続して充電する場合、本機の温度などにより充電されない場合がありますのでご注意ください。

本機に対応する別売品または推奨品を使用してください

必ず本機に対応するUSBケーブル（別売または推奨品）でパソコンに接続するか、または本機に対応するACアダプタ（別売）を使用して充電ください。
本機に対応しているUSBケーブル（推奨品）については、次のウェブサイトをご参照ください。

<https://jp.sharp/k-tai/products/a503sh/>

本機やACアダプタ（別売）の発熱について

充電中は本機やACアダプタ（別売）などが温くなることがあります、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合にはただちに使用を中止してください。

長時間ご利用時のご注意

本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

高温時のご注意

操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり熱くなることがあります。その際には安全のため、端末動作が停止して電源が切れることができます。この場合には、本機の内部温度が下がってから、電源を入れてください。

電池保護機能について

長時間充電を行ったり、本機が高温になったりすると、電池保護機能が働き充電機能が停止します。
その場合、時間をおいて再度充電を行ってください。充電の際は一度ケーブルを抜き、再度ケーブルをつないで充電を開始してください。

USBケーブル（別売または推奨品）の取り付けについて

USBケーブル（別売または推奨品）を取り付けるときは正しい方向に無理なく取り付けてください。逆方向に取り付けようすると、破損や故障の原因となります。

充電中のディスプレイ表示について

電源を切っている間でも、電源キーを押すとディスプレイが点灯してアニメーションが表示され、充電の状況が表示されます。

充電モードをバッテリーケアモード（強）に設定したときのご注意

電池残量が少ないため、持ち運びの際は事前に標準モードに設定して充電をお願いします。

パソコンと接続して充電する

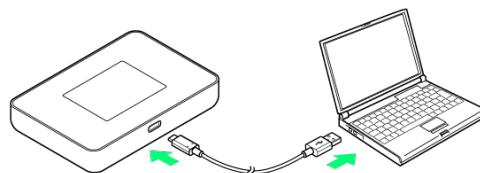
USBケーブルは別売です。本機に対応しているUSBケーブルをお使いください。USBケーブルについてはソフトバンクのウェブサイトを参照してください。

ここでは、USB（Type-A）とUSB Type-Cの端子を持つケーブルを使用して充電する方法を例に説明します。

- ・必ずパソコンの電源を入れた状態で行ってください。
- ・パソコンの接続環境によっては、充電できない場合があります。
- ・パソコンとの接続には、パソコンに搭載されている標準ドライバーが使用されます。
- ・お使いになるUSBケーブル（別売または推奨品）の取扱説明書を参照してください。

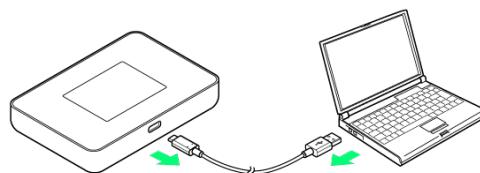
1

USBケーブル（別売または推奨品）のUSB Type-Cプラグを本機のUSB Type-C接続端子に差し込み、USBケーブル（別売または推奨品）のUSBプラグをパソコンに差し込む



2

充電が完了したらUSBケーブル（別売または推奨品）をパソコンと本機から抜く



充電状態はディスプレイで確認できます。

! パソコンでの充電について

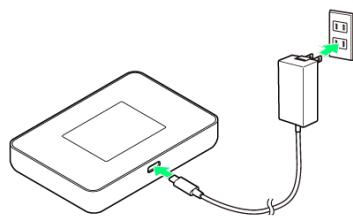
ACアダプタ（別売）を使用した場合より、充電に時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。

ACアダプタで充電する

ACアダプタは別売です。本機に対応しているACアダプタをお使いください。ACアダプタについてはソフトバンクのウェブサイトを参照してください。

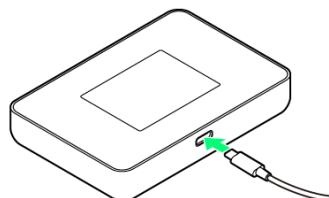
ここでは、ACアダプタ（USB PD-PPS対応 USB Type-C™ 急速充電 ACアダプタ [ZSDBAV] (SB-AC22-TCPD))を使用して充電する方法を例に説明します。

- お使いになるACアダプタ（別売）の取扱説明書を参照してください。



1

本機のUSB Type-C接続端子に、ACアダプタ（別売）のUSB Type-Cプラグを差し込む



2

ACアダプタ（別売）のプラグを起こし、コンセントに差し込む

- 充電が始まります。

3

充電が完了したら、ACアダプタ（別売）の電源プラグをコンセントから抜き、ACアダプタ（別売）のUSB Type-Cプラグを本機から取り外す

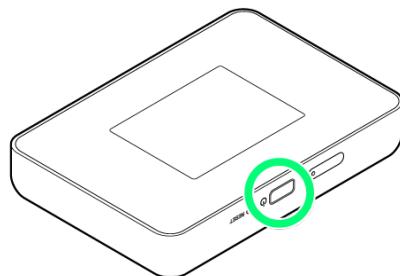
- 充電が終了します。

電源を入れる／切る

1 電源を入れる

1

電源キー（2秒以上長押し）



- 電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。

- モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

ディスプレイの を右にフリック



- ホーム画面が表示されます。

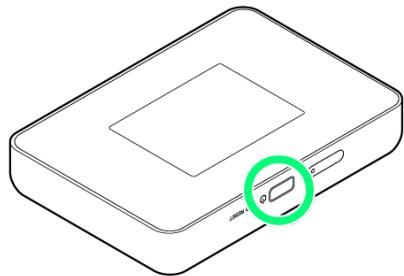
・画面ロック解除時のパスワードを設定している場合、パスワードの入力画面が表示されます。パスワードを入力して画面ロックを解除する手順については、「[パスワードを入力して画面ロックを解除する](#)」を参照してください。

・SIMカードにPIN認証が設定されている場合、PINコードの入力を求める画面が表示されます。「[PIN認証を行う（本体から）](#)」または「[PIN認証を行う（Web UIから）](#)」を参照し、PINコードを入力してください。PIN認証の設定については、「[PIN認証を設定する](#)」を参照してください。

電源を切る

1

電源キー（2秒以上長押し）



2

電源をオフ

クイック起動がオンのため、次回電源を入れるとき起動までの時間を短縮することができます。ただし、電源オフの状態でも少量の電池を消費します。

電源をオフしますか？

キャンセル

電源をオフ

再起動

電源が切れます。

無線LANで接続する

無線LAN（Wi-Fi）について.....	20
無線LAN機能をONにする.....	20
Windows®/パソコンを接続する.....	21
Macを接続する.....	23
iPhone®／iPad®を接続する.....	24
Android搭載端末を接続する.....	26
Wi-Fi対応機器を接続する.....	28
WPS対応の無線LAN端末を接続する.....	29

無線LAN（Wi-Fi）について

■ 無線LAN（Wi-Fi）について

詳細設定について

必要に応じて、無線LAN機能の詳細設定を変更することもできます。詳しくは、「[Wi-Fi設定を行う](#)」を参照してください。

同時接続について

本機は無線LAN端末を同時に16台まで接続することができます。

また、無線LAN接続とUSB接続を同時に利用することもでき、その場合の最大接続台数は無線LAN接続16台、USB接続1台の合計17台となります。

接続できる端末について

Wi-Fi Alliance認定の端末に接続できます。

■ 無線LAN（Wi-Fi）利用時のご注意

セキュリティについて

セキュリティを確保するため、お買い上げ時に設定されているSSID（ネットワーク名）とパスワード（セキュリティキー：WPAキー）を変更してお使いになるようおすすめします。

通信速度について

本機に接続している無線LAN端末の接続数などによっては、最大通信速度が低下する場合があります。

概要

本機はIEEE 802.11a/b/g/n/ac/axの無線LAN規格に対応しており、無線LAN規格IEEE 802.11a/n/ac/ax（5GHz帯）、IEEE802.11b/g/n/ax（2.4GHz帯）に対応している無線LAN対応機器と接続できます。
また、お使いの無線LAN端末がWPS機能に対応している場合には、無線LANの接続設定を簡単に行うことができます。
WPS機能に対応していない無線LAN端末でも、本機に設定されたSSID（ネットワーク名）とパスワード（セキュリティキー：WPAキー）を入力するだけで簡単に接続することができます。
SSIDとパスワード（セキュリティキー）については、「[SSIDとパスワード（セキュリティキー）について](#)」を参照してください。
また、接続設定したあとは、無線LAN端末の使用や設定によっては、本機と無線LAN端末の無線LAN機能をONにするだけで自動的に接続が再開されます。

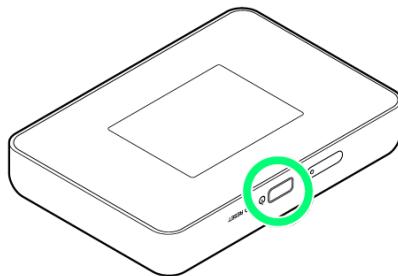
無線LAN機能をONにする

本機は、電源を入れると自動的にインターネットに接続します。

■ 5G／4G／LTEで接続する

1

電源キー（2秒以上長押し）



電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります、自動的にインターネットに接続します。

- ・モバイルネットワークに接続すると （モバイルネットワーク接続中アイコン）が点灯します。
- ・本機がスリープモードになると、無線LAN機能が無効になります。
電源キーを押すとスリープモードが解除され、再度無線LAN機能がONになります。

Windows®パソコンを接続する

Windowsのパソコンと本機を接続してインターネットに接続します。

! SSID（ネットワーク名）、パスワード（セキュリティキー：WPAキー）について

SSIDとパスワード（セキュリティキー）については、「[SSIDとパスワード（セキュリティキー）について](#)」を参照してください。

お買い上げ時のSSIDは、「A503SHa-」または「A503SHb-」で始まる6桁の英数字です。

SSIDやパスワード（セキュリティキー）を変更した場合は、変更した内容でご利用ください。

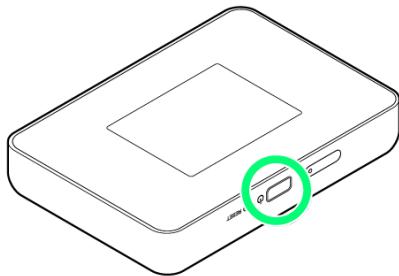
本機に設定したSSID以外の表示のネットワークは、近隣から受信した無線LAN電波です。接続する場合はご注意ください。

Windows 11で接続する

画面表示や手順は、Windows 11で、無線LAN設定の暗号化方式が「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」で「SSID」に接続する場合を例にして説明しています。

1

電源キー（2秒以上長押し）



電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。

・モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

パソコンの無線LAN機能をONにする

・パソコンの無線LAN機能をONにする方法は機種ごとに異なります。各パソコンメーカーに確認してください。

3

タスクトレイの をクリック → 「Wi-Fi」の をクリック

「ネットワーク設定」が表示されます。

4

本機の「SSID」を選択 → 接続



- ・本機の「SSID」が表示されていない場合は、本機の電源キーを押してスリープモードを解除してください。
- ・本機の認証方式の設定によっては、セキュリティに関するメッセージが表示される可能性があります。その場合は、本機の認証方式の設定を変更して再度接続することをお勧めいたします。

5

パスワード（セキュリティキー）を入力 → 次へ



接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例： ）。

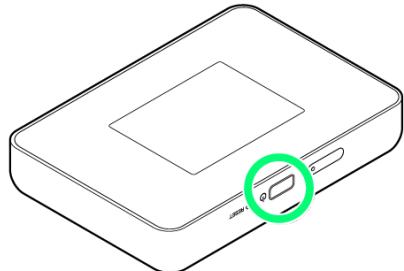
- ・上記画面から設定できない場合は、スタートメニューを右クリック → 設定 → ネットワークとインターネット → Wi-Fi → 利用できるネットワークを表示 と操作してネットワーク名（SSID）一覧を表示し、以降はWindowsのヘルプを参照して設定してください。
- ・パソコンの共有についての確認メッセージが表示される場合がありますが、ここでは設定しません。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。

Windows 10で接続する

画面表示や手順は、Windows 10で、無線LAN設定の暗号化方式が「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」で「SSID」に接続する場合を例にして説明しています。

1

電源キー（2秒以上長押し）



- 電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。
- モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

パソコンの無線LAN機能をONにする

- パソコンの無線LAN機能をONにする方法は機種ごとに異なります。各パソコンメーカーに確認してください。

3

タスクトレイの をクリック

- 「ネットワーク設定」が表示されます。

4

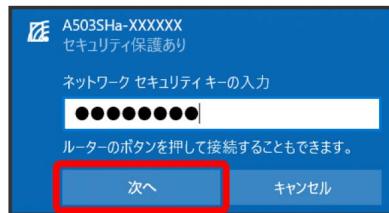
本機の「SSID」を選択 接続



- 本機の「SSID」が表示されていない場合は、本機の電源キーを押してスリープモードを解除してください。
- 本機の認証方式の設定によっては、セキュリティに関するメッセージが表示される可能性があります。その場合は、本機の認証方式の設定を変更して再度接続することをお勧めいたします。

5

パスワード（セキュリティキー）を入力 次へ



接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数を示すアイコンが表示されます（例：）。

- 上記画面から設定できない場合は、スタートメニューを右クリック 設定 ネットワークとインターネット Wi-Fi 利用できるネットワークを表示 と操作してネットワーク名（SSID）一覧を表示し、以降はWindowsのヘルプを参照して設定してください。
- パソコンの共有についての確認メッセージが表示される場合がありますが、ここでは設定しません。パソコンの共有については、Windowsのヘルプを参照してください。

Macを接続する

Macと本機を接続してインターネットに接続します。

! SSID（ネットワーク名）、パスワード（セキュリティキー：WPAキー）について

SSIDとパスワード（セキュリティキー）については、「[SSIDとパスワード（セキュリティキー）について](#)」を参照してください。

お買い上げ時のSSIDは、「A503SHa-」または「A503SHb-」で始まる6桁の英数字です。

SSIDやパスワード（セキュリティキー）を変更した場合は、変更した内容でご利用ください。

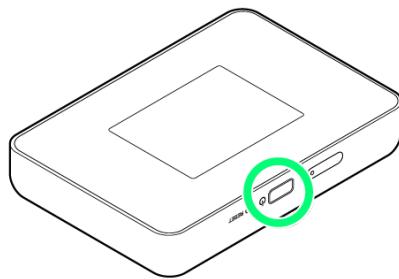
本機に設定したSSID以外の表示のネットワークは、近隣から受信した無線LAN電波です。接続する場合はご注意ください。

Macを接続する

画面表示や手順は、macOS Sequoia15.3.2で、無線LAN設定の暗号化方式が「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」の場合を例にして説明しています。

1

電源キー（2秒以上長押し）



電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります、自動的にインターネットに接続します。

- モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

アップルメニューから システム設定 → Wi-Fi



3

Wi-FiをONにする



Macの無線LAN機能がONになります。

4

ネットワーク名の一覧から本機の「SSID」の 接続



- 本機の「SSID」が表示されていない場合は、本機の電源キーを押してスリープモードを解除してください。
- 本機の認証方式の設定によっては、セキュリティに関するメッセージが表示される可能性があります。その場合は、本機の認証方式の設定を変更して再度接続することをお勧めいたします。

5

セキュリティキーを「パスワード」に入力 OK



接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例： 1）。

iPhone® / iPad®を接続する

iPhone / iPadと本機を接続してインターネットに接続します。

! SSID（ネットワーク名）、パスワード（セキュリティキー：WPAキー）について

SSIDとパスワード（セキュリティキー）については、「[SSIDとパスワード（セキュリティキー）について](#)」を参照してください。

お買い上げ時のSSIDは、「A503SHa-」または「A503SHb-」で始まる6桁の英数字です。

SSIDやパスワード（セキュリティキー）を変更した場合は、変更した内容をご利用ください。

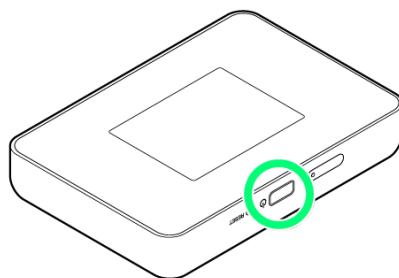
本機に設定したSSID以外の表示のネットワークは、近隣から受信した無線LAN電波です。接続する場合はご注意ください。

iPhoneを接続する

画面表示や手順は、iPhoneのiOS 18で、無線LAN設定の暗号化方式が「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」の場合を例にして説明しています。

1

電源キー（2秒以上長押し）



電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。

- モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

設定 → Wi-Fi



3

Wi-FiをONにする



iPhoneの無線LAN機能がONになります。

4

「ネットワーク」リストから本機の「SSID」をタップ



・本機の「SSID」が表示されていない場合は、本機の電源キーを押してスリープモードを解除してください。

5

パスワード（セキュリティキー）を「パスワード」に入力 接続 または Join



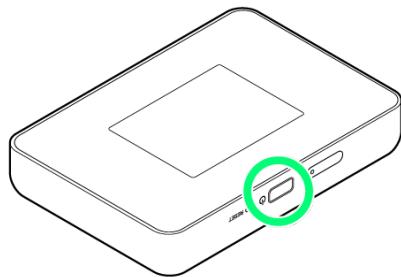
接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例：）。

iPadを接続する

画面表示や手順は、iPadのiOS 18.3.2で、無線LAN設定の暗号化方式が「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」の場合を例にして説明しています。

1

電源キー（2秒以上長押し）



- 電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります、自動的にインターネットに接続します。
- モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

設定 → Wi-Fi



3

Wi-FiをONにする



- iPadの無線LAN機能がONになります。

4

「ネットワークを選択...」リストから本機の「SSID」をタップ



- 本機の「SSID」が表示されていない場合は、本機の電源キーを押してスリープモードを解除してください。
- 本機の認証方式の設定によっては、セキュリティに関するメッセージが表示される可能性があります。その場合は、本機の認証方式の設定を変更して再度接続することをお勧めいたします。

5

パスワード（セキュリティキー）を「パスワード」に入力 接続



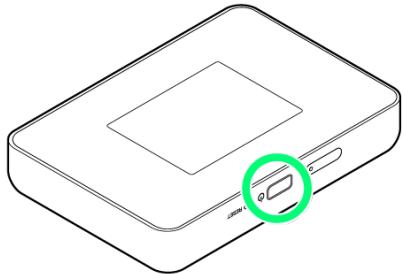
- 接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例：）。

QRコードを利用してiOS搭載端末を接続する

本機に表示したQRコードをアプリでスキャンして、iPhoneやiPadなどのiOS搭載端末を自動的に本機と接続することができます。

1

電源キー（2秒以上長押し）



- 電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。
- ・モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

Wi-Fi接続 → QRコードで接続



3

iOS搭載端末を起動 → カメラを起動

4

iOS搭載端末から本機のディスプレイに表示されたQRコードを読み取る

5

カメラの指示に従って、読み取った情報から本機に接続

- 接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例：）。iOS搭載端末の画面にWi-Fiの電波アイコンが表示されていることを確認してください。

Android搭載端末を接続する

一般的なAndroid搭載端末と本機を接続してインターネットに接続します。

SSID（ネットワーク名）、とパスワード（セキュリティキー：WPAキー）について

SSIDとパスワード（セキュリティキー）については、「[SSIDとパスワード（セキュリティキー）について](#)」を参照してください。

お買い上げ時のSSIDは、「A503SHa-」または「A503SHb-」で始まる6桁の英数字です。

SSIDやパスワード（セキュリティキー）を変更した場合は、変更した内容でご利用ください。

本機に設定したSSID以外の表示のネットワークは、近隣から受信した無線LAN電波です。接続する場合はご注意ください。

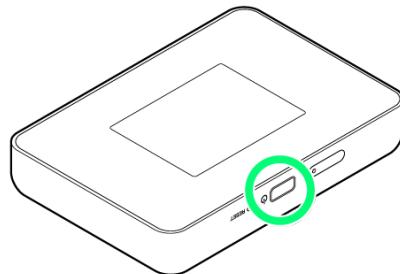
Android搭載端末を接続する

画面表示や手順は、Android 15で、無線LAN設定の暗号化方式が「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」の場合を例にして説明しています。その他の暗号化方式の場合は、一部の操作および画面が異なります。

お使いのAndroid搭載端末によって操作が異なる場合があります。詳しくはお使いのAndroid搭載端末の取扱説明書を参照してください。

1

電源キー（2秒以上長押し）



- 電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。

- ・モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

Android搭載端末を起動 → メニューから [設定] → [ネットワークとインターネット] → [Wi-Fiとモバイルネットワーク]

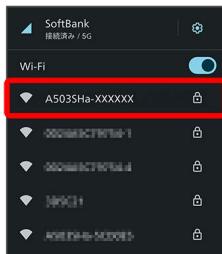
3

Wi-FiをONにする

- Android搭載端末の無線LAN機能がONになります。

4

本機の「SSID」をタップ



- ・本機の「SSID」が表示されていない場合は、本機の電源キーを押してスリープモードを解除してください。

5

パスワード（セキュリティキー）を「パスワード」に入力 → 接続



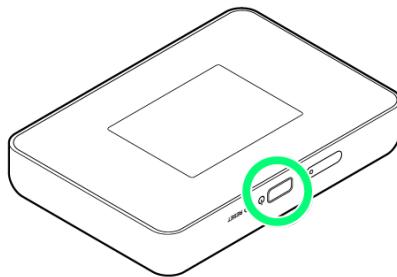
- 接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例：1）。
- Android搭載端末の画面にWi-Fiの電波アイコンが表示されていることを確認してください。

QRコードを利用してAndroid搭載端末を接続する

本機に表示したQRコードをアプリでスキャンして、Android搭載端末を自動的に本機と接続することができます。

1

電源キー（2秒以上長押し）



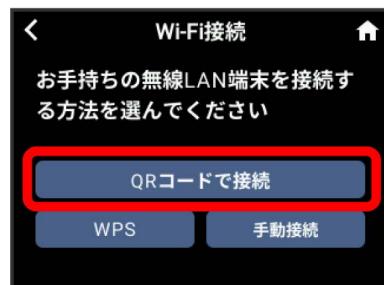
無線LANで接続する

■ 電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。

- ・モバイルネットワークに接続すると （モバイルネットワーク接続中アイコン）が点灯します。

2

Wi-Fi接続 → QRコードで接続



3

Android搭載端末を起動 → QRコード読み取りアプリを起動

4

Android搭載端末から本機のディスプレイに表示されたQRコードを読み取る

5

QRコード読み取りアプリの指示に従って、読み取った情報から本機に接続

■ 接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例：1）。

- Android搭載端末の画面にWi-Fiの電波アイコンが表示されていることを確認してください。

Wi-Fi対応機器を接続する

! SSID（ネットワーク名）、パスワード（セキュリティキー：WPAキー）について

SSIDとパスワード（セキュリティキー）については、「[SSIDとパスワード（セキュリティキー）について](#)」を参照してください。

お買い上げ時のSSIDは、「A503SHa-」または「A503SHb-」で始まる6桁の英数字です。

SSIDやパスワード（セキュリティキー）を変更した場合は、変更した内容でご利用ください。

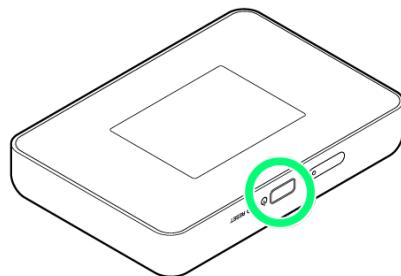
本機に設定したSSID以外の表示のネットワークは、近隣から受信した無線LAN電波です。接続する場合はご注意ください。

Wi-Fi対応機器を接続する

手順は、無線LAN設定の暗号化方式が「WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)」の場合を例にして説明しています。その他の暗号化方式の場合は、一部の操作が異なります。詳しくは、接続するWi-Fi対応機器の取扱説明書などを参照してください。

1

電源キー（2秒以上長押し）



■ 電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります。自動的にインターネットに接続します。

- モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

2

Wi-Fi対応機器の無線LAN機能をONにする

3

Wi-Fi対応機器でアクセスポイントを検索

4

表示されたアクセスポイントから、本機の「SSID」が表示されている項目を選択

5

パスワード（セキュリティキー）を入力 設定を保存

■ 接続に成功すると、本機のステータスバーに、無線LAN機器接続数表示のカウントが一つ増えます（例：）。

WPS対応の無線LAN端末を接続する

! WPS機能利用時のご注意

SSIDステルス機能について

本機のSSIDステルス機能がONになっているとWPS機能は使用できません。SSIDステルス機能については、「[Wi-Fiの基本設定を行う \(SSID A\)](#)」を参照してください。

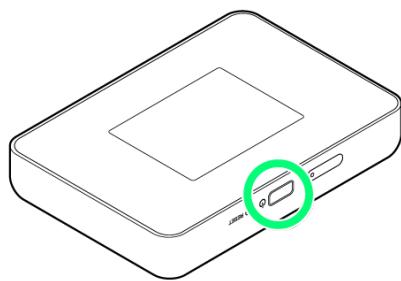
セキュリティ（暗号化方式）について

WPS機能を利用するには、本機のセキュリティ（暗号化方式）を [WPA2-PSK \(AES\)](#) または [WPA/WPA2-PSK \(AES +TKIP\)](#) 、 [WPA2-PSK/WPA3-SAE \(AES\)](#) に設定する必要があります。

WPS対応の無線LAN端末を接続する

1

電源キー（2秒以上長押し）



電源が入るとロック画面が表示され、無線LAN機能がONになります、自動的にインターネットに接続します。

- モバイルネットワークに接続すると (モバイルネットワーク接続中アイコン) が点灯します。

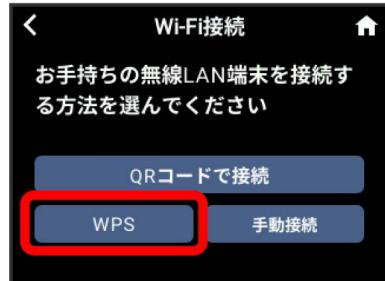
2

無線LAN端末の無線LAN機能をONにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行なう

- WPS機能の設定方法は、機器によって異なります。お使いの無線LAN端末に付属されている取扱説明書などを参照してください。

3

Wi-Fi接続 WPS



4

無線LAN端末と接続



無線LAN端末からの接続を受け付ける状態になります。

5

次の画面が表示されている間（120秒以内）に、無線LAN端末でWPS機能の接続設定を行なう



6

無線LAN端末でその他の設定が必要な場合には、画面表示に従って設定操作を行なう

接続に成功すると、本機に「WPS接続が完了しました」と表示され、ステータスバーに無線LAN機器接続数を示すアイコンが表示されます（例：）。

- セットアップの完了まで約2分かかることがあります。
- WPS設定を利用した機器の接続中は、他のWi-Fi対応機器の通信が切断される場合があります。
- MACアドレスフィルタリングが設定されたWi-Fi対応機器は、WPS設定に失敗する場合があります。
- WPS機能を利用した場合は、SSID Aのみ接続可能です。SSID Bに接続する場合は、アクセスポイントを検索して接続してください。詳しくは、「[マルチSSID機能 \(SSID B\) をONにする](#)」を参照してください。

USBケーブルで接続する (Windows)

WindowsパソコンとのUSB接続について 32
Windowsパソコンへの取り付け／取り外し 32

Windows/パソコンとのUSB接続について

概要

本機は、電源を入れると自動的にインターネットに接続され、USBケーブル（別売または推奨品）でパソコンと接続してデータ通信が行えます。

Windows/パソコンへの取り付け／取り外し

Windows/パソコンに本機を取り付ける

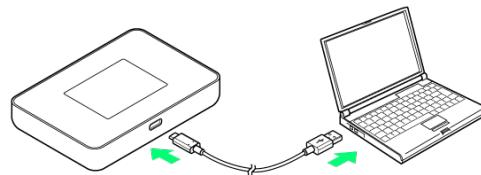
- Windows/パソコンとの接続には、Windows/パソコンに搭載されている標準ドライバが使用されます。

1

パソコンの電源を入れる

2

本機のUSB Type-C接続端子にUSBケーブル（別売または推奨品）を接続し、USBプラグをパソコンに差し込む



■ パソコンが本機を認識します（パソコンが本機を認識するまでしばらくかかります）。

Windows/パソコンから本機を取り外す

- データのアップロードやダウンロードなどが終了していることを確認し、本機を取り外してください。

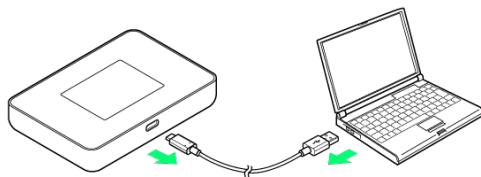
1

データのアップロードやダウンロードなどが終了していることを確認

- データ通信中は本機を取り外さないでください。

2

パソコンから本機を取り外す



取り外しが完了しました。

! 取り外し時のご注意

スタンバイ／休止時の動作について

本機をパソコンに取り付けた状態でスタンバイ（suspend/resume）、または休止（hibernation）を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本機を取り外してから、スタンバイ、または休止を行ってください。また、本機を取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本機を取り外してください。

Web UIについて

本機を取り外す前に、Web UIを終了させてください。

USBケーブルで接続する（Mac）

MacとのUSB接続について.....	36
Macへの取り付け／取り外し.....	36

MacとのUSB接続について

概要

本機は、電源を入れると自動的にインターネットに接続され、USBケーブル（別売または推奨品）でMacと接続してデータ通信が行えます。

Macへの取り付け／取り外し

! 取り外し時のご注意

スリープ時の動作について

本機をMacに取り付けた状態でスリープを行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本機を取り外してから、スリープを行ってください。また、本機を取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があります。この場合、Macを起動する前に本機を取り外してください。

Web UIについて

本機を取り外す前に、Web UIを終了させてください。

Macに本機を取り付ける

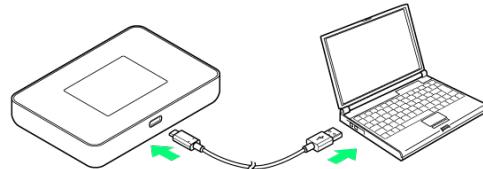
- ・ Macとの接続には、Macに搭載されている標準ドライバが使用されます。

1

Macの電源を入れる

2

本機のUSB Type-C接続端子にUSBケーブル（別売または推奨品）のUSB Type-Cプラグを接続し、USBプラグをMacに差し込む



- Macが本機を認識します（Macが本機を認識するまでしばらくかかります）。

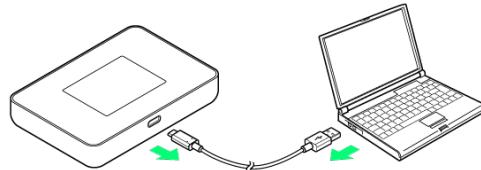
Macから本機を取り外す

1

データのアップロードやダウンロードなどが終了していることを確認

2

Macから本機を取り外す



取り外しが完了します。

USBケーブルで接続する (Mac)

A503SH

各種機能を設定する（本機の タッチメニューを使用する）

タッチメニューについて.....	40
SSIDや認証方式を設定する.....	40
データ通信量を設定する.....	44
本機と接続中の機器の情報を確認する.....	47
Wi-Fiスポットの設定を行う.....	48
その他の設定を行う.....	50
お知らせを確認する.....	65
本機の情報を確認する.....	66
データ通信量に関する操作を行う.....	67

タッチメニューについて

本機のディスプレイはタッチパネルです。タッチメニューアイコンをタップすることで、各種機能の設定や本機の情報を確認できます。

タッチメニューについて

タッチメニューには次のようなアイコンがあります。



タッチメニューアイコン

タッチメニューの各アイコンの機能の概要については、「[タッチメニューアイコンについて](#)」を参照してください。

SSIDや認証方式を設定する

本機のSSID（ネットワーク名）やパスワード（セキュリティキー：WPAキー）、無線LAN接続に使用する認証方式や暗号化方式を設定します。

また、2つのSSIDを利用できるマルチSSID機能（SSID B）のON/OFFを設定します。

SSIDとパスワード（セキュリティキー）を設定する

接続する無線LAN端末に表示されるSSID A／SSID Bの名称やパスワードを設定します。SSID Bについて設定するには、あらかじめマルチSSID機能をONにしてください。詳しくは、「[マルチSSID機能（SSID B）をONにする](#)」を参照してください。

- お買い上げ時のSSID A／SSID Bおよびパスワードは、次のとおりです。

- SSID A／SSID B：「A503SHa-」または「A503SHb-」で始まる6桁の英数字

- パスワード：10桁のランダムなASCII文字

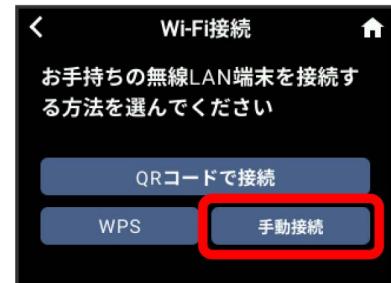
1

Wi-Fi接続



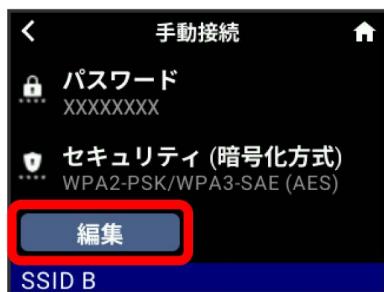
2

手動接続



3

編集



4

SSIDをタップ



5

SSIDを入力 → OK



・使用できる文字は32バイトまでの半角英数字および記号です。

6

パスワードをタップ



7

パスワードを入力 → OK



- セキュリティ (暗号化方式) を [WPA2-PSK (AES)] または [WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)]、[WPA3-SAE (AES)]、[WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)] に設定しているときに設定できます。

- 使用できる文字は次のとおりです。

- セキュリティ (暗号化方式) が [WPA2-PSK (AES)] / [WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)] の場合：8~63バイトの半角英数字および記号、または64桁の16進数
- セキュリティ (暗号化方式) が [WPA3-SAE (AES)] / [WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)] の場合：8~63バイトの半角英数字および記号

8

OK



■ 入力したSSIDとパスワード（セキュリティキー）が設定されます。

認証方式を設定する

無線LAN接続に使用する認証方式を選択します。

次の表の認証方式が選択できます。

・認証方式

項目	説明
Open	認証は行いません。 認証は行いません。 [Open] より本機とWi-Fi 対応機器の間の通信をさらに暗号化します。
Enhanced Open (OWE)	利用する場合、接続するWi-Fi対応機器が対応している必要があります。 [Enhanced Open (OWE)] に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。
WPA2-PSK (AES)	WPAキーを利用して認証を行います。
WPA/WPA2-PSK (AES)	WPAキーを利用して認証を行います。
WPA3-SAE (AES)	WPAキーを利用して認証を行います。
WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)	WPAキーを利用して認証を行います。

・お買い上げ時のセキュリティ（暗号化方式）

[WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)] に設定されています。

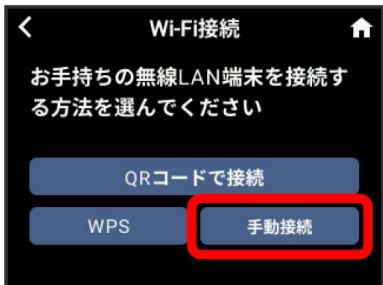
1

Wi-Fi接続



2

手動接続



3

編集



4

セキュリティ（暗号化方式）



5

設定したい認証方式の横のチェックマークをタップ



6

OK



認証方式が変更されます。

マルチSSID機能 (SSID B) をONにする

マルチSSID機能 (SSID B) をONにし、SSID Bについて無線LANの基本的な設定を行います。

- ・マルチSSID機能をONにしている場合、接続している無線LAN端末の接続数によっては、最大通信速度が低下する場合があります。
- ・お買い上げ時のSSID BはOFFに、セキュリティ（暗号化方式）はWPA2-PSK/WPA3-SAE (AES) に設定されています。

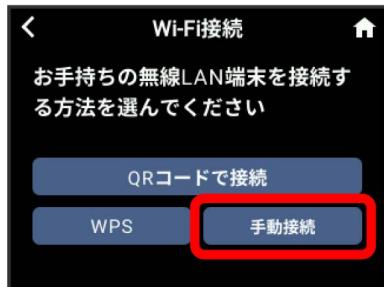
1

Wi-Fi接続



2

手動接続



3

「SSID B」下部の「有効」の (表示)



SSID BがONになります。

4

編集



5

SSID Aと同様にSSIDとパスワード（セキュリティキー）、認証方式および暗号化方式を設定する



SSID Bが利用できるようになります。

- ・設定方法や使用できる文字は、「[SSIDや認証方式を設定する](#)」を参照してください。

データ通信量を設定する

データ通信量の最大量やリセット日などを設定します。表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量と異なることがあります。実際のデータ通信量については、法人で契約された場合は管理者またはビジネスコールセンターにご確認ください。個人で契約された場合はお問い合わせ先にご確認ください。Wi-Fiスポット機能を利用した際のデータ通信量は含まれません。また、表示される最大通信量は契約された料金プランに連動したものではありません。適宜変更してご利用ください。

データ通信量を確認する

ご利用開始もしくはリセットしてから現在までのデータ通信量を表示します。

1

データ通信量



ご利用開始もしくはリセットしてから現在までのデータ通信量が表示されます。

最大通信量を設定する

毎月のデータ通信量の目安値を設定できます。設定したデータ通信量を超えると、ポップアップ画面やアイコン表示などで通知します。

- ロック画面には、 (バー表示アイコン) が表示されます。最大通信量で設定したデータ通信量を超えると、データ通信量のバーが (赤いバーのアイコン) に変わります。お使いいただく際の目安の表示となり、それ以上通信ができなくなることを示すものではありません。
- 設定する最大通信量はご契約されるプランと連動したものではありません。また、本機能でカウントするデータ量は端末側の目安でのデータ量となり実際のデータ量とは異なりますので、ご注意ください。
- お買い上げ時の最大通信量は **50 GB** に設定されています。設定できる範囲は、**1 MB** ~ **999 TB** です。

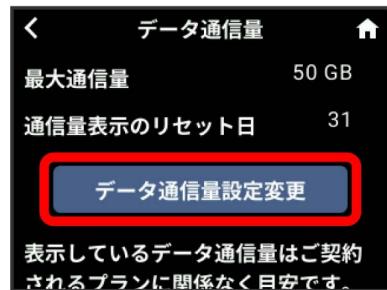
1

データ通信量



2

データ通信量設定変更



3

「最大通信量」の数字をタップ



- (GB) をタップすると、最大通信量の単位を **MB** (MB) / **TB** (TB) に変更できます。

4

最大通信量とする数値を入力  



 最大通信量が設定されます。

自動リセット日を設定する

毎月、データ通信量を自動的にリセットする日を設定できます。
設定した日付から、翌日に変わるタイミングでリセットされます。

・お買い上げ時の通信量表示のリセット日は **31** (日) に設定されています。設定できる範囲は、**01** ~ **31** です。

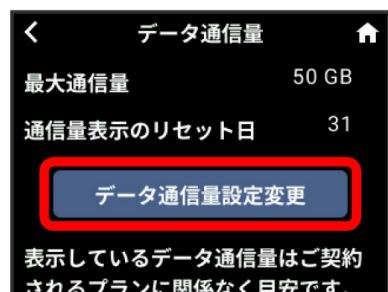
1

データ通信量



2

データ通信量設定変更



3

「通信量表示のリセット日」の数字をタップ



各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

A503SH

4

自動的にリセットする日を入力 ➔ ✓



データ通信量を自動的にリセットする日が設定されます。

- 自動リセット日を31に設定すると、月末日が31日に満たない月でも月末日の翌日に変わるタイミングでリセットされます。

データ通信量をリセットする

表示されているデータ通信量をリセットします。

- データ通信量は下記の条件でもリセットされます。
 - 本機の設定内容をお買い上げ時の状態に戻したとき
 - SIMカードを差し替えたとき
 - 本機で「日時自動設定」をONにしたとき
 - 本機で「日付と時刻」の設定を変更したとき

1

データ通信量



2

データ通信量設定変更



3

リセット



4

OK



データ通信量が即時にリセットされます。

本機と接続中の機器の情報を確認する

/パソコンやスマートフォン、ゲーム機など、本機と接続している機器の情報を確認できます。

| 本機と接続中の機器の情報を確認する

1

接続リスト



接続中の機器のホスト名やMACアドレス、IPアドレス、インターフェイスが表示されます。

各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

A503SH

Wi-Fiスポットの設定を行う

本機は、自宅や会社の無線LANルーターや、ソフトバンクWi-Fiスポットなどと接続して、インターネットに接続できます。このインターネット接続のことをWi-Fiスポット機能と呼びます。

1 Wi-Fiスポットを設定する

Wi-Fi機能でインターネットに接続します。

- お買い上げ時のWi-Fiスポットの利用はOFFに設定されています。
- 接続している無線LAN端末の接続数によっては、最大通信速度が低下する場合があります。
- Wi-Fiスポット機能を利用している場合は **マルチSSID** 機能を利用できません。
- Wi-Fiスポットを有効にすると、設定されているWi-FiモードやWi-Fiチャネルとは異なる設定で動作する場合があります。設定されているWi-FiモードやWi-Fiチャネルを固定で動作させたい場合は、Wi-Fiスポットのご利用をお控えください。

1

Wi-Fiスポット



2

「Wi-Fiスポットの利用」の (表示)



Wi-Fiスポットの利用がONになります。

- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

3

ネットワークの追加 → ネットワーク名 (SSID) を入力 →

OK



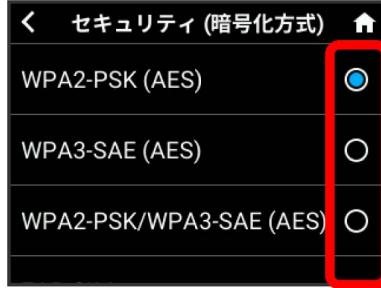
- スキャン** をタップすると、周囲にあるWi-Fiスポットのアクセスポイントを検索します。

検出されたネットワークと登録されたネットワークが一覧で表示されます。登録されたネットワークが優先的に表示され、新しく登録したネットワークは一番上に表示されます。未登録のネットワークについては、電波強度が高いものから表示されます。本機のSSIDは表示されません。

- Wi-Fiがスリープモードの場合を除き、通常は定期的にバックグラウンドでスキャンしていますが、**スキャン** をタップすることですぐにスキャンすることができます。

4

認証方法を選択



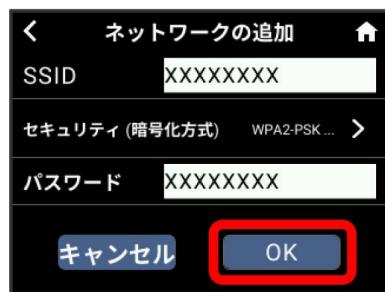
5

パスワード (セキュリティキー) を入力 → OK



6

OK



設定したネットワーク経由でインターネットに接続できるようになります。

- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。
- アクセスポイントの最大設定件数は10件となります。
- セキュリティ（暗号化方式）を [Open] に設定している場合は、暗号化についての確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は内容を確認し、[はい] を選択してください。
- スキャンして接続する場合には、セキュリティ（暗号化方式）を変更することはできません。

! ネットワーク名（SSID）およびパスワード（セキュリティキー）に設定できる文字について

Wi-Fiスポットのネットワーク名（SSID）およびパスワード（セキュリティキー）に入力できる文字は次のとおりです。

- ネットワーク名（SSID）：32バイトまでの半角英数字および記号
- パスワード（セキュリティキー）：8~63バイトの半角英数字および記号、または64桁の16進数です。

ソフトバンクWi-Fiスポットを設定する

ソフトバンクWi-Fiスポットを利用してインターネットに接続します。

- お買い上げ時のソフトバンクWi-FiスポットはOFFに設定されています。

1

Wi-Fiスポット



2

「ソフトバンクWi-Fiスポット」の (表示)



ソフトバンクWi-FiスポットがONになります。

- 「Wi-Fiスポットの利用」がOFFになっている場合は、ON (表示) にします。

3

スキャン



各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

4

接続するネットワークの横のチェックマークをタップ



ソフトバンクWi-Fiスポットに接続し、インターネットに接続できるようになります。

その他の設定を行う

ローミング、画面ロック解除時のパスワード、ディスプレイの明るさ、スリープ設定、Wi-Fi通信規格、ソフトウェアの更新、通知アイコンの消去など、各種の設定を行います。

ネットワークを設定する

モバイルネットワークのネットワークモードを手動で設定します。お買い上げ時のネットワークモードは [5G/4G/LTE] に設定されています。

1

設定



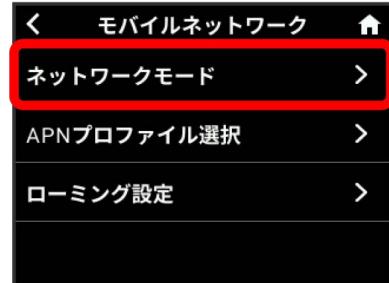
2

モバイルネットワーク



3

ネットワークモード



4

設定するネットワークモードの横のチェックマークをタップ



ネットワークモードが設定されます。

+ 5Gの方式を設定する

5Gを利用する場合に、5G SA（スタンドアローン方式）を利用するかどうかを設定できます。

- 設定 → モバイルネットワーク → ネットワークモード
- 「5G SA（スタンドアローン）を使用」の /
- ・ をタップするとON () に、 をタップするとOFF () に切り替わります。
- ・ 「5G SA（スタンドアローン）を使用」をOFFに設定すると、5G NSA（ノンスタンドアローン方式）のみの利用になります。
- ・ 海外の5G SAの周波数には非対応のため、国際ローミング中は、「5G SA（スタンドアローン）を使用」をONにしていても5G NSAのみの利用になります。
- ・ お買い上げ時の「5G SA（スタンドアローン）を使用」はONに設定されています。
- ・ 海外の5G SAの周波数には非対応のため、国際ローミング中は、「5G SA（スタンドアローン）を使用」をONにしていても5G NSAのみの利用になります。

I APNプロファイルを設定する

APNのプロファイルを選択します。

- ・ [法人] 閉域網契約専用APN（共通）は当社が提供する法人のお客様向け閉域網サービス「ネットワーク・VPN ゲートウェイセキュアモバイルアクセス」専用の共通APNです。ご利用には別途「ネットワーク・VPN ゲートウェイセキュアモバイルアクセス」のご契約が必要です。「ネットワーク・VPN ゲートウェイセキュアモバイルアクセス」に関する詳細については、https://www.softbank.jp/biz/cloud/sdngateway/secure_mobile_ac/をご覧ください。
- ・ お買い上げ時のAPNプロファイル選択は [Commercial] に設定されています。

1

設定



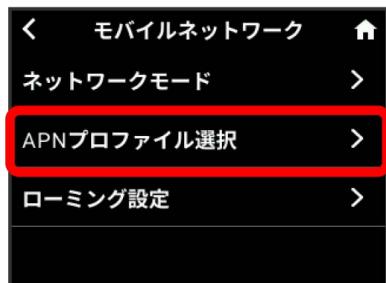
2

モバイルネットワーク



3

APNプロファイル選択



各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

4

設定するAPNプロファイルの横のチェックマークをタップ



APNプロファイルが設定されます。

確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

国際ローミングを設定する

国際ローミングの利用をONにします。

お買い上げ時のローミングの利用はOFFに設定されています。

1

設定



2

モバイルネットワーク



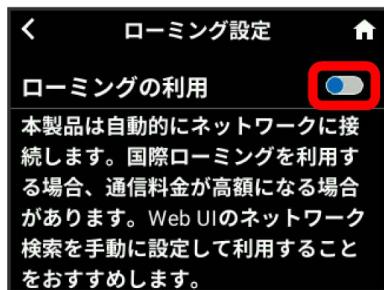
3

ローミング設定



4

「ローミングの利用」の  /  表示)



 国際ローミングがONになり、海外でローミングが利用できるようになります。

- ・海外でのご利用は高額となる場合がありますのでご注意ください。
- ・海外で3Gを使用するときは、[ネットワークモード] で [5G/4G/LTE/3G] / [4G/LTE/3G] を選択してください。詳しくは「[ネットワークを設定する](#)」を参照してください。

Wi-FiのON/OFFを設定する

本機のWi-Fi機能のON/OFFを設定します。OFFに設定するとUSBでの接続のみ利用できます。

- ・お買い上げ時のWi-Fiの利用はONに設定されています。

1

設定



2

Wi-Fi設定



3

「Wi-Fi の利用」の  / 



 Wi-FiのON/OFFが切り替わります。

- ・「SSID A Wi-Fiモード」/「SSID B Wi-Fiモード」を [5 GHz] に設定した状態で [無効] に設定し、再度 [有効] に設定すると、Wi-Fi機能が5GHz帯で有効になるため、気象レーダーなどとの電波干渉を確認する画面などが表示される場合があります。

Wi-Fi通信規格を設定する

お買い上げ時の状態で無線LAN接続ができない場合は、Wi-Fi通信規格設定を変更すると接続できことがあります。

- ・お買い上げ時のWi-Fiモードは次のとおり設定されています。
- ・SSID A Wi-Fiモード： 2.4 GHz
- ・SSID B Wi-Fiモード： 2.4 GHz

1

設定



2

Wi-Fi設定



3

SSID A Wi-Fiモード / SSID B Wi-Fiモード



- ・**SSID B Wi-Fiモード**を選択するには、マルチSSID機能をONにしてください。詳しくは、「[マルチSSID機能（SSID B）をONにする](#)」を参照してください。

4

設定したい通信規格の横のチェックマークをタップ



Wi-Fi通信規格が設定されます。

Wi-Fiモードについて

Wi-Fiモードについて、以下をよくお読みください。

- ・SSID A / SSID Bで利用する周波数帯が異なる場合、本機のステータスアイコン表示エリアに [DBS] が表示されます。
- ・屋内で5GHzの周波数帯を利用する場合は、本機を充電中、または有線LAN接続中に設定してください。
- ・本機を充電中、または有線LAN接続中のみ、5.2GHz / 5.3GHz帯無線LAN (W52 / W53) を利用できます。
- ・本機を充電中、または有線LAN接続中に5GHzを選択した場合は、[屋内] / [屋外] の選択画面が表示されます。本機の利用場所に合わせて選択してください。選択せずに30秒間経過すると、自動的に [屋外] に設定されます。
- ・本機を充電中ではなく、有線LAN接続中でもない場合に5GHzに設定したときは、自動的に [屋外] に設定され、選択画面は表示されません。
- ・Wi-Fi接続が切断される旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、[OK] を選択してください。
- ・国際ローミング中は、5GHzは選択できません。5GHzが使用できないときは、項目がグレーアウトされます。
- ・Wi-Fiスポットを利用している場合はマルチSSID機能を利用できません。
- ・5GHzの周波数帯を利用できない場合は、「Wi-Fiモード」を5GHzに設定できません。

スリープモードを設定する

スリープモードとは、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的にOFFにする機能です。スリープモードに移行するまでの時間を設定できます。また、スリープ設定をOFFに設定し、スリープモードに移行しないようにすることもできます。

- 以下の場合、スリープモードになりません。
 - 画面点灯中
 - ACアダプタ（別売）やクレードルで充電中
 - パソコンなどとUSB接続中
 - クレードルを利用して有線LAN接続中
- お買い上げ時のWi-Fiスリープ設定は次のとおり設定されています。
 - スリープ設定：ON
 - オフまでの時間：5分
 - 電池残量に連動：OFF

1

設定



2

Wi-Fiスリープ設定



3

「オフまでの時間」の時間をタップ



- スリープ設定を利用しない場合は、「スリープ設定」の をタップしてOFF (OFF) に変更してください。
- OFFにした場合、電池が消費され待受時間が短くなります。

4

設定したい分数の横のチェックマークをタップ



設定した時間でスリープモードになります。

各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

画面ロックを設定する

画面ロックを解除する際に、パスワードの入力を必要とするように設定します。

- お買い上げ時のロックの利用はOFFに設定されています。

1

設定



2

画面ロック



3

「ロックの利用」の (表示)



「ロックの利用」がONになります。

4

4桁のパスワードを入力 OK



5

4桁のパスワードを再入力 OK



画面ロック解除パスワードが設定されます。

- パスワードを設定すると、画面ロックを解除する際にパスワードの入力画面が表示されるようになります。パスワードを入力して画面ロックを解除する手順については、「[パスワードを入力して画面ロックを解除する](#)」を参照してください。
- 設定したパスワードを変更する場合は、手順 3 の画面で [「パスワード変更」](#) をタップし、現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードを設定します。

パスワードを入力して画面ロックを解除する

1

ディスプレイの  を右にフリック



2

4桁のパスワードを入力  



 ホーム画面が表示されます。

- ・入力したパスワードが間違っている場合は、再度入力するようメッセージが表示されます。
- ・パスワードを忘れてしまった場合には、本機をリセットすることでパスワードによる画面ロックを解除できます。本機をリセットする方法は、「[本体について](#)」（タッチメニューの場合）または「[本機をリセットする](#)」（Web UIの場合）を参照してください。本機をリセットすると、パスワードによる画面ロックだけではなく、すべての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

ディスプレイの明るさを変更する

ディスプレイの明るさを設定します。

- ・お買い上げ時の画面の明るさはスライドバーの3段階目に設定されています。

1

設定



2

画面設定



3

設定したい明るさの位置をタップ



 設定した明るさにディスプレイの表示が変更されます。

- ・明るさは10段階で調整できます。

ディスプレイの画面点灯時間を変更する

本機の操作を行わなかったときに画面を消灯するまでの時間を設定します。

・お買い上げ時の画面点灯時間は **90秒** に設定されています。

1

設定



2

画面設定



3

「画面点灯時間」の秒数をタップ



4

設定したい秒数の横のチェックマークをタップ



設定したバックライトの点灯時間に変更されます。

言語を設定する

本機ディスプレイの表示言語を切り替えます。

- お買い上げ時の言語設定は **日本語** に設定されています。

1

設定



2

Language Setting



3

設定する言語の横のチェックマークをタップ



言語が切り替わります。

- Web UIの言語も切り替わります。

時間を設定する

ロック画面での時刻の表示方法（24時間表示／12時間表示）やタイムゾーンを変更できます。

- 「日時自動設定」をONにしたり、**日付と時刻** を手動で設定すると、データ通信量がリセットされます。
- お買い上げ時の日時設定は次のとおり設定されています。
 - 日時自動設定 : ON
 - タイムゾーン自動設定 : ON
 - 24時間表示を使う : ON

1

設定



2

日時設定



各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

3

「24時間表示を使う」の  / 



 時刻の表示方法が24時間／12時間で切り替わります。

- ・年月日や時刻を変更するには、「日時自動設定」の  ( 表示)  [日付と時刻]  年月日や時刻の  /  をタップして設定します。設定できる範囲は次のとおりです。
 - ・年：[2021] ~ [2037]
 - ・月：[01] ~ [12]
 - ・日：[01] ~ [31]
 - ・時：[00] ~ [23]
 - ・分：[00] ~ [59]
- ・タイムゾーンを変更するには、「タイムゾーン自動設定」の  ( 表示) と操作し、設定したいタイムゾーンを選択します。

ソフトウェアの更新を行う

ソフトウェアの更新を行ったり、本機のソフトウェアを一定の間隔で自動的に更新するどうかなどを設定できます。

- ・お買い上げ時の自動更新はONに、更新時刻は [4] :00に設定されています。更新時刻で設定できる範囲は、[0] :00～[23] :00です。

1

設定



2

ソフトウェア更新



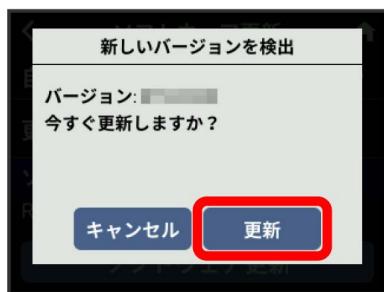
3

ソフトウェア更新



4

メッセージを確認 → [更新]



最新のソフトウェアが確認され、最新のソフトウェアがある場合はソフトウェアが更新されます。ソフトウェア更新が完了すると、本機が自動で再起動されます。

- ・更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- ・使用中のソフトウェアがすでに最新版である場合は、「ソフトウェアは最新です」というメッセージが表示されます。
- ・再起動についての確認画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- ・ソフトウェア更新はWeb UIからも同様に操作できます。詳しくは、「[ソフトウェアの更新を行う](#)」を参照してください。

ソフトウェアの更新について

ソフトウェア更新とは、本機をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェア更新の種類としては以下の2つがあります。

- ・新機能追加

本機機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本機をより快適にご利用いただけます。

- ・品質改善

本機機能を更新することで、品質が向上し、本機をより快適にご利用いただけます。

本機に提供されている具体的なソフトウェア更新の内容および期間については、当社のウェブサイトをご覧ください。

- ・ご利用条件

・ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

・ソフトウェア更新は、本機に設定された内容を残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

設定した時刻に自動でソフトウェアを更新するように設定する

本機が更新可能になると、設定した時刻に自動でソフトウェアを更新します。

[設定] → [ソフトウェア更新] → 「自動更新」の (表示)

[設定] → [ソフトウェア更新] → [更新時刻] → 更新する時刻を設定 チェックマークをタップと操作すると、更新時刻を設定できます。

ソフトウェア更新時のご注意

ソフトウェアを更新する際は、以下にご注意ください。

- ・ソフトウェア更新完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ・ソフトウェア更新中、本機固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ・新しいソフトウェアへ更新する際に再起動します。また、ソフトウェア更新中はデータ通信を利用できない場合があります。
- ・再起動中は各種機能を利用できません。
- ・PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードの入力を求められる場合があります。
- ・ソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、「[お問い合わせ先](#)」を参照してください。
- ・以下の場合はソフトウェア更新ができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - ・必要な電池残量がないとき
 - ・「圏外」が表示されているとき
 - ・国際ローミング中
 - ・基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
 - ・ソフトウェア更新中は電源を切ったりしないでください。
- ・更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- ・ソフトウェア更新は、電池残量が30%以上のときに行えます。
- ・「バッテリーケアモード（弱）」の場合でもソフトウェア更新が利用できます。「バッテリーケアモード（強）」の場合は、電池残量が15%以上かつACアダプタ接続中のときに行えます。
- ・ソフトウェアの更新中は、データ通信など他の機能はご利用できません（※Wi-Fiスポットを利用している場合を除く）。
- ・LAN内の端末が通信中の場合はソフトウェア更新ができません（※Wi-Fiスポットを利用している場合を除く）。

USB通信規格を設定する

USBの通信規格を設定します。

- お買い上げ時のUSBモードは **USB 3.0** に設定されています。

1

設定



2

USBモード



3

設定するUSB通信規格の横のチェックマークをタップ



USBの通信規格が設定されます。

クイック起動を設定する

クイック起動をONにすることで、電源ON時の時間を短縮することができます。

なお、クイック起動がONの場合、電源OFFの状態でも少量の電池を消費しますのでご注意ください。

- お買い上げ時のクイック起動はONに設定されています。

1

設定



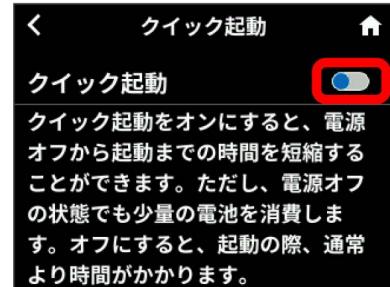
2

クイック起動



3

「クイック起動」の (表示)



「クイック起動」がONになります。

充電モードを設定する

充電方式を設定します。

- お買い上げ時の充電モードは【標準モード】に設定されています。
- 【標準モード】に設定すると、充電が100%に達したときに充電を停止し、ACアダプタ（別売）から直接本機へ電力を供給します。
- 【バッテリーケアモード（弱）】に設定すると、電池残量が90%に達したときに充電を停止し、ACアダプタ（別売）から直接本機へ電力を供給します。
- 電池残量が85%まで減ったときに、再度充電を開始します。
- 【バッテリーケアモード（強）】に設定すると、電池残量が20%に達したときに充電を停止し、ACアダプタ（別売）から直接本機へ電力を供給します。
- 電池残量が15%まで減ったときに、再度充電を開始します。

1

設定



2

充電モード



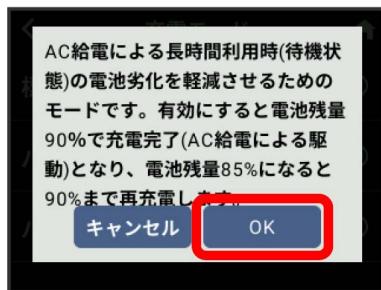
3

設定する充電モードの横のチェックマークをタップ



4

メッセージを確認 → OK



充電モードが設定されます。

- 充電モードをバッテリーケアモード（強）に設定した場合、電池残量が少ないため、持ち運びの際は事前に標準モードに設定して充電してください。

Web UIを確認する

Webブラウザを利用して設定ページ（Web UI）にアクセスすると、詳細な設定を行うことができます。Web UIのURLやログインパスワードなどを確認できます。

1

設定



2

Web UIの表示



Web UIのURLとQRコードが表示されます。

- スマートフォンのカメラなどでQRコードを読み込むと、スマートフォンのWebブラウザからWeb UIにアクセスできます。

電池の状態を確認する

内蔵電池の充電能力の状態を確認します。

1

設定



2

電池の状態



内蔵電池の充電能力の状態が表示されます。

- ご利用が長期間になると、電池の容量が減り、性能が低下する場合があります。電池交換の目安として「内蔵電池の性能が低下しています」と表示されます。電池の状態が良好な場合は、「内蔵電池の性能は良好です」と表示されます。

データ通信量の通知アイコンを消去する

現在表示されているデータ通信量の通知アイコンを消去します。通知アイコンは個人で契約された場合のみ表示されます。

1

設定



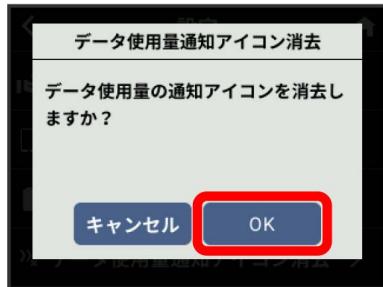
2

データ使用量通知アイコン消去



3

OK



現在表示されている通知アイコンが消去されます。

- この操作では、ステータスバーに表示されている通知アイコンのみ消去することができます。タッチメニューの「データ量設定」アイコンは消去できません。

お知らせを確認する

お知らせがある場合、本機にメッセージが通知されます。

1 お知らせを確認する

1

お知らせ



2

確認するお知らせをタップ



お知らせを確認できます。

1 お知らせを削除する

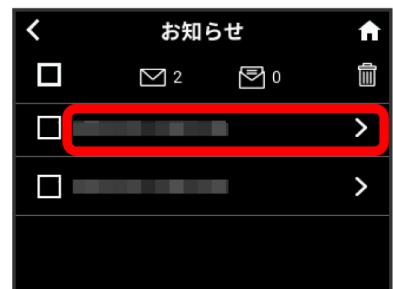
1

お知らせ



2

削除するお知らせをタップ



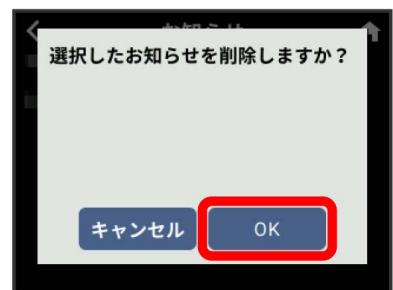
3

削除



4

OK



お知らせが削除されます。

各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

お知らせを選択して削除する

1

お知らせ



2

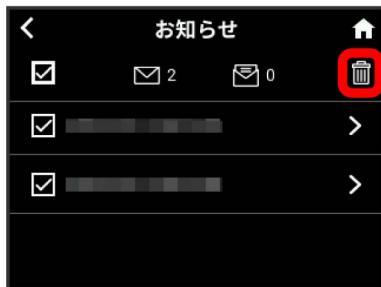
削除するお知らせにチェックを付ける



・画面の一番上にあるチェックボックスにチェックを付けると全件を選択できます。

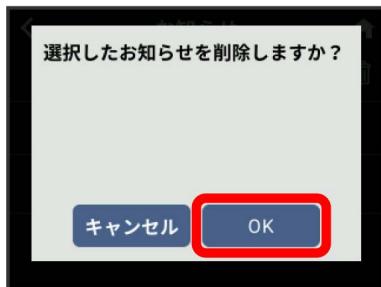
3

削除



4

OK



本機の情報を確認する

本機の情報を確認する

Web UIのURLや電話番号、ソフトウェアバージョンなど、本機の各種情報を確認できます。

本機の情報を確認する

次の端末情報が確認できます。

項目	説明
電話番号	SIMカードに登録されている電話番号です。
IMEI	本機の製造番号です。
LANドメイン	Web UIにアクセスするためのURLです。
システムバージョン	現在のシステムのバージョンです。
ソフトウェアバージョン	現在のソフトウェアのバージョンです。
電池シリアル番号	電池のシリアル番号です。
認証情報	本機が認証を受けている各種標準規格です。

1

端末情報



本機の情報が表示されます。



選択したお知らせが削除されます。

データ通信量に関する操作を行う

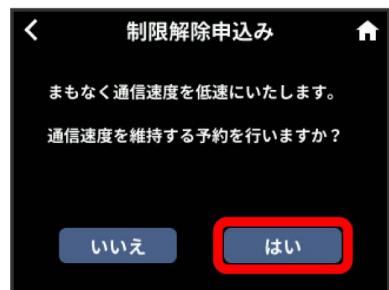
個人で契約された場合、データ通信量に関する操作を行うことができます。

低速化の解除を予約する（ポップアップ画面から操作する）

通信速度の低速化を予告するポップアップ画面が表示された場合に、低速化解除の予約のお申し込みができます。

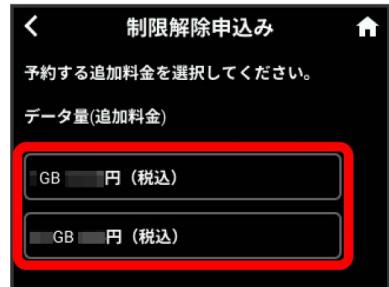
1

ポップアップ画面の内容を確認 → [はい]



2

低速化を解除するデータ通信量をタップ



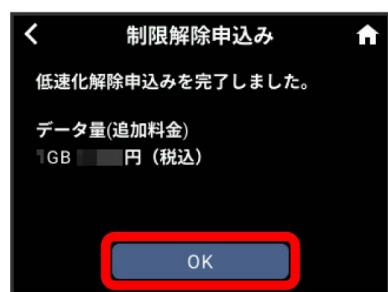
3

[設定]



4

[OK]



☑ 解除予約のお申し込みが完了しました。

各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

低速化の解除を予約する（タッチメニューから操作する）

本機のタッチメニューから低速化解除の予約のお申し込みができます。

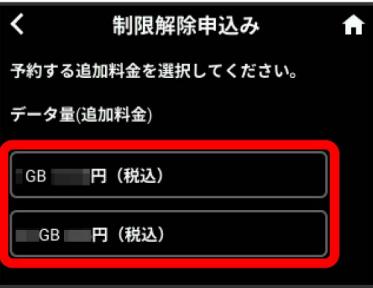
1

データ量設定



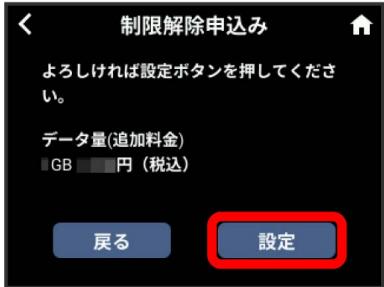
2

低速化を解除するデータ通信量をタップ



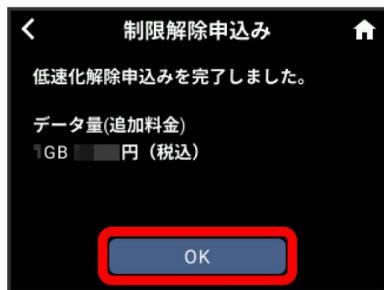
3

設定



4

OK



解除予約のお申し込みが完了します。

1 低速化の解除予約を取り消す

低速化解除の予約をされている場合に、予約取り消しのお申し込みができます。

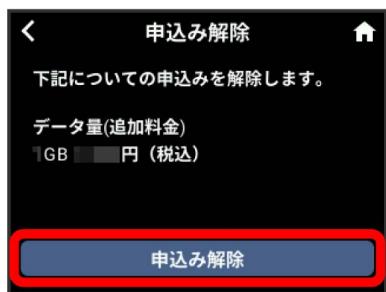
1

データ量設定



2

申込み解除



3

設定



4

OK



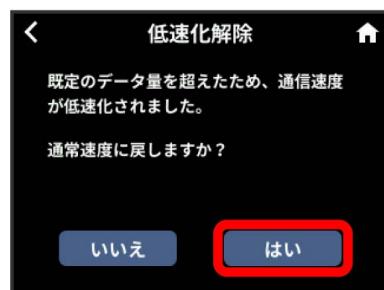
解除予約を取り消すお申し込みが完了しました。

1 低速化を解除する（ポップアップ画面から操作する）

通信速度の低速化の開始を通知するポップアップ画面が表示された場合に、低速化を解除して通常速度に戻すお申し込みができます。

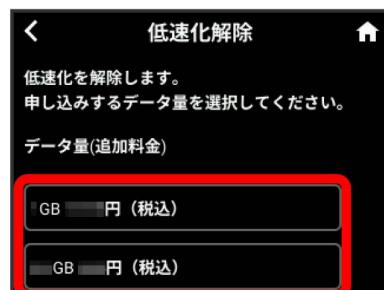
1

ポップアップ画面の内容を確認 → [はい]



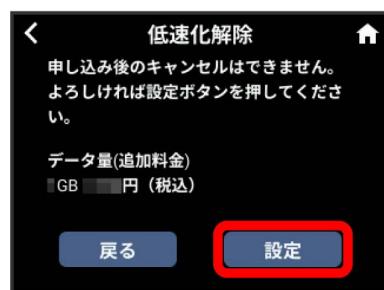
2

低速化を解除するデータ通信量をタップ



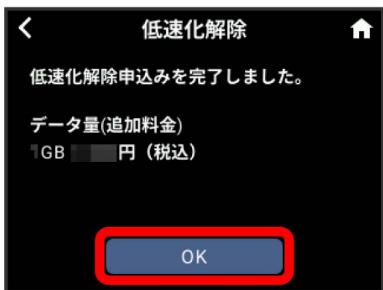
3

設定



4

OK



🏁 低速化解除のお申し込みが完了します。

低速化を解除する（タッチメニューから操作する）

本機のタッチメニューから低速化を解除するお申し込みができます。

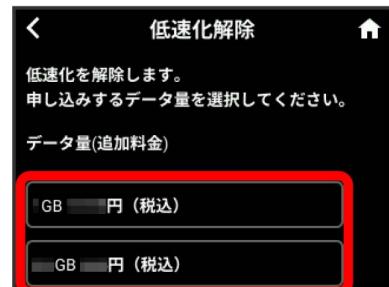
1

データ量設定



2

低速化を解除するデータ通信量をタップ



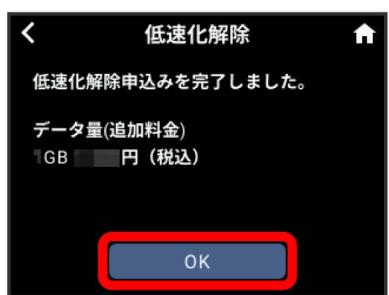
3

設定



4

OK



低速化解除のお申し込みが完了します。

各種機能を設定する（本機のタッチメニューを使用する）

A503SH

各種機能を設定する（Web UIを使用する）

Web UIの概要.....	74
Web UIの見かた.....	77
接続中の無線LAN端末を確認する.....	80
モバイルネットワークを設定する.....	84
Wi-Fiスポットの設定を行う.....	93
PINコードを管理する.....	99
接続履歴を確認する.....	106
LAN設定を行う.....	107
Wi-Fi設定を行う.....	139
端末設定を行う.....	150
端末情報を表示する.....	174

Web UIの概要

本機に無線LANまたはUSBケーブル（別売または推奨品）で接続したパソコンやモバイル機器から、Webブラウザを利用して本機についての各種情報の確認や設定ができます。

ここではUSBケーブル（別売または推奨品）で接続した場合を例にしています。お使いのOSやWebブラウザによって画面が異なる場合があります。本機の対応ブラウザは、「[動作環境（対応OS）](#)」を参照してください。

Web UIについて

Web UIの利用について、以下をご参考ください。

- ・本機との接続方法について詳しくは、「[無線LANで接続する](#)」、「[USBケーブルで接続する（Windows）](#)」、「[USBケーブルで接続する（Mac）](#)」を参照してください。
- ・Wi-Fiで接続したパソコンおよび携帯端末から、Web UIで [MACアドレスフィルタリング](#) や [Wi-Fi設定](#) の設定内容を変更すると、Wi-Fiの接続が切れることができます。再接続するにはパソコンおよび携帯端末の設定変更が必要になる場合がありますのでご注意ください。また、USBケーブル（別売または推奨品）を利用したUSB接続やクレードルを利用した有線LAN接続し、Web UIで変更することもできます。
- ・Web UIを同時に複数のパソコンおよび携帯端末で表示／設定することはできません。
- ・本機でも一部の機能を設定できます。
- ・本機のディスプレイが非表示（消灯）の場合、またはタッチパネルのロック画面表示中の場合にWeb UIを利用できます。
 - ・Web UIで設定中に本機にタッチパネルのロック画面以外の画面を表示すると、設定が中断され、ログアウトする場合があります。
 - ・本機のディスプレイを非表示後、すぐにWeb UIにログインできない場合があります。しばらく待ってからログインしてください。
- ・お買い上げ時の設定では、SSID AにWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末からWeb UIを表示できません。
 - ・SSID AにWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末、または有線LAN接続しているパソコンからWeb UIを表示してください。
 - ・SSID BにWi-Fi接続しているパソコンや携帯端末からWeb UIを表示する場合は、「[SSID BユーザーのWeb UIへのアクセス](#)」を [許可](#) に設定してください。詳しくは、「[マルチSSID機能（SSID B）をONにする](#)」、「[マルチSSID機能をONにする（SSID B）](#)」を参照してください。

Web UIを起動する

画面表示や手順は、Web UIに対応するWebブラウザを搭載したパソコン（Windows 11）を例にして説明します。

1

パソコンを起動し、本機と無線LANまたはUSB接続する

- ・パソコンとの無線LAN接続の方法は「[無線LANで接続する](#)」、USB接続の方法は「[USBケーブルで接続する（Windows）](#)」、「[USBケーブルで接続する（Mac）](#)」を参照してください。

2

Webブラウザを起動し、アドレス入力欄にURL（<http://web.setting>）を入力

 Web UIホーム画面が表示されます。

- ・必要に応じて「言語」のリストから画面表示に使用する言語を選択してください。

Web UIにログインする

1

Web UIホームページで **ログイン**



ログイン画面が表示されます。

2

ログインパスワードを入力 → **ログイン**



画面右上に「ログアウト」ボタンが表示され、ログインが完了します。

- ・大文字と小文字は正確に入力してください。
- ・お買い上げ時のWeb UIのログインパスワードは、IMEI情報（端末識別番号）の下6桁の数字に設定されています。本機のIMEI情報は付属の「無線 LAN初期設定シール」や本機メニューの **端末情報** をご確認ください。

💡 お買い上げ時のログインパスワードについて

セキュリティ保護のため、ログインパスワードは定期的に変更することをおすすめします。

お買い上げ時のログインパスワードを使用している場合は、Web UIログイン後にログインパスワードの変更を促すメッセージが表示されます。

OK をクリックしてログインパスワードを変更していただき、他人に知られないように十分ご注意ください。

ログインパスワードを変更する方法は、「[Web UIのログインパスワードを変更する](#)」を参照してください。

- ・ 使用できる文字は8~32バイトの半角英数字、記号です。英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。

パスワードを忘れてしまった場合は、本機のリセットボタンで本機を初期化することで、パスワードも初期化されます。

本機をリセットする方法は、「[本体について](#)」を参照してください。

❗ Web UIの操作に関するご注意

Web UIへのログインについて

Web UIのログインについては、次の点にご注意ください。

- ・ 本機の操作中は、Web UIにログインできません。本機の画面を消してから、Web UIにログインしてください。
- ・ Web UIは、複数の機器で同時にログインできません。
- ・ 約10分間Web UIが操作されない場合、自動的にログアウトします。入力中の項目は削除されますので、ご注意ください。

無線LAN接続中の設定変更について

無線LANで接続した端末から、Web UIでLAN Wi-Fiの設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがありますのでご注意ください。

Web UIの見かた

ホーム画面の見かた



項目	説明
① メインメニュー	タブメニューを切り替えます。
② 言語	Web UIで表示する言語を切り替えます。
③ ログイン/ログアウト	Web UIへのログイン/ログアウトを選択します。
④ 接続状態	<p>状態：接続状態のステータスが表示されます。</p> <p>ネットワーク：使用しているネットワークの種類が表示されます。</p> <p>期間：接続時間が表示されます。</p> <p>WAN IPv4アドレス：WAN側のIPv4アドレスが表示されます。</p> <p>IPv4 DNSサーバー：DNSサーバーのIPアドレスが表示されます。</p> <p>WAN IPv6アドレス：WAN側のIPv6アドレスが表示されます。</p> <p>WAN MACアドレス：WAN MACアドレスが表示されます。</p> <p>IPv6 DNSサーバー：DNSサーバーのIPv6アドレスが表示されます。</p> <p>LAN IPv4アドレス：LAN側のIPv4アドレスが表示されます。</p> <p>LAN MACアドレス：LAN側のMACアドレスが表示されます。</p> <p>LAN MACアドレス (Wi-Fi SSID A)：LAN側のSSID AのMACアドレスが表示されます。</p> <p>LAN MACアドレス (Wi-Fi SSID B)：LAN側のSSID BのMACアドレスが表示されます。</p> <p>LAN MACアドレス (有線LAN)：LAN側の有線LANのMACアドレスが表示されます。</p>
⑤ データ通信量	<p>データ通信量：ご利用開始もしくはリセットしてから現在までのデータ通信量を表示します。</p> <p>ダウンロードデータ通信量：ダウンロード量が表示されます。</p> <p>アップロードデータ通信量：アップロード量が表示されます。</p> <p>残りの期間：データ通信量がリセットされてからの期間が表示されます。</p> <p>国際ローミングデータ通信量の合計：国際ローミングを開始してからの時間が表示されます。</p> <p>国際ローミングダウンロードデータ通信量：国際ローミングのダウンロード量が表示されます。</p> <p>国際ローミングアップロードデータ通信量：国際ローミングのアップロード量が表示されます。</p> <p>通信量表示の自動リセット日：自動リセットが行われる日が表示されます。</p> <p>最終リセット日：最終リセット日が表示されます。</p> <p>リセット：表示されているデータ通信量をリセットします。</p>

接続端末数：SSID Aに接続している無線LAN端末の数が表示されます。

状態：Wi-Fi状態のステータスが表示されます。

SSID A：SSID Aの名前が表示されます。

SSID B：マルチSSID機能（SSID B）がONの場合に、SSID Bの名前が表示されます。

USB：無線LAN端末が接続されている場合、ホスト名、IPアドレス、MACアドレスが表示されます。

有線LAN：無線LAN端末が接続されている場合、ホスト名、IPアドレス、MACアドレスが表示されます。

6 接続リスト

💡 データ通信量について

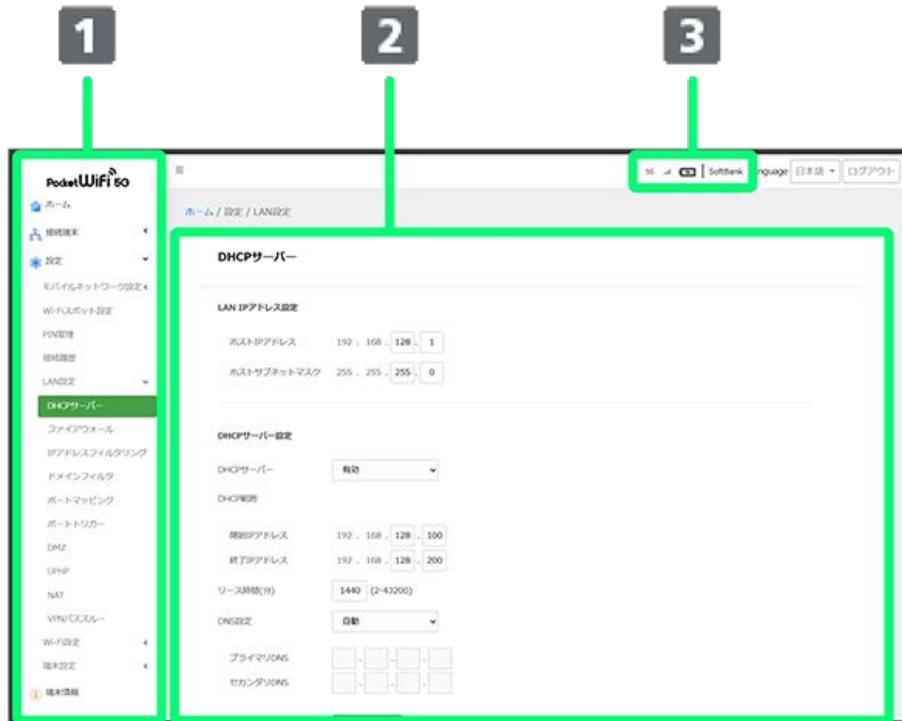
表示されるデータ通信量は目安です。実際のデータ通信量と異なることがあります。実際のデータ通信量については、法人で契約された場合は管理者またはビジネスコールセンターをご確認ください。個人で契約された場合は[お問い合わせ先](#)にご確認ください。

Wi-Fiスポット機能を利用した際のデータ通信量は含まれません。

また、表示される最大通信量は契約された料金プランに連動したものではありません。適宜変更してご利用ください。

タブ画面の見かた

例として「設定」タブ画面を使用しています。



項目	説明
① メニューリスト	サブメニューを表示します。メニュー項目をクリックして画面を切り替えます。
② 情報／設定画面	各項目の情報／設定画面が表示されます。 モバイルネットワークの受信レベル： ■ ■ ■ ■ 1 : モバイルネットワーク接続中（4段階） ■ ■ ■ 1 : モバイルネットワーク未接続 ■ : モバイルネットワーク検索中 ■ 外 : 圏外 Wi-Fiスポットの受信レベル： ■ ■ : Wi-Fiスポット接続中（3段階） ネットワークの種類： 5G ² : 5G接続中 4G : 4G接続中 LTE : LTE接続中 お知らせ： ✉ : 未読のお知らせがある場合に表示されます。 有線LAN接続： ■ : 有線LAN接続しているときに表示されます。 USB接続： ■ : USB接続しているときに表示されます。 電池表示： ■ ~ ■ ■ ■ ■ 3 : 電池残量表示（5段階） ■ : 充電中 ■ 4 : バッテリーケアモード中（弱）（電池アイコンが緑色表示） ■ 4 : バッテリーケアモード中（強）（電池アイコンが黄色表示） ■ 5 : 電池温度が高温になったことによる充電制限中
③ ステータスアイコン	1 國際ローミング中はアイコンにRマークが付きます。 2 待受時は「5G」と表示されている場合でも、通信を行う際は表示が「4G」に切り替わり、4G通信が使用される可能性があります。 3 電池温度が高くなっている場合は ■ (赤色) で表示されます。 4 充電制限中は電池アイコン内の線が斜めに表示されます。 5 長時間連続使用で充電し続けたり、充電している時間の割合が多い場合に表示されます。

接続中の無線LAN端末を確認する

接続中の無線LAN端末の一覧を表示する

本機に接続している無線LAN端末の一覧が表示されます。マルチSSID機能（SSID B）をONにしている場合は、SSID Bに接続している端末も確認できます。

1

「接続端末」タブ → 接続リスト



ホスト名やMACアドレス、IPアドレス、インターフェイスが表示されます。

- 接続許可リストに追加 をクリックすると、接続している無線LAN端末のMACアドレスをMACアドレスフィルタリングに追加できます。画面に従って操作してください。
- 接続している無線LAN端末の 編集 をクリックして端末名をわかりやすい名称に変更できます。名称を入力して 保存 をクリックします。使用できる文字は64バイトまでの半角英数字、ハイフン (-)、アンダーバー (_) です。

MACアドレスフィルタリングを設定する

MACアドレスフィルタリングを有効にすると、接続を許可する無線LAN端末を指定できます。

- ・マルチSSID機能（SSID B）をONにしてSSID Bへ接続していた場合も、MACアドレスフィルタリングの対象となります。
- ・Wi-Fi接続および有線LAN接続する機器に対して設定できます。USB接続する機器に対しては設定できません。
- ・MACアドレスフィルタリングを利用する場合は、必ず接続を許可する機器のMACアドレスを追加した後で、**有効**に設定してください。Web UI画面を表示している機器が許可対象になっていない場合は、接続が拒否され、設定を変更できなくなります。
- ・お買い上げ時のMACアドレスフィルタリングは**無効**に設定されています。

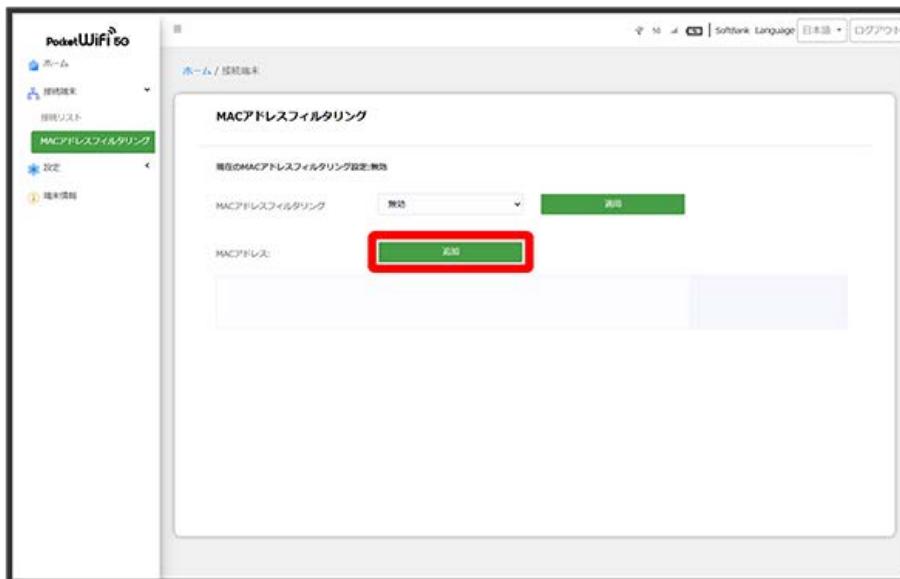
1

「接続端末」タブ → **MACアドレスフィルタリング**



2

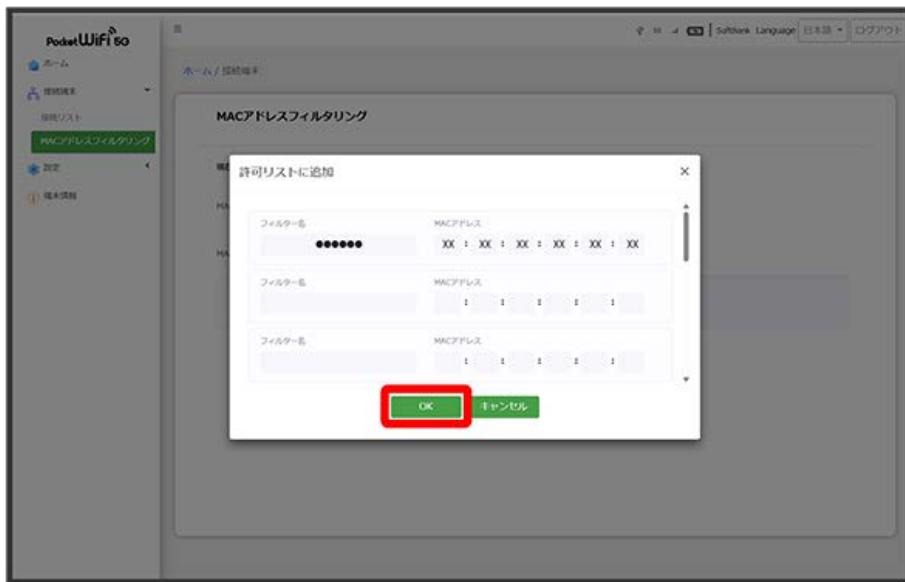
追加



MACアドレスの入力画面が表示されます。

3

フィルターノーとMACアドレスを入力

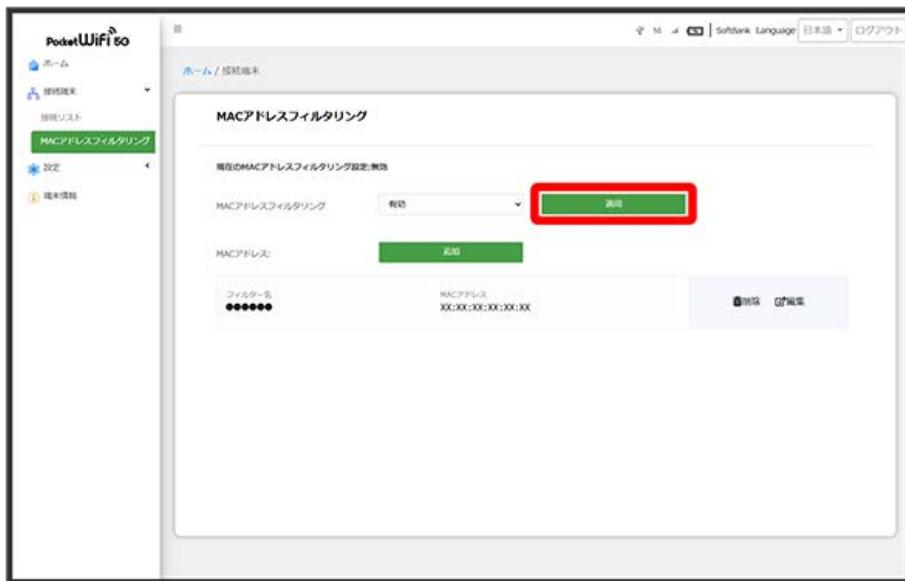


接続を許可した端末が表示されます。

- 「フィルターノー」で使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
- 「MACアドレス」で設定できる範囲は6組の16進数2桁番号です。
- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。
- 追加した端末のフィルターノーまたはMACアドレスを編集する場合は、をクリックしてください。
- 追加した端末を削除する場合は、をクリックしてください。
- MACアドレスフィルタリングの最大設定件数は10件となります。

4

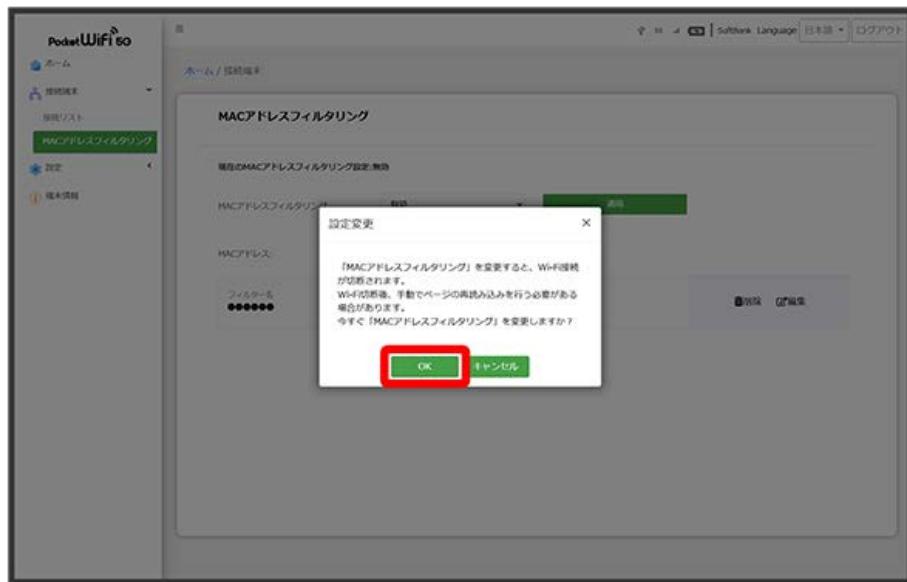
「MACアドレスフィルタリング」の



- 有効にしていたMACアドレスフィルタリングを解除する場合は、 と操作してください。

5

OK



MACアドレスフィルタリングが設定されます。

モバイルネットワークを設定する

モバイルネットワークをご利用になる場合、本機は特別な設定なしに自動でネットワーク接続が可能です。APNを変更して接続するには、接続先に応じたプロファイル作成などが必要になる場合があります。

1 ネットワークモードを変更する

モバイルネットワークのネットワークモードを手動で選択します。

- お買い上げ時のネットワークモードは **5G/4G/LTE** に設定されています。

1

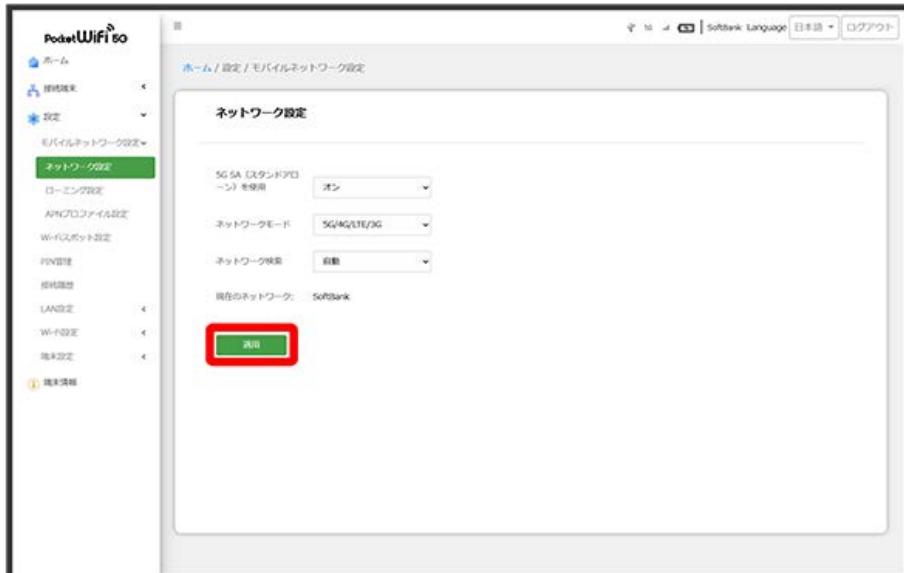
「設定」タブ → モバイルネットワーク設定 → ネットワーク設定



☑ ネットワーク設定画面が表示されます。

2

「ネットワークモード」の **5G/4G/LTE** / **5G/4G/LTE/3G** / **4G/LTE/3G** / **4G/LTE** を選択 → 適用



3

OK

適用しました

OK

- 
- ネットワークが設定されます。

+ 5Gの方式を設定する

5Gを利用する場合に、5G SA（スタンドアローン方式）を利用するかどうかを設定できます。

ネットワーク設定画面で「5G SA（スタンドアローン）を使用」の **オン** / **オフ** を選択 → **適用** → **OK**

- ・「5G SA（スタンドアローン）を使用」を **オフ** に設定すると、5G NSA（ノンスタンドアローン方式）のみの利用になります。
- ・海外の5G SAの周波数には非対応のため、国際ローミング中は、「5G SA（スタンドアローン）を使用」を **オン** にしても5G NSAのみの利用になります。
- ・お買い上げ時の「5G SA（スタンドアローン）を使用」は **オン** に設定されています。

モバイルネットワークを検索する

モバイルネットワークを検索して、ネットワークを設定できます。

- お買い上げ時のネットワーク検索は **自動** に設定されています。

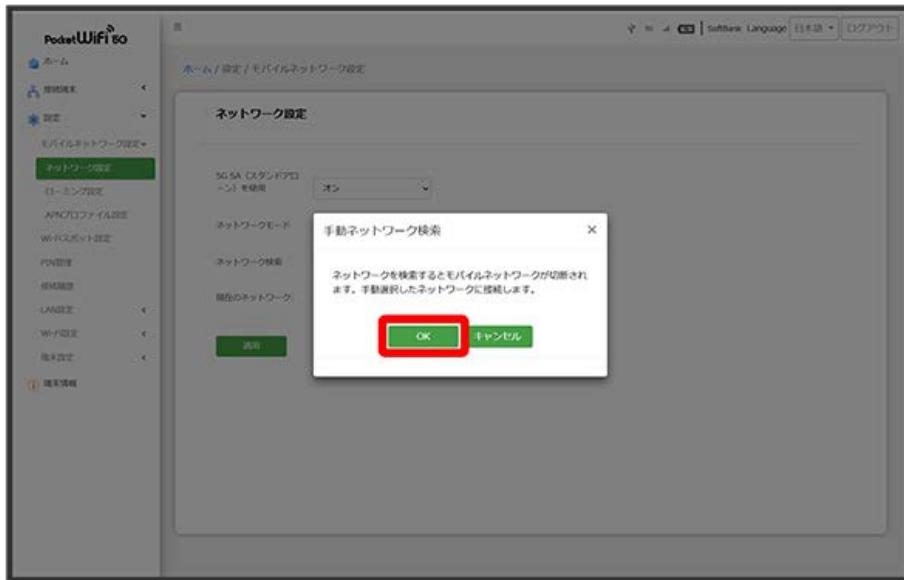
1

「設定」タブ → モバイルネットワーク設定 → ネットワーク設定



2

「ネットワーク検索」の **自動** → **手動** → **OK**

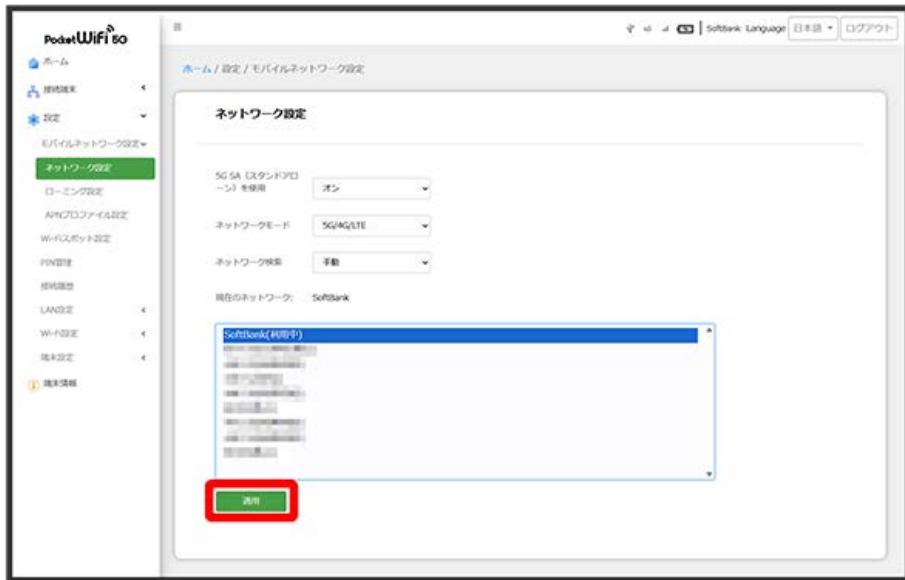


設定できるモバイルネットワークの一覧が作成されます。

- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

3

設定するモバイルネットワークを選択 → 適用



4

OK



ネットワークが設定されます。

国際ローミングを設定する

国際ローミングの利用を設定します。

- お買い上げ時のローミングの利用は **無効** に設定されています。

1

「設定」タブ → モバイルネットワーク設定 → ローミング設定



2

「ローミングの利用」の **無効** → **有効** → **適用**



3

OK

適用しました

OK

国際ローミングの設定が適用されます。

- ・海外で3Gを使用するときは、[ネットワーク設定] で [5G/4G/LTE/3G] / [4G/LTE/3G] を選択してください。詳しくは「[ネットワークモードを変更する](#)」を参照してください。
- ・海外でのご利用は高額となる場合がありますのでご注意ください。

プロファイルを作成する

APNを追加・変更します。新しいプロファイルを追加するには、次の項目を設定します。

項目	説明
プロファイル名	プロファイル名を入力します。使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
APN名	APNを入力します。 ¹ 使用できる文字は62バイトまでの半角英数字、ドット(.)、ハイphen (-) です。
ユーザー名	ユーザー名を入力します。使用できる文字は64バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
パスワード	パスワードを入力します。使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
認証方式	認証方式を選択します。お買い上げ時は、[CHAP] に設定されています。
IPタイプ	IPタイプを選択します。お買い上げ時は、[IPv4/v6] に設定されています。
IPタイプ（ローミング）	国際ローミング利用時のIPタイプを選択します。お買い上げ時は、[IPv4] に設定されています。

- 1 [法人] 閉域網契約専用APN（共通）¹ は、当社が提供する法人のお客様向け閉域網サービス「ネットワーク・VPN ゲートウェイセキュアモバイルアクセス」専用の共通APNです。
ご利用には別途「ネットワーク・VPN ゲートウェイセキュアモバイルアクセス」のご契約が必要です。
「ネットワーク・VPN ゲートウェイセキュアモバイルアクセス」に関する詳細については、https://www.softbank.jp/biz/cloud/sdngateway/secure_mobile_acをご覧ください。

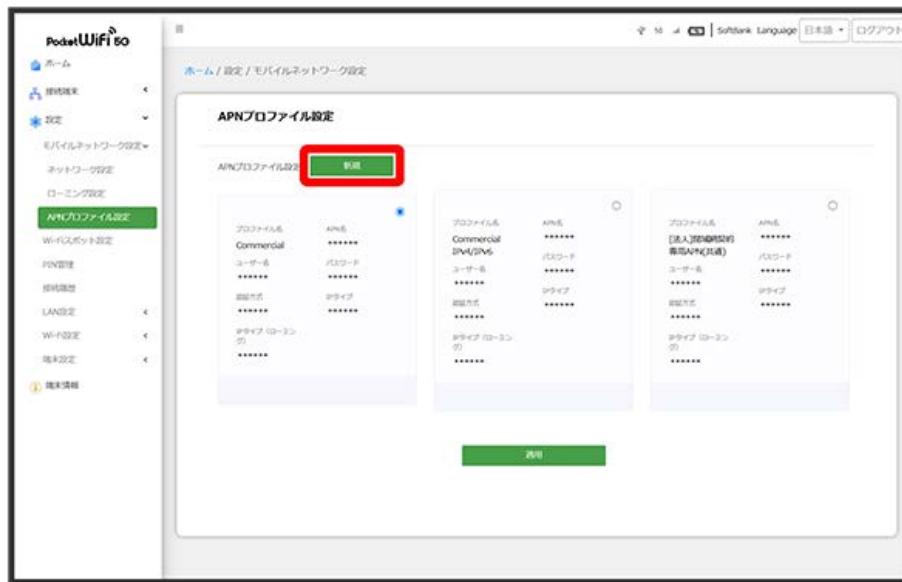
1

「設定」タブ → モバイルネットワーク設定 → APNプロファイル設定



2

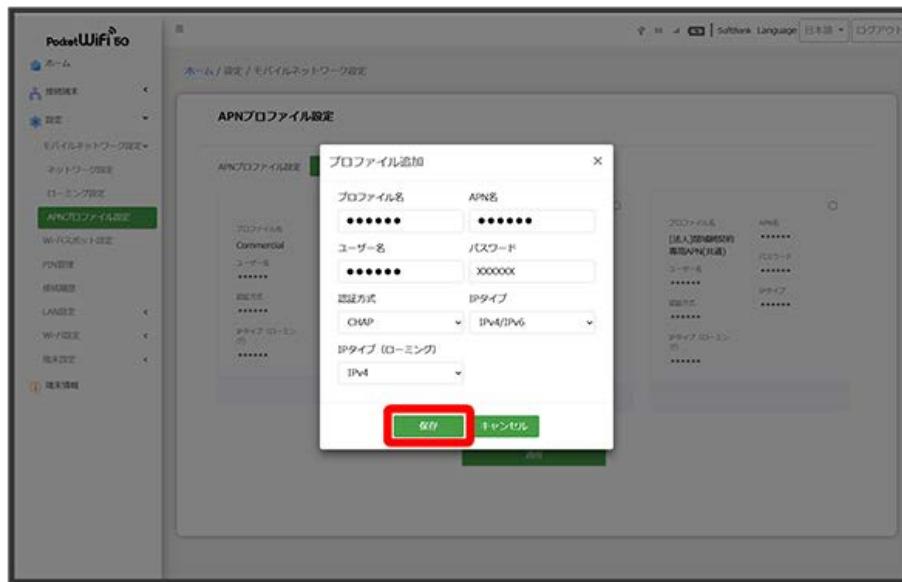
新規



新規プロファイルの作成画面が表示されます。

3

各項目を設定 → 保存



各種機能を設定する (Web UIを使用する)

4

OK



☑ 新規プロファイルが作成され、APNプロファイル設定画面に戻ります。「APN」の一覧に新規プロファイルが表示されます。

- ・新規プロファイルを編集する場合は、**編集** をクリックしてください。
- ・新規プロファイルを削除する場合は、**削除** をクリックしてください。
- ・APNを変更して**適用** をクリックすると、変更した設定を有効にするために本機を再起動します。
- ・APNプロファイルの最大設定件数は10件となります。

Wi-Fiスポットの設定を行う

本機は、自宅や会社の無線LANルーター、ソフトバンクWi-Fiスポットなどと接続して、インターネットに接続できます。このインターネット接続のことをWi-Fiスポット機能と呼びます。

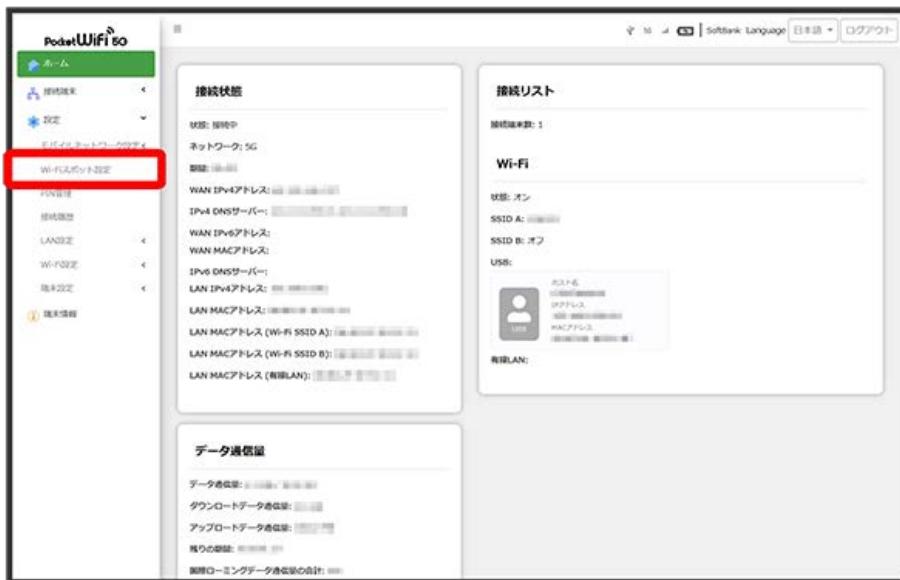
Wi-Fiスポットを設定する

Wi-Fi機能でインターネットに接続します。

- お買い上げ時のWi-Fiスポットの利用は **無効** に設定されています。
- 接続している無線LAN端末の接続数によっては、最大通信速度が低下する場合があります。
- Wi-Fiスポット機能を利用している場合は **マルチSSID** 機能を利用できません。
- Wi-Fiスポットを有効にすると、設定されているWi-FiモードやWi-Fiチャネルとは異なる設定で動作する場合があります。設定されているWi-FiモードやWi-Fiチャネルを固定で動作させたい場合は、Wi-Fiスポットのご利用をお控えください。

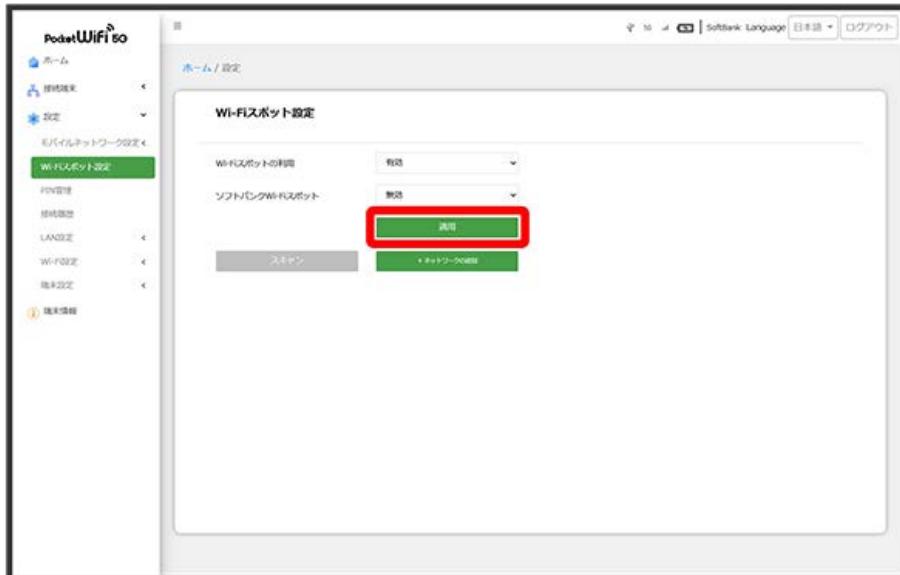
1

「設定」タブ → [Wi-Fiスポット設定]



2

「Wi-Fiスポットの利用」の **無効** → **有効** → **適用**



3

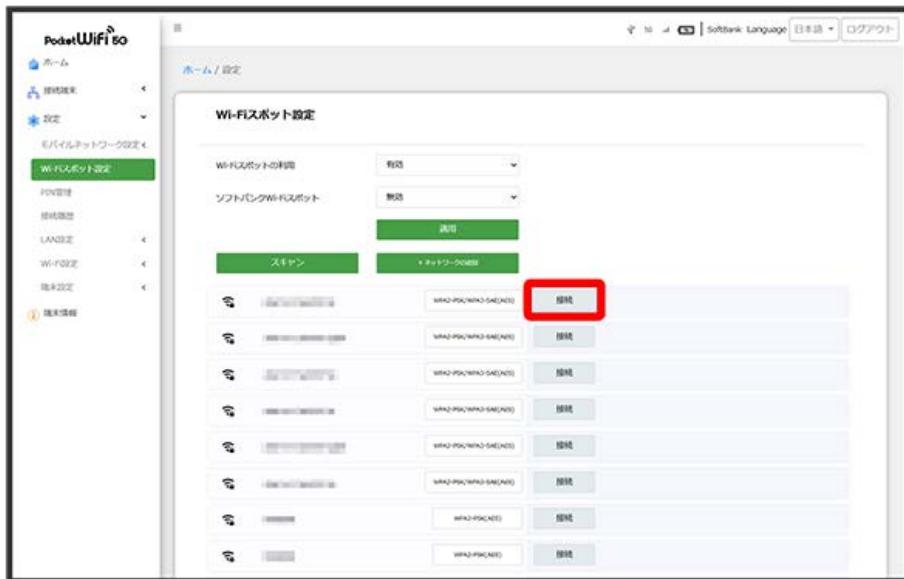
OK → OK



- ・[スキャン] をクリックすると、周囲にあるWi-Fiスポットのアクセスポイントを検索します。
- ・検出されたネットワークと登録されたネットワークが一覧で表示されます。登録されたネットワークが優先的に表示され、新しく登録したネットワークは一番上に表示されます。未登録のネットワークについては、電波強度が高いものから表示されます。
- ・Wi-Fiがスリープモードの場合を除き、通常は定期的にバックグラウンドでスキャンしていますが、[スキャン] をクリックすることですぐにスキャンすることができます。
- ・本機のSSIDは表示されません。

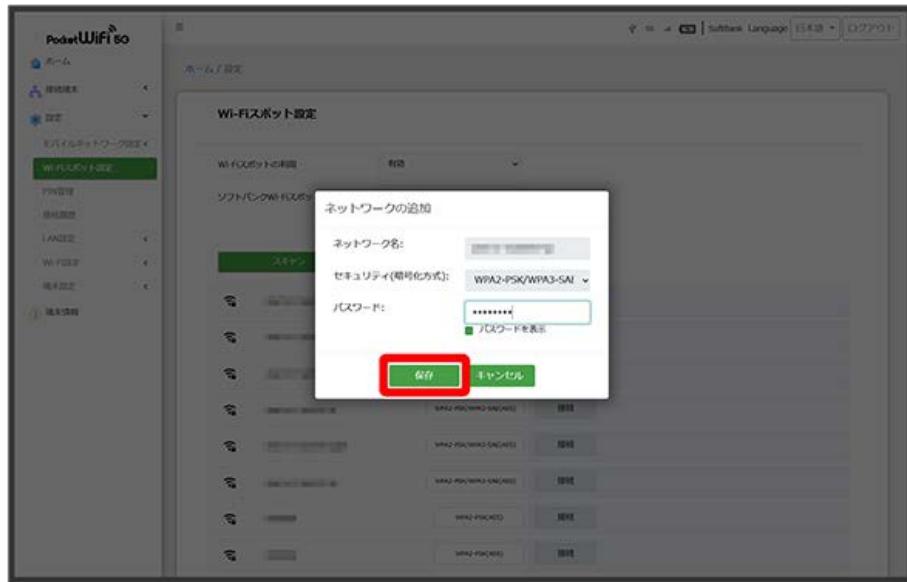
4

接続するアクセスポイントの [接続]



5

パスワード（セキュリティキー）を入力 → [保存]



☑ 選択したアクセスポイントに接続され、ステータスバーには、無線LANの受信レベルアイコン が表示されます。

- ・確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。
- ・セキュリティ（暗号化方式）を [Open] している場合は暗号化についての確認画面が表示されます。確認画面が表示された場合は内容を確認し、[はい] を選択してください。
- ・スキャンして接続する場合には、セキュリティ（暗号化方式）を変更することはできません。

+ Wi-Fiスポット利用時の操作

Wi-Fiスポットの接続情報を手動で設定して接続する

「設定」タブ → [Wi-Fiスポット設定] → [+ネットワークの追加] → Wi-Fi名 (SSID) を入力 → 認証方式や暗号化方式を選択 → 表示に従ってパスワード（セキュリティキー）を入力 → [保存] → [接続]

☑ 入力したWi-Fi名 (SSID) の機器と接続されます。

- ・確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。
- ・最大設定件数は10件となります。
- ・「ネットワーク名」で使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
- ・「パスワード」で使用できる文字は8-63バイトの半角英数字、記号、または64桁の16進数です。

接続したWi-Fiスポットを削除する

「設定」タブ → [Wi-Fiスポット設定] → 削除するWi-Fiスポットの [削除]

- ・確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

接続したWi-Fiスポットの接続情報を変更する

「設定」タブ → [Wi-Fiスポット設定] → 変更するWi-Fiスポットの [編集] → 各項目を設定 → [保存]

接続先の優先度を設定する

接続したWi-Fiスポットに優先順位を設定し、優先的に接続するアクセスポイントを指定できます。

「設定」タブ → [Wi-Fiスポット設定] → 優先度を変更するWi-Fiスポットの /

☑ クリックすると接続先の位置が上下移動して優先度を設定します。

! Wi-Fiスポット設定変更時のご注意

無線LANで接続した端末から、WEB UIでWi-Fiスポットの設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがありますのでご注意ください。

ソフトバンクWi-Fiスポットを設定する

ソフトバンクWi-Fiスポットを有効にすると、ソフトバンクWi-Fiスポットのサービスエリアに入ったときに自動で接続されます。

- お買い上げ時のソフトバンクWi-Fiスポットは **無効** に設定されています。
- あらかじめ、Wi-Fiスポットの利用を **有効** にしておいてください。

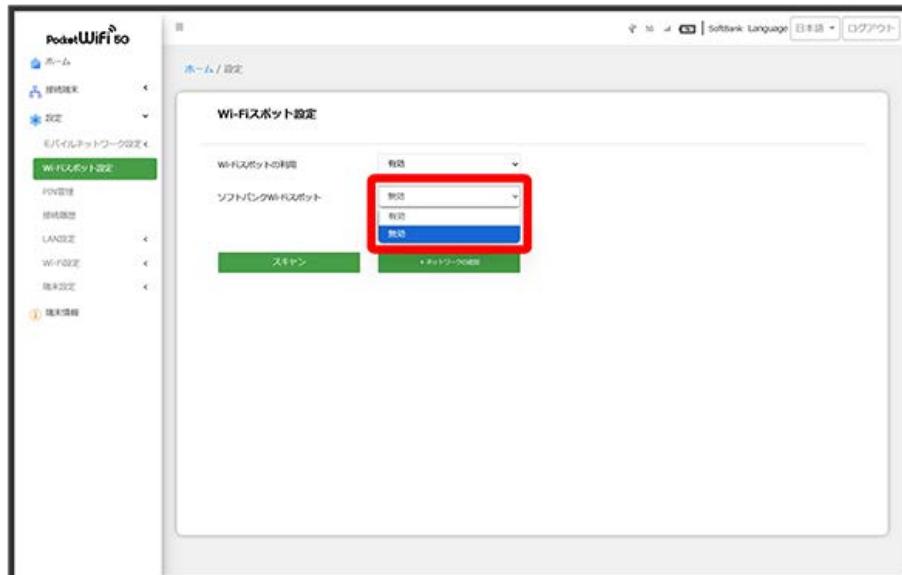
1

「設定」タブ → [Wi-Fiスポット設定]



2

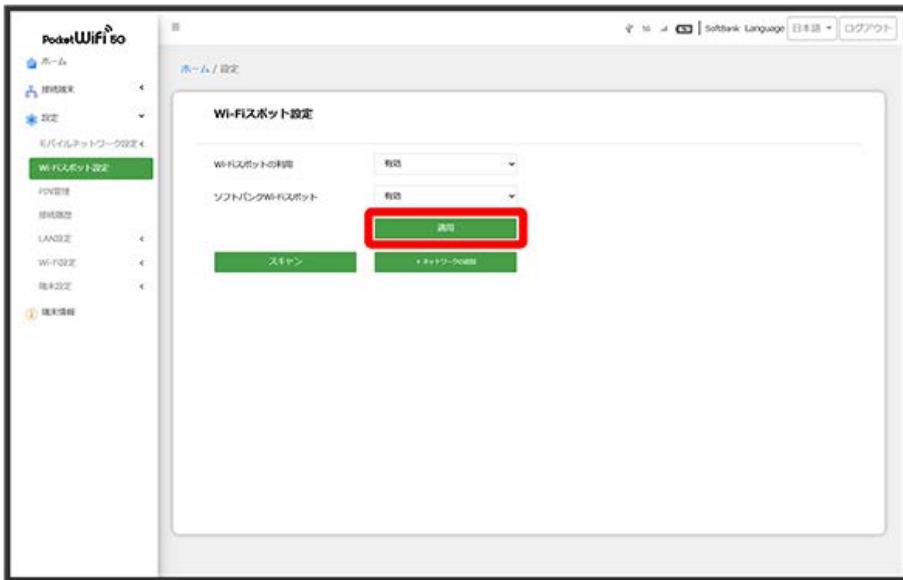
「ソフトバンクWi-Fiスポット設定」の **無効** → **有効**



各種機能を設定する（Web UIを使用する）

3

適用



4

OK → OK



☑ アクセスポイント「XXXXsoftbank」が追加され、ソフトバンクWi-Fiスポット設定が完了します。周囲にソフトバンクWi-Fiスポットがある場合、自動的に接続されます。

・ソフトバンクWi-Fiスポットは削除、編集、優先順位の変更はできません。

PINコードを管理する

SIMカードのPINコードについて設定します。

PINコードについて

PIN (Personal Identification Number) は、不正ユーザーがSIMカードを使用することを防ぐために使われるコードです。

- ・ PIN認証を有効に設定すると、電源を入れたときに本機またはWeb UIからPINコードを入力しないと本機を使用することができなくなります。
- ・ PINコードを3回連續で間違えるとPINロック状態になります。その場合PINロック解除コード（PUKコード）が必要になります。PINロック解除コード（PUKコード）については、[お問い合わせ先](#)にご確認ください。またPINロック解除コード（PUKコード）を10回連續で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態となった場合は所定の手続きが必要になります。[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

PIN認証を設定する

PINコードによる認証を設定します。

- お買い上げ時のPINロックは、**無効**に設定されています。
- お買い上げ時のSIMカードのPINコードは、「9999」に設定されています。

1

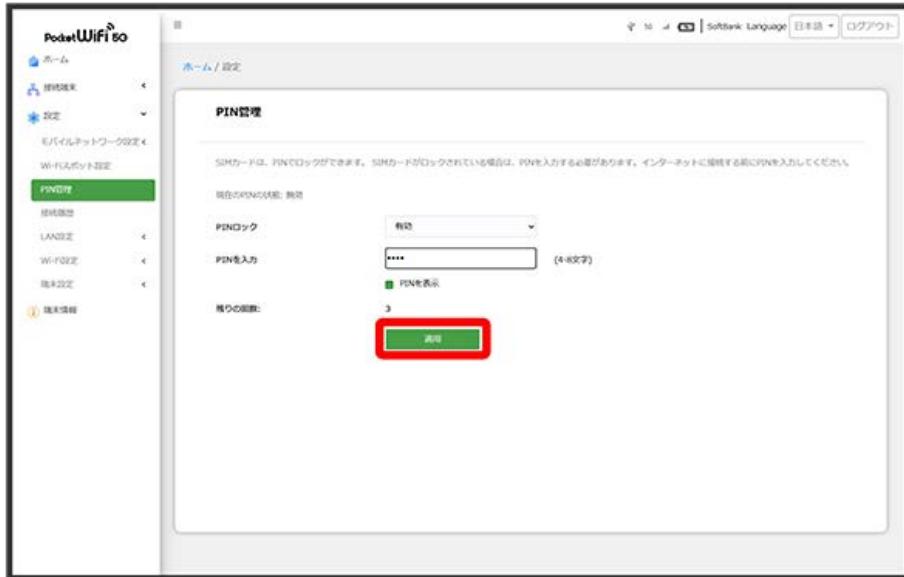
「設定」タブ → **PIN管理**



PIN管理画面が表示されます。

2

「PINロック」の **無効** → **有効** → PINコードを入力 → **適用**



3

OK

適用しました

OK



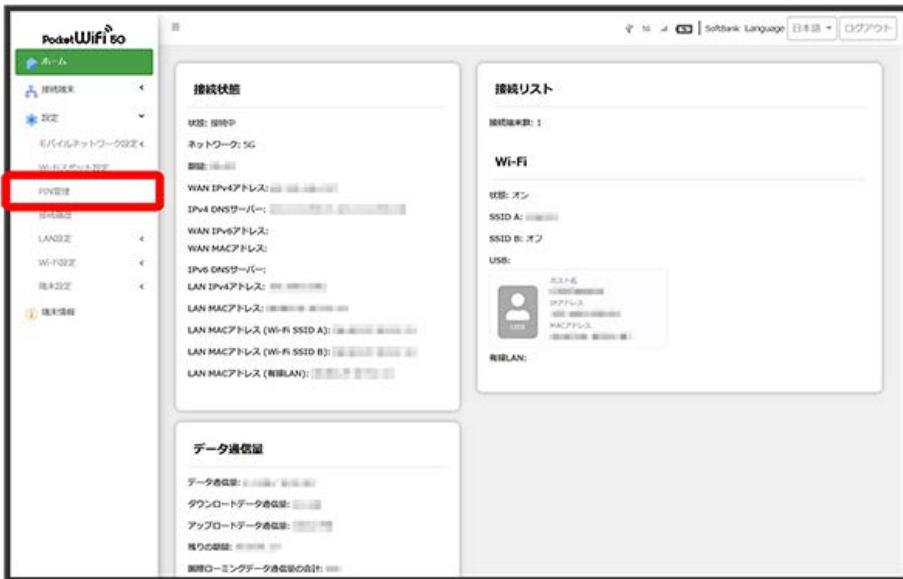
電源を入れたときに本機またはWeb UIからPINコードの入力が必要になります。

・PIN認証を無効にする場合は、PIN管理画面で [有効] → [無効] → PINコードを入力 → [適用] → [OK] と操作してください。

PIN認証を行う（Web UIから）

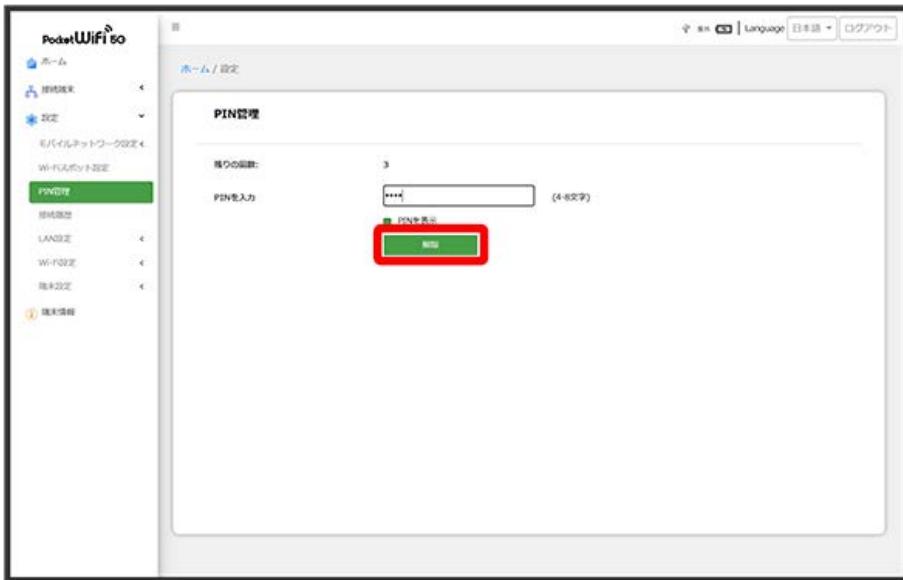
1

「設定」タブ → PIN管理



2

4~8桁のPINコードを入力 → 解除



正しいPINコードが入力されるとPINロックが解除されます。

PIN認証を行う（本体から）

本機の電源を入れると、PINコード入力画面が表示されます。

1

4~8桁のPINコードを入力 ➔ [OK]



正しいPINコードが入力されると、ホーム画面が表示されます。

PINコードを変更する

PINコードは、必要に応じて4~8桁のお好きな番号に変更できます。PINコードの変更は、PIN認証が有効に設定されているときにできます。

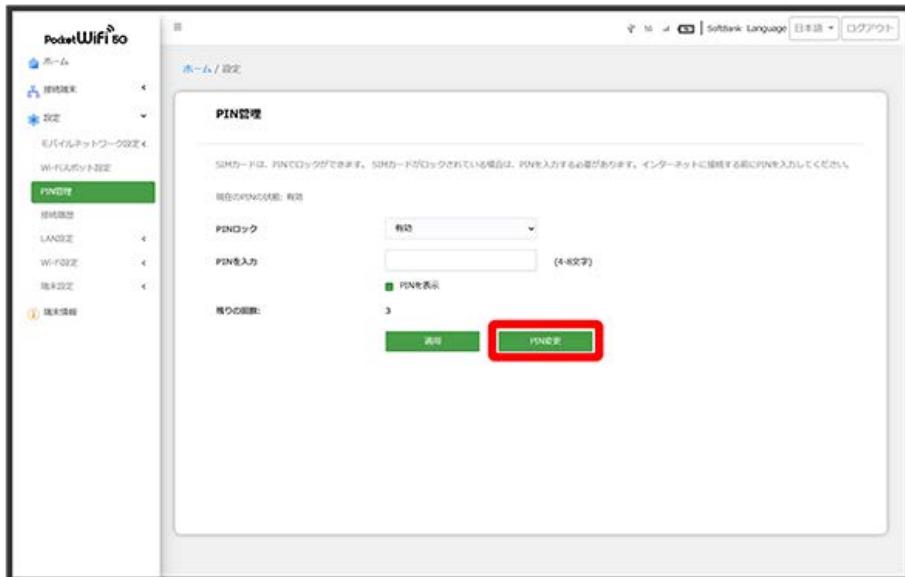
1

「設定」タブ → PIN管理



2

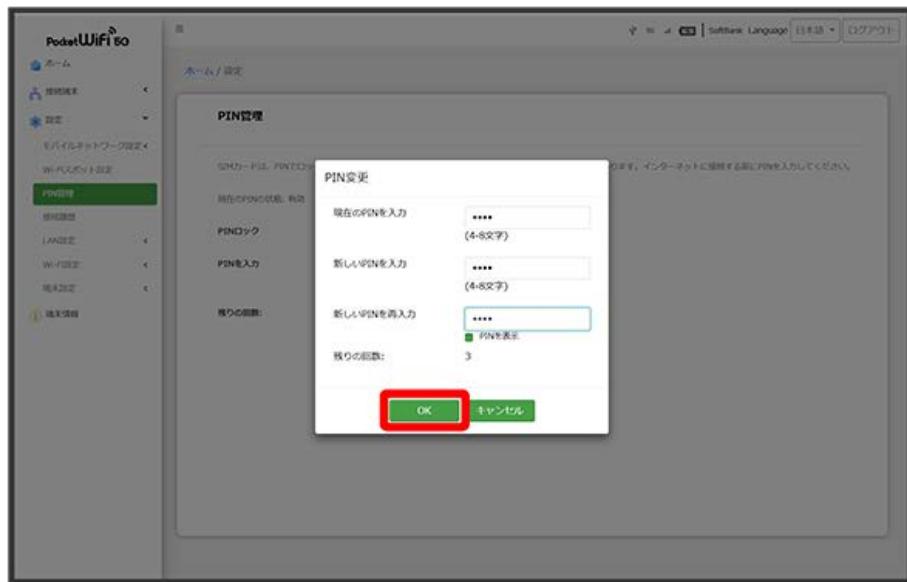
PIN変更



PIN変更画面が表示されます。

3

各項目を設定 → [OK]



4

[OK]



PINコードが変更されます。

接続履歴を確認する

接続履歴を確認します。履歴には接続時のプロファイル名、開始／終了時間、IPアドレス、アップロード／ダウンロード量が表示されます。

接続履歴を確認する

お買い上げ時の接続履歴設定は **有効** に設定されています。

1

「設定」タブ → **接続履歴**



接続履歴画面が表示され、接続履歴の一覧が表示されます。

・ LAN側の接続履歴は表示されません（Wi-Fi接続、USB接続、有線LAN接続）。

接続履歴を設定する

接続履歴を保存するかどうかを設定する

接続履歴画面で「接続履歴設定」の **有効** / **無効** を選択 → **適用**

・ 保存できる接続履歴の最大件数は、50件となります。最大件数を超えた場合は、古い履歴が削除され、新しい履歴が上書きされます。

接続履歴を削除する

接続履歴画面で、削除する履歴にチェックを付ける → **削除** → **はい**

接続履歴をテキストファイルでパソコンにダウンロードする

接続履歴画面で、ダウンロードする履歴を選択 → **エクスポート** → 画面に従って操作

LAN設定を行う

DHCPを設定する

LAN内の端末にIPアドレスを割り当てる機能を設定します。

IPv4のみに対応しています。

ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
ホストIPアドレス	本機のホストIPアドレスを設定します。お買い上げ時は、192.168.128.1に設定されています。設定できる範囲は、192.168.0.0～192.168.255.255です。 ¹
ホストサブネットマスク ²	ホストサブネットマスクを設定します。お買い上げ時は、255.255.255.0に設定されています。設定できる範囲は、255.255.0.0～255.255.255.254です。
DHCPサーバー	DHCP機能を使用するかどうかを設定します。お買い上げ時は、有効に設定されています。
DHCP IP範囲 ³	LAN内の端末に割り当てる最小と最大のIPアドレスを設定します。お買い上げ時は、192.168.128.100～192.168.128.200に設定されています。「開始IPアドレス」および「終了IPアドレス」で設定できる範囲は、192.168.0.0～192.168.255.255です。 ¹
リース時間(分)	IPアドレスのリース時間を設定します。お買い上げ時は、1440に設定されています。設定できる範囲は、2～43200です。
DNS設定	DNSサーバーの情報を自動的に更新するか、手動で指定するかを設定します。お買い上げ時は、自動に設定されています。
プライマリDNS ⁴	プライマリDNSを設定します。設定できる範囲は、0.0.0.0～255.255.255.255です。
セカンダリDNS ⁴	セカンダリDNSを設定します。設定できる範囲は、0.0.0.0～255.255.255.255です。
予約IPアドレス	特定のLAN内の端末（MACアドレス）に固定IPアドレスを割り当てる設定を追加します。最大設定件数は30件となります。
	設定できる範囲は次の通りです。 <ul style="list-style-type: none"> IPアドレス：192.168.0.0～192.168.255.255^{1,5} MACアドレス：6組の16進数2桁番号

1 ネットワークアドレス（192.168.X.0）およびブロードキャストアドレス（192.168.X.255）は設定できません。

2 変更する場合は、DHCP IP範囲と一致している必要があります。

3 「開始IPアドレス」と「終了IPアドレス」は、同じ値を設定することができます。

4 「DNS設定」が手動の場合に設定できます。

5 「DHCP IP範囲」で設定した範囲内のIPアドレスが利用できます。

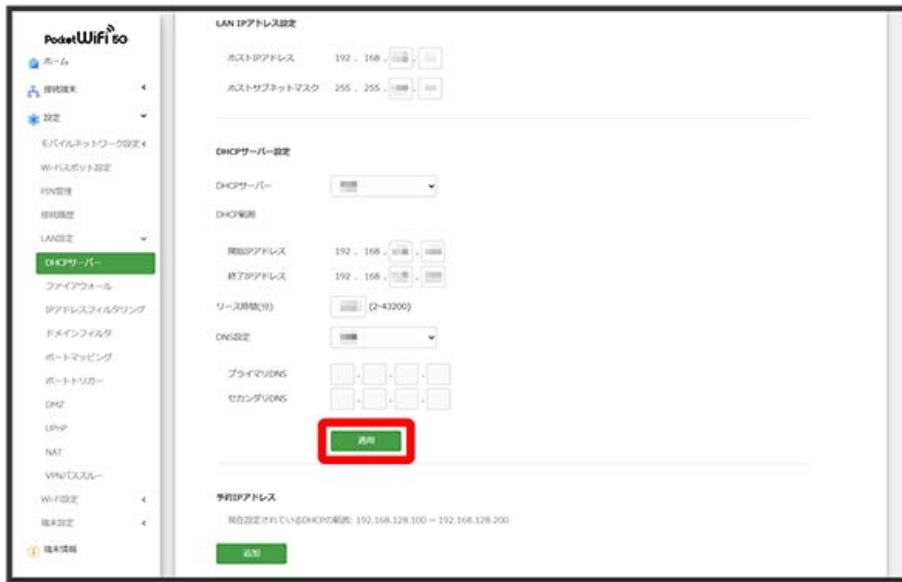
1

「設定」タブ → LAN設定 → DHCPサーバー



2

各項目を設定 → 適用



☑ DHCPが設定されます。設定が完了すると、Web UIからログアウトされ、ホーム画面に戻ります。

・確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

ファイアウォールを設定する

ファイアウォール機能に関する設定を行います。

- ポートマッピング、ポートトリガー、DMZおよびUPnP機能をご利用時は、ファイアウォール機能の **IPアドレスフィルタリング** はご利用いただけません。

ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
IPアドレスフィルタリング	IPアドレスフィルタ機能を使用するかどうかを設定します。お買い上げ時は 無効 に設定されています。
WANポートPINGブロック	WAN側からのPINGに応答するかどうかを設定します。お買い上げ時は 有効 に設定されています。

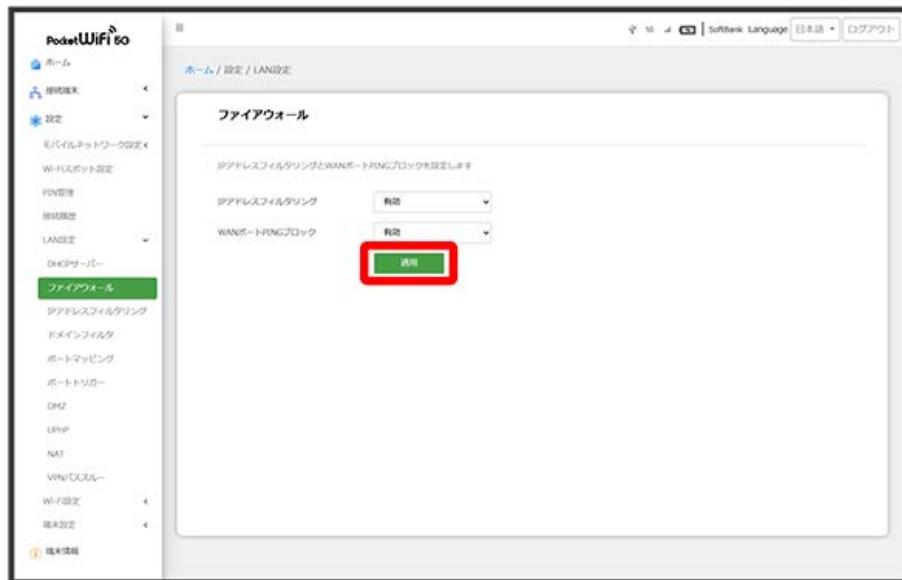
1

「設定」タブ → **LAN設定** → **ファイアウォール**



2

各項目を設定 → **適用**



3

OK

適用しました

OK IPアドレスフィルタリングとWANポートPINGブロックが設定されます。

IPアドレスやポートのフィルタリングを設定する

インターネットとの通信について、設定したルールに従い、LAN側（送信側）とWAN側（送信先）の各アドレスからファイアウォールを通過させるかどうかを判断します。

- あらかじめ、「ファイアウォール」の「IPアドレスフィルタリング」を [有効]にしておいてください。

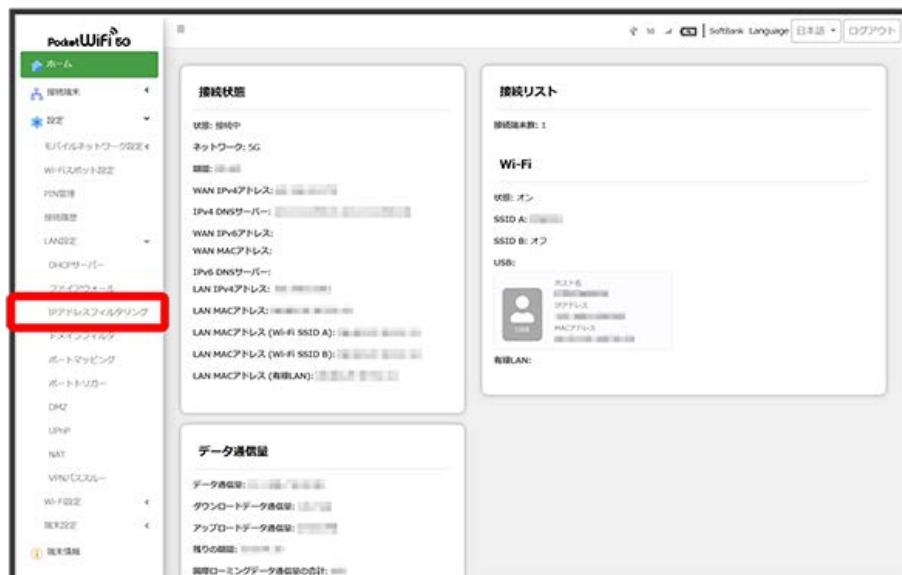
ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
フィルターモード	ファイアウォールの通過を許可するアドレスについて設定するか、通過を拒否するアドレスについて設定するかを選択します。お買い上げ時は、 拒否 が選択されています。
IPタイプ	フィルタリングを設定するIPのタイプを設定します。お買い上げ時は、 IPv4 に設定されています。
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。お買い上げ時は、 TCP/UDP に設定されています。
LAN IPアドレス	ルールを適用するLAN側（送信側）端末のIPアドレスを設定します。IPアドレスは、LAN側で使用しているIPアドレスの範囲内で指定します。 設定できる範囲は次のとおりです。 ¹ <ul style="list-style-type: none"> IPタイプがIPv4の場合：0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 IPタイプがIPv6の場合：8組の16進数4桁番号²
LANポート	ルールを適用するLAN側（送信側）端末のポート番号を設定します。設定できる範囲は、 1 ~ 65535 です。 ³ ルールを適用するWAN側（送信先）のIPアドレスを設定します。
WAN IPアドレス	設定できる範囲は次のとおりです。 ¹ <ul style="list-style-type: none"> IPタイプがIPv4の場合：0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 IPタイプがIPv6の場合：8組の16進数4桁番号²
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信先）のポート番号を設定します。設定できる範囲は、 1 ~ 65535 です。 ³
方向	LAN側（送信側）とWAN側（送信先）の各アドレスからファイアウォールを通過させる方向を選択します。お買い上げ時は、 OUT に設定されています。

- 末尾にCIDR値を入力すると、範囲指定することができます。
- 8組の番号間を「:」で区切る必要があります。
- 番号間に「-」を入力すると、範囲指定することができます。ポート番号を指定しない場合は、「*」を入力してください。

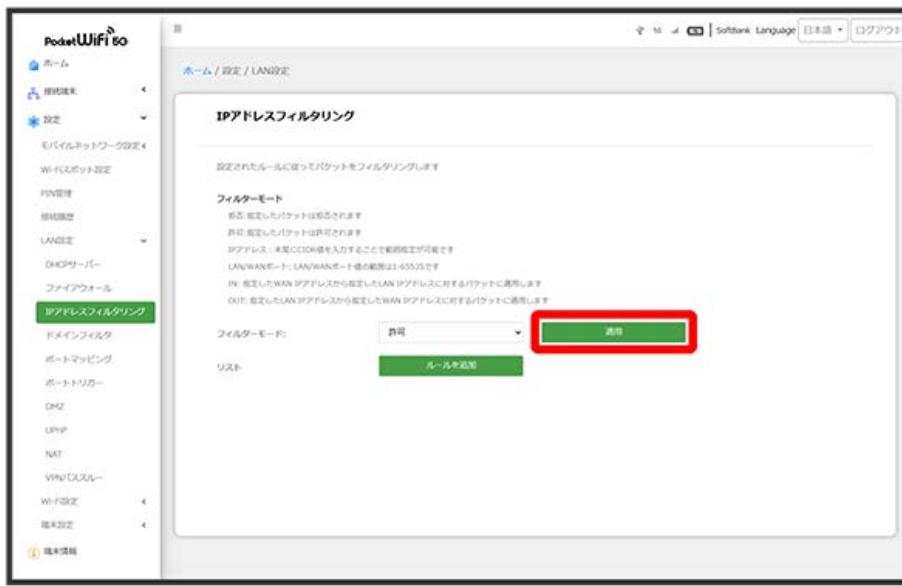
1

「設定」タブ → **LAN設定** → **IPアドレスフィルタリング**



2

「フィルターモード」の **拒否** / **許可** を選択 → **適用**



- ・**拒否** を選択すると、追加したルールのパケットが拒否されます。
- ・**許可** を選択すると、追加したルールのパケットのみ許可されます。

3

OK



4

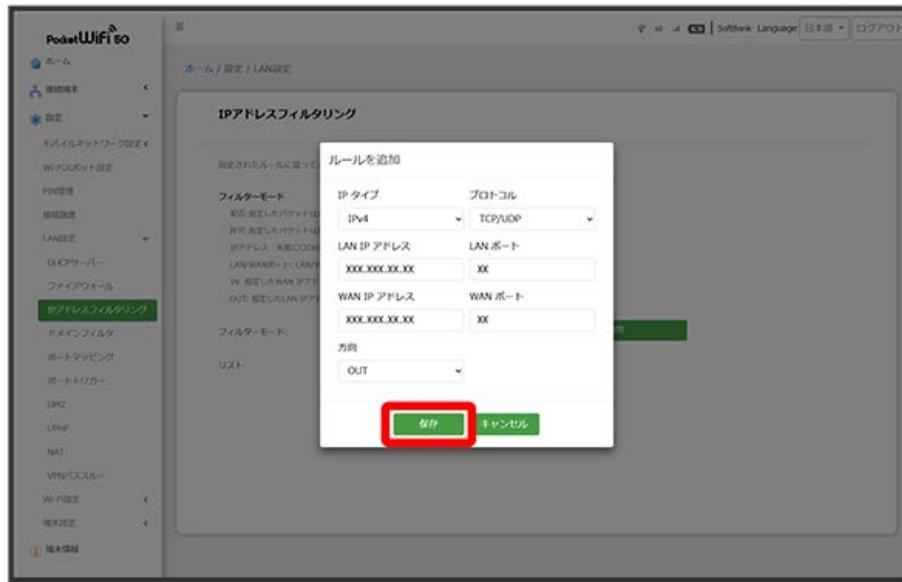
ルールを追加



- ・最大設定件数は50件となります。

5

各項目を設定 → [保存]



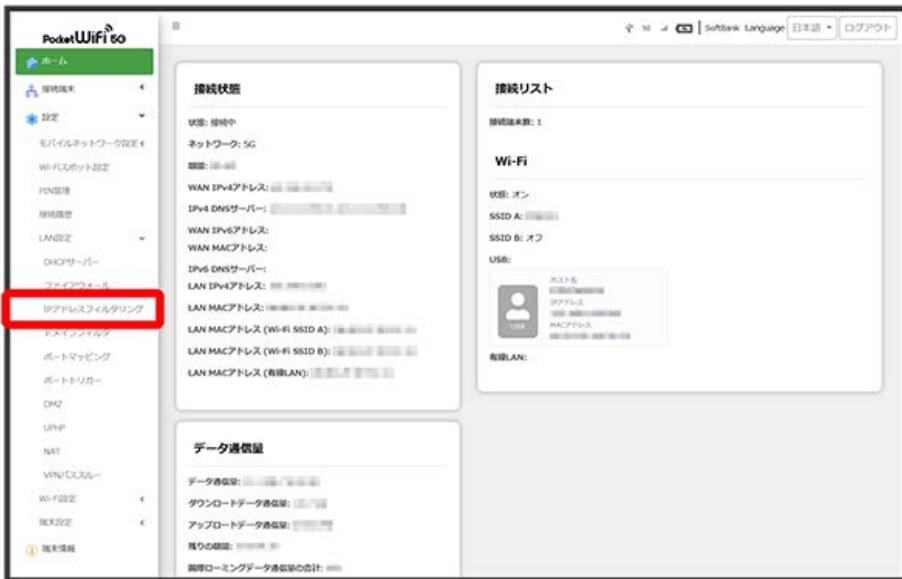
設定したルールが保存され、フィルタリングが設定されます。

- 「方向」で **[IN]** を選択すると、指定したWAN IPアドレスから指定したLAN IPアドレスに対する通信にルールを適用します。 **[OUT]** を選択すると、指定したLAN IPアドレスから指定したWAN IPアドレスに対する通信にルールを適用します。

IPアドレスやポートのフィルタリングを解除する

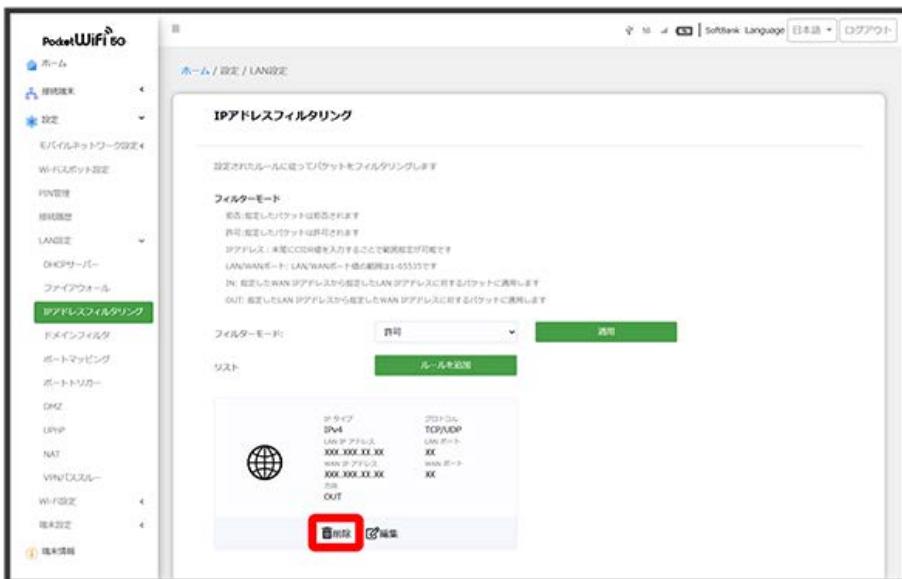
1

「設定」タブ → LAN設定 → IPアドレスフィルタリング



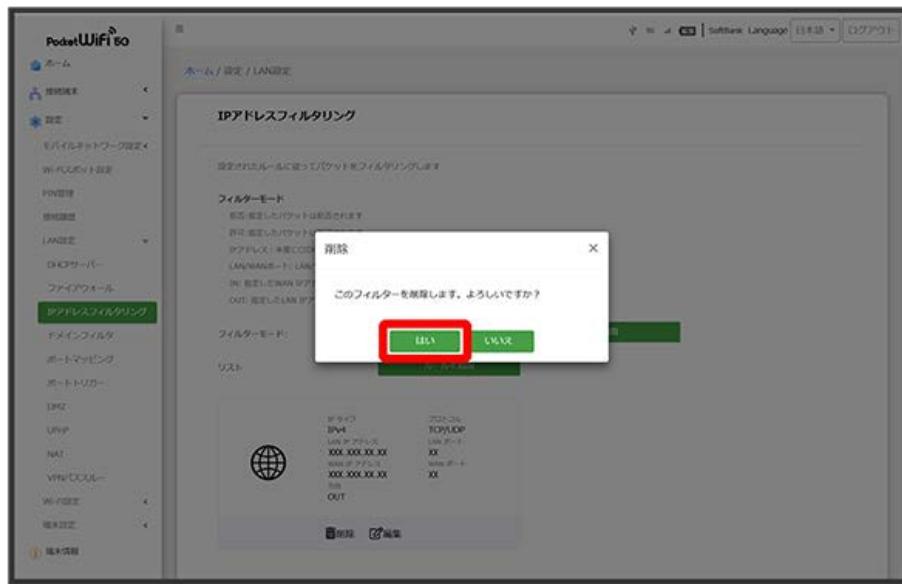
2

削除するルールの [削除]



3

[はい]



フィルタリングが解除されます。

ドメイン名フィルタを設定する

LAN内のコンピュータが特定のウェブサイトにアクセスすることを制限するためにフィルタ設定を行います。お買い上げ時のドメインフィルタは、**無効**に設定されています。

ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
フィルターモード	アクセスを許可するドメインについて設定するか、アクセスを禁止するドメインについて設定するかを選択します。お買い上げ時は、 拒否 が選択されています。
ドメイン名	フィルタ設定を適用するドメイン名を設定します。使用できる文字は63バイトまでの半角英数字、記号(-)、および全角文字です。
ステータス	設定したドメインに対してフィルタリングを有効にするかどうかを設定します。お買い上げ時(ドメインの設定時)は、 On に設定されています。

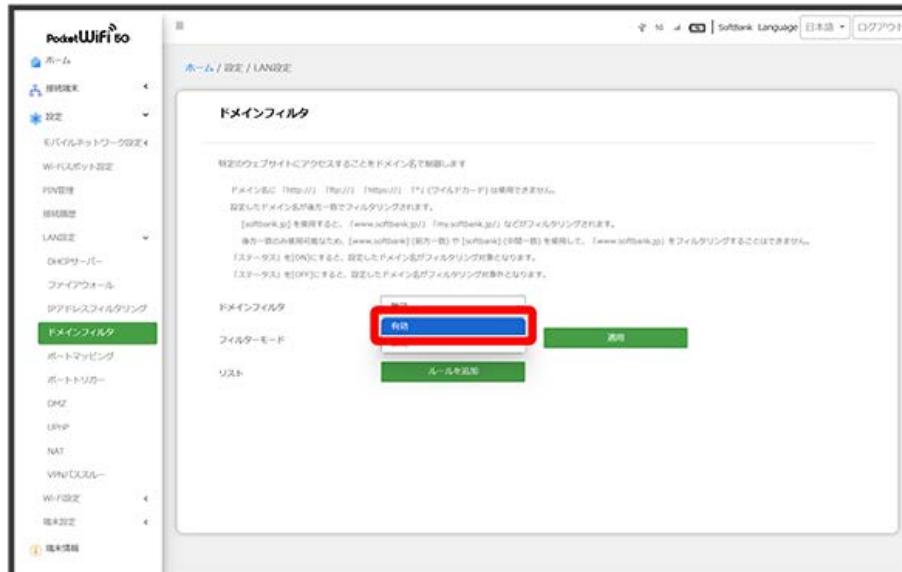
1

「設定」タブ → LAN設定 → ドメインフィルタ



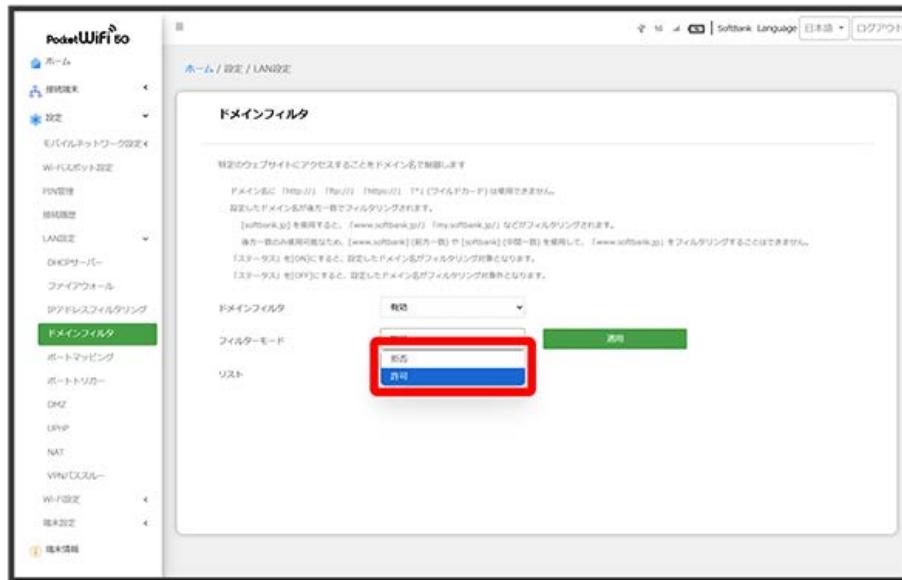
2

「ドメインフィルタ」の **無効** → **有効**



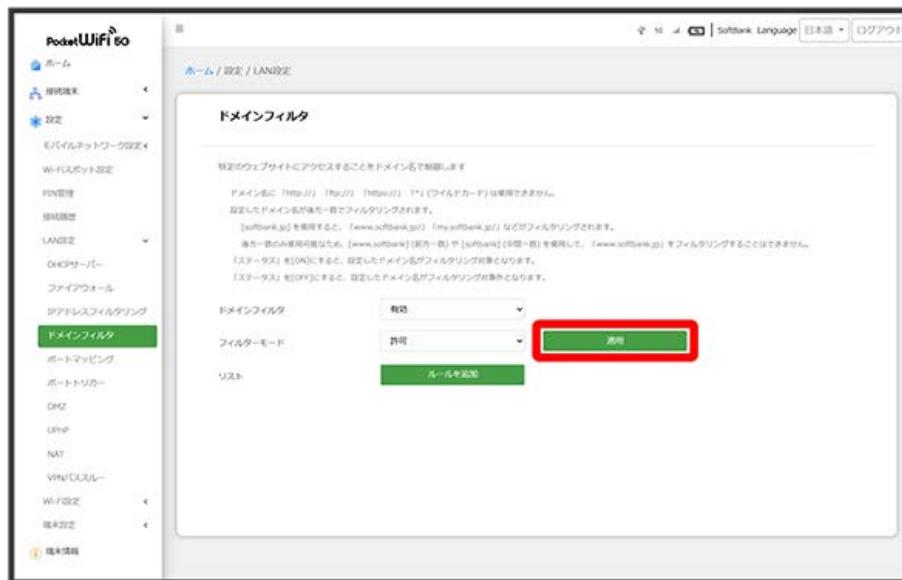
3

「フィルターモード」の **拒否** / **許可** を選択



4

適用



5

OK



6

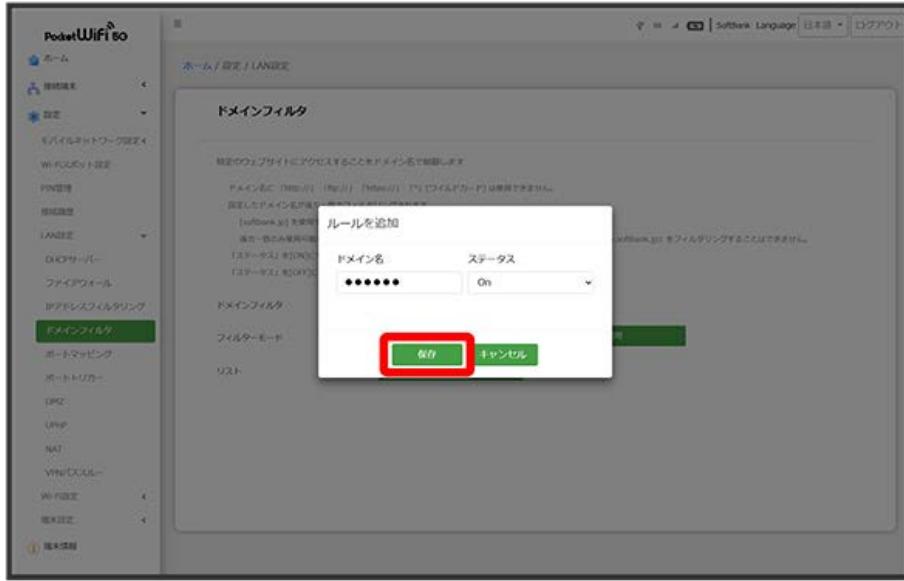
ルールを追加



- ・最大設定件数は30件となります。

7

各項目を入力 → 保存



☑ ドメイン名フィルタの設定が完了しました。

- ・フィルターモードで **拒否** を選択した場合は、アクセスさせたくないウェブサイトをフィルタリストに設定します。 **許可** を選択した場合は、アクセスを許可するウェブサイトをフィルタリストに設定します。
- ・ドメイン名に「http://」、「ftp://」、「https://」、「*」（ワイルドカード）は使用できません。
設定したドメイン名が後方一致でフィルタリングされます。
softbank.jpを使用すると、「www.softbank.jp/」「my.softbank.jp/」などがフィルタリングされます。
- ・ドメイン名やステータスを編集するには、ドメイン名の **編集** をクリックします。ステータスを **On** に設定すると、設定したドメイン名はフィルタリングの対象になります。ステータスを **Off** に設定するとフィルタリングの対象外になります。

ドメイン名フィルタを解除する

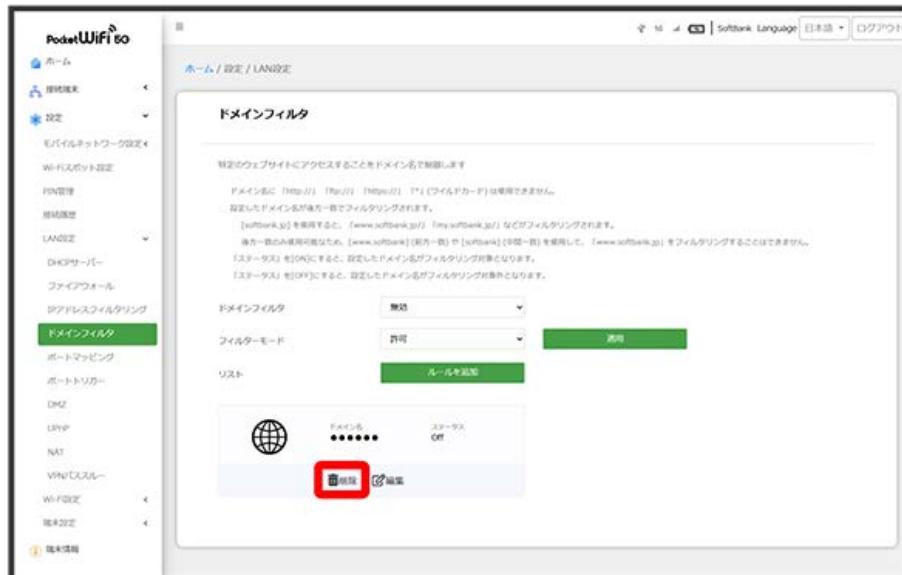
1

「設定」タブ → LAN設定 → ドメインフィルタ



2

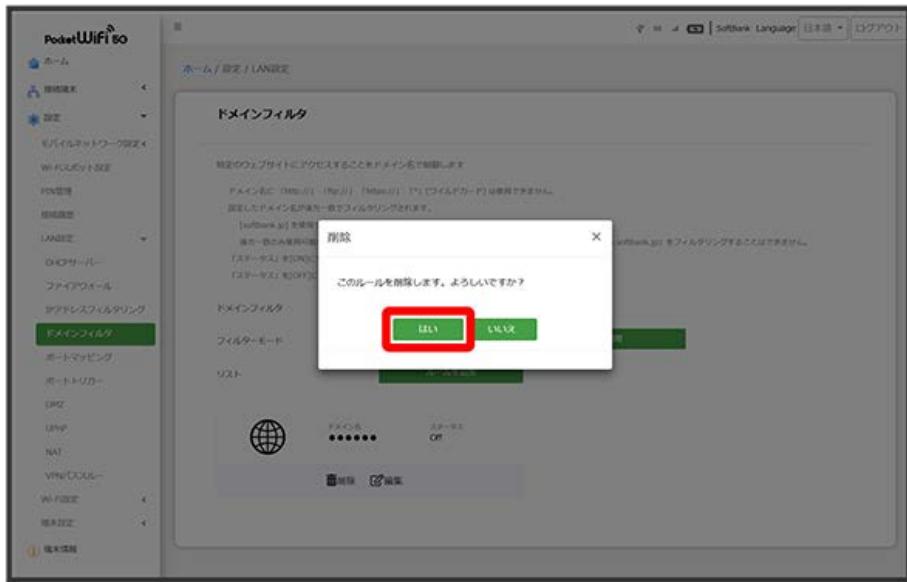
フィルタリストで 削除



各種機能を設定する (Web UIを使用する)

3

[はい]



☒ 削除されます。

ポートマッピングを設定する

インターネットからLAN内にある特定の端末にアクセスできるように設定します。サーバーやFTPを公開する場合、メッセンジャーソフトなどを利用する場合に設定します。

IPv4のみに対応しています。

お買い上げ時のポートマッピングの利用は、**無効**に設定されています。

ここで設定できる項目は次のとおりです。

項目	説明
ルール名	ポートマッピングのルールに任意の名前を付けます。使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
送信元IPアドレス（任意）	ルールを適用する送信元のIPアドレスを設定します。設定できる範囲は、 0.0.0.0 ~ 255.255.255.255 です。 ¹
WANポート	ルールを適用するWAN側（送信元）のポート番号を設定します。設定できる範囲は、 1 ~ 65535 です。 ²
LAN IPアドレス	サーバーとして公開するLAN側端末のIPアドレスを設定します。IPアドレスは、LAN側で使用しているIPアドレスの範囲内で指定します。 設定できる範囲は、 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255 です。
LANポート	サーバーとして公開するLAN側の特定の端末に、パケットを転送するときの送信先ポート番号を設定します。ポート番号を変換する必要がない場合は、 WANポート と同じ値を設定します。 設定できる範囲は、 1 ~ 65535 です。 ²
プロトコル	ルールを適用するプロトコルを選択します。お買い上げ時は、 TCP/UDP に設定されています。

1 番号間に「/」または「-」を入力すると、範囲指定することができます（例：24/39、100-200）。

2 番号間に「-」を入力すると、範囲指定することができます（例：100-200）。ポート番号を指定しない場合は、「*」を入力してください（例：^{*}）。

1

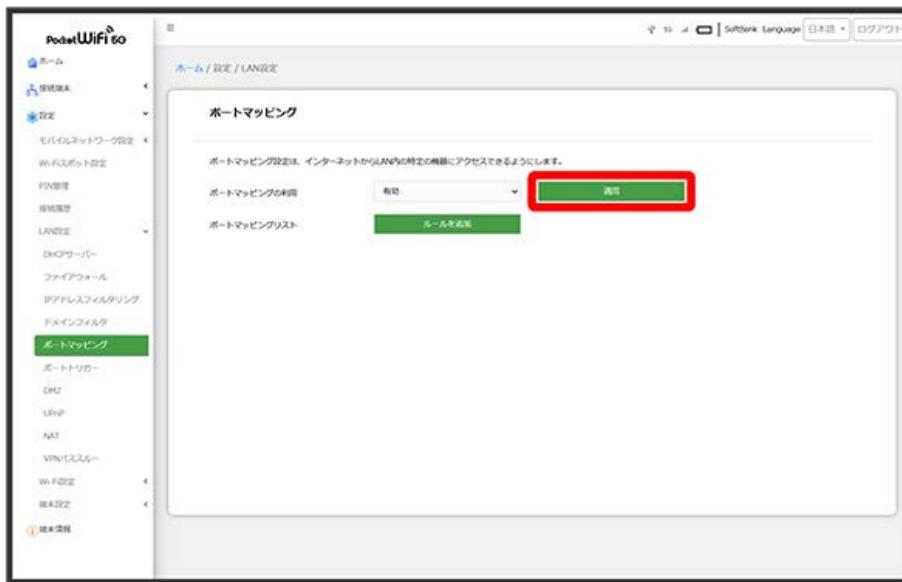
「設定」タブ → **LAN設定** → **ポートマッピング**



各種機能を設定する（Web UIを使用する）

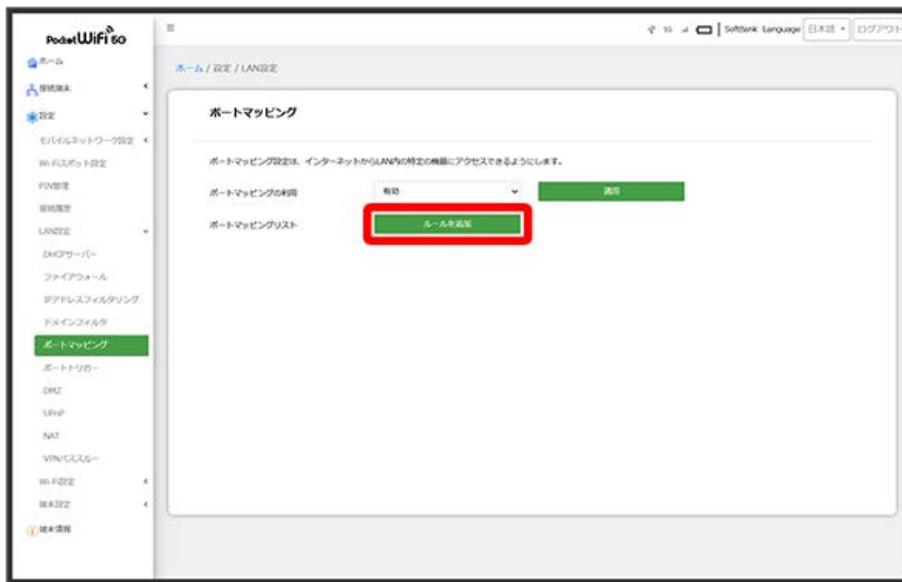
2

「ポートマッピングの利用」の **無効** → **有効** → **適用**



3

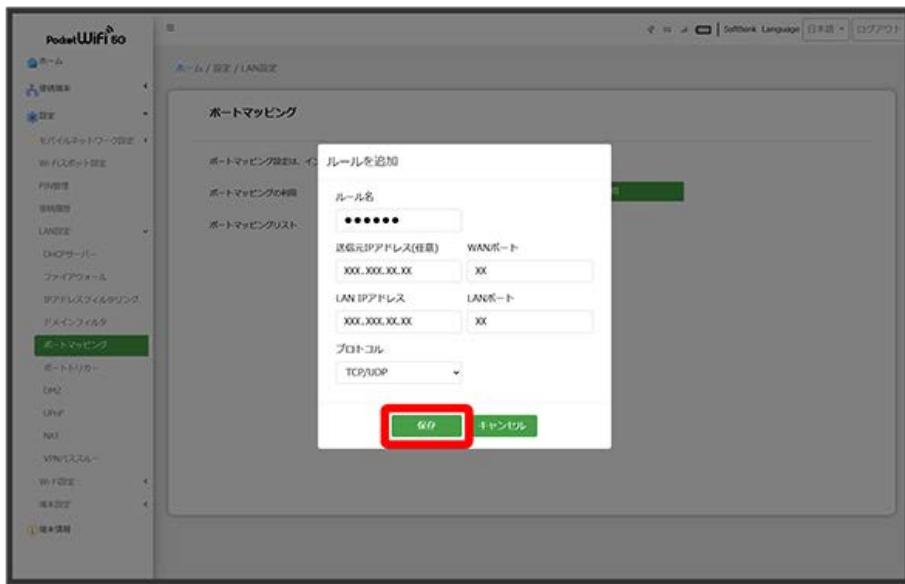
ルールを追加



・最大設定件数は20件となります。

4

各項目を設定 → [保存]



ポートマッピングが設定されます。

- ・設定を編集するには、設定一覧の [編集] をクリックします。

各種機能を設定する (Web UIを使用する)

ポートマッピングを解除する

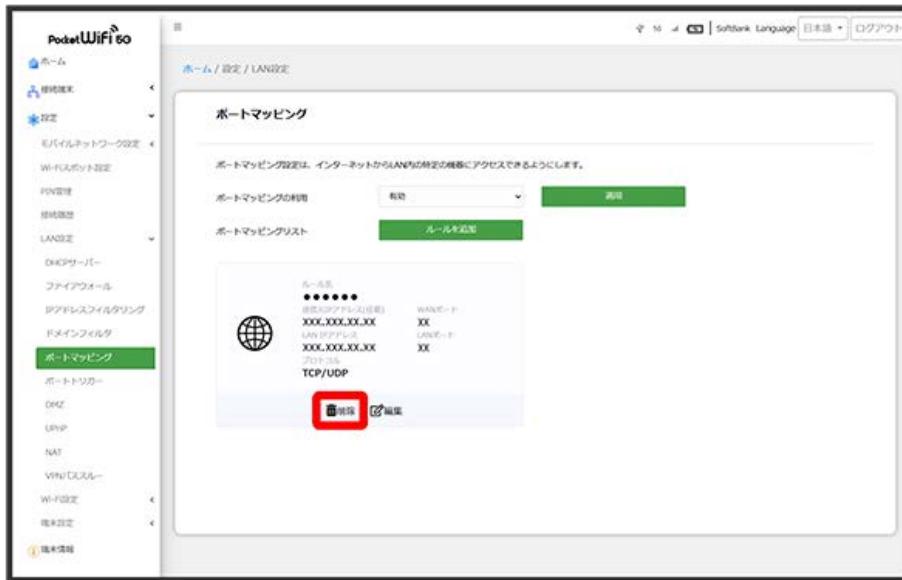
1

「設定」タブ → LAN設定 → ポートマッピング



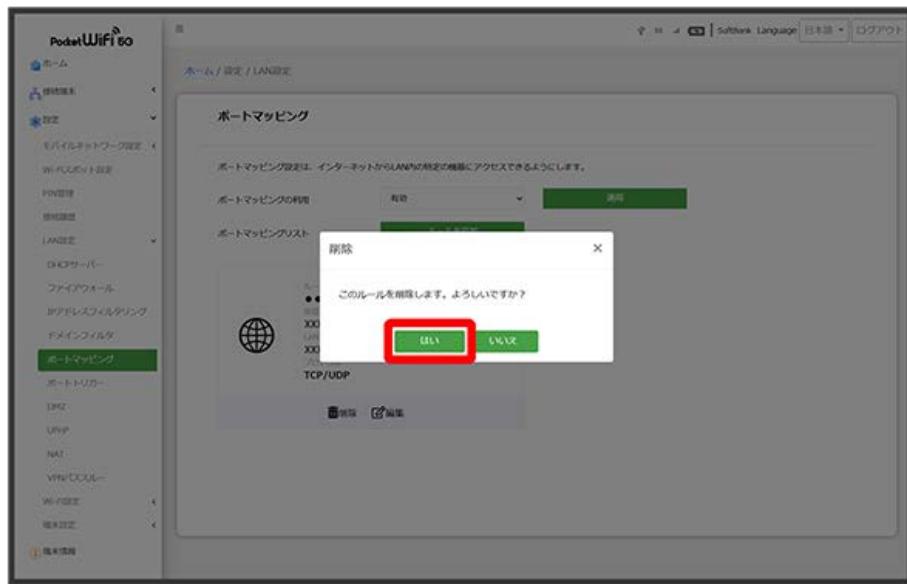
2

削除するポートマッピング設定の [削除]



3

[はい]



▣ ポートマッピング設定が削除されます。

各種機能を設定する（Web UIを使用する）

A503SH

ポートトリガーを設定する

本機では、WAN側のポートは全て閉じた状態となります。

本設定により、LAN内の端末が起動ポートにアクセスしたときに、設定したWAN側のポートを一時的に開放することが可能となります。開放したポートは、10分間通信がない場合、閉じられます。

お買い上げ時のポートトリガーの利用は、**無効**に設定されています。

ここで設定できる項目は次のとあります。

- ・設定するポート番号とプロトコルについては、お使いのアプリケーションの取扱説明書などをご覧ください。

項目	説明
ルール名	ポートトリガーのルールに任意の名前を設定します。使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
起動ポート	ポート開放のトリガーにするポート番号を設定します。LAN側の設定で、WAN側への通信時に使用されます。設定できる範囲は、 1 ～ 65535 です。
起動プロトコル	ポート開放のトリガーにするプロトコルを選択します。起動ポートで使用されるプロトコルです。お買い上げ時は、 TCP/UDP に設定されています。
オープンポート	開放するポート番号を設定します。WAN側の設定で、起動ポートで通信が発生したときに、WAN側からの通信を一時的に通すときに使用されます。設定できる範囲は、 1 ～ 65535 です。 ¹
オープンプロトコル	開放するプロトコルを選択します。オープンポートで使用されるプロトコルです。お買い上げ時は、 TCP/UDP に設定されています。

1 番号間に「-」を入力すると、範囲指定することができます。

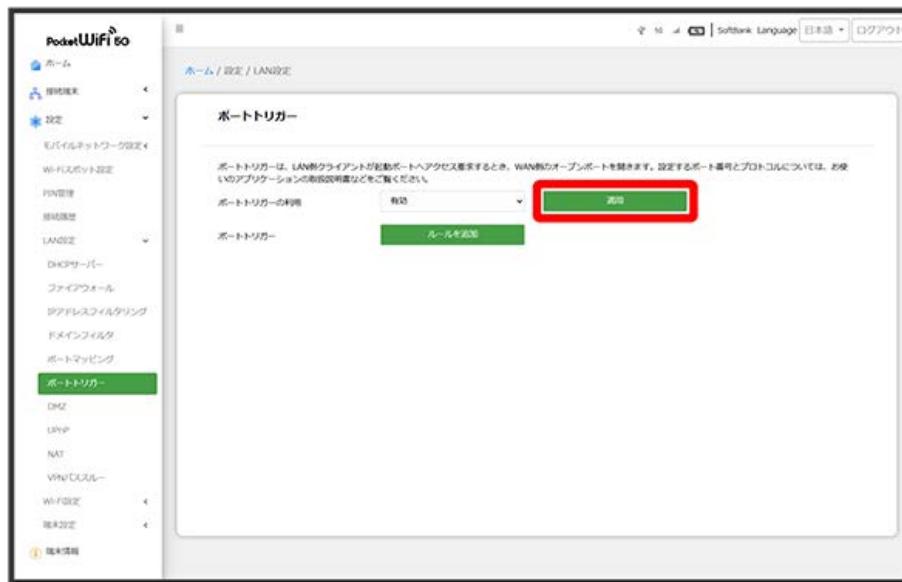
1

「設定」タブ → LAN設定 → ポートトリガー



2

「ポートトリガーの利用」の **無効** → **有効** → **適用**



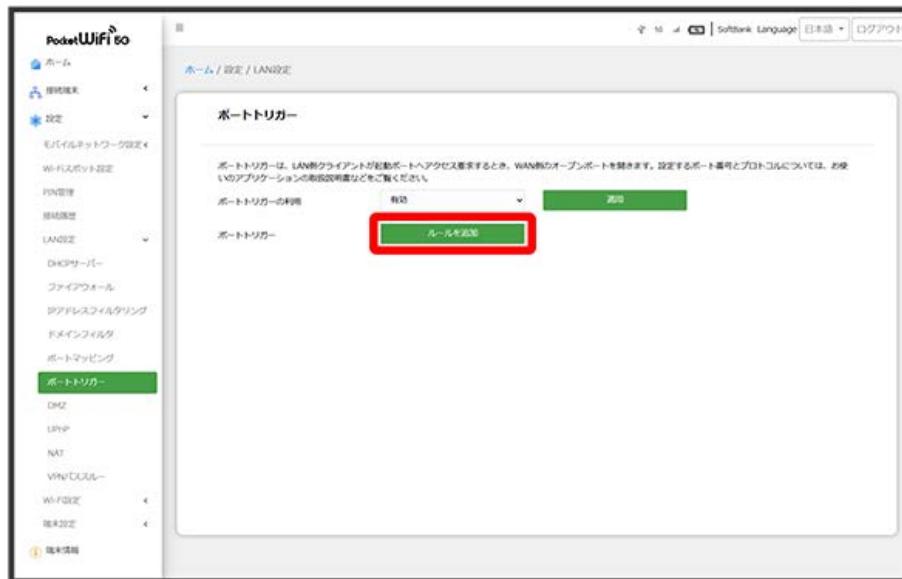
3

OK



4

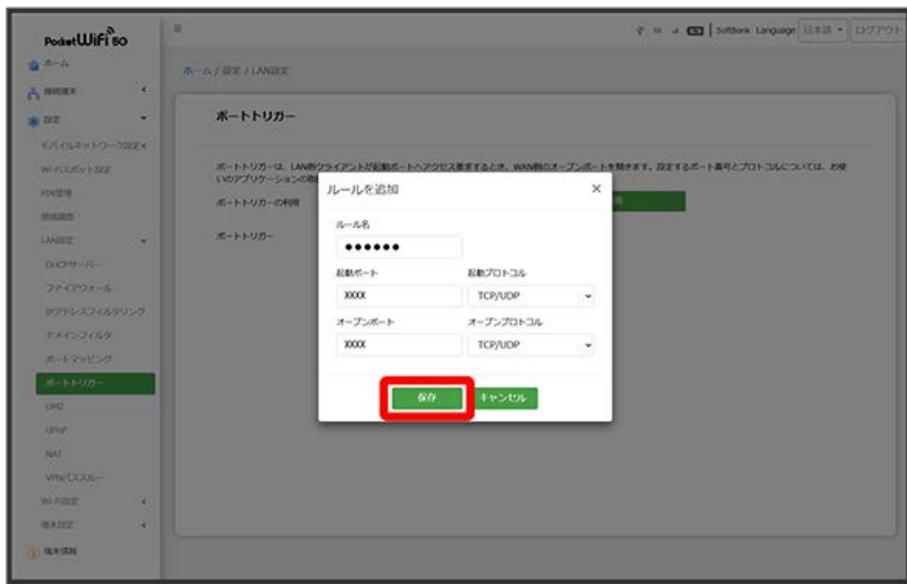
ルールを追加



・最大設定件数は20件となります。

5

各項目を設定 → 保存

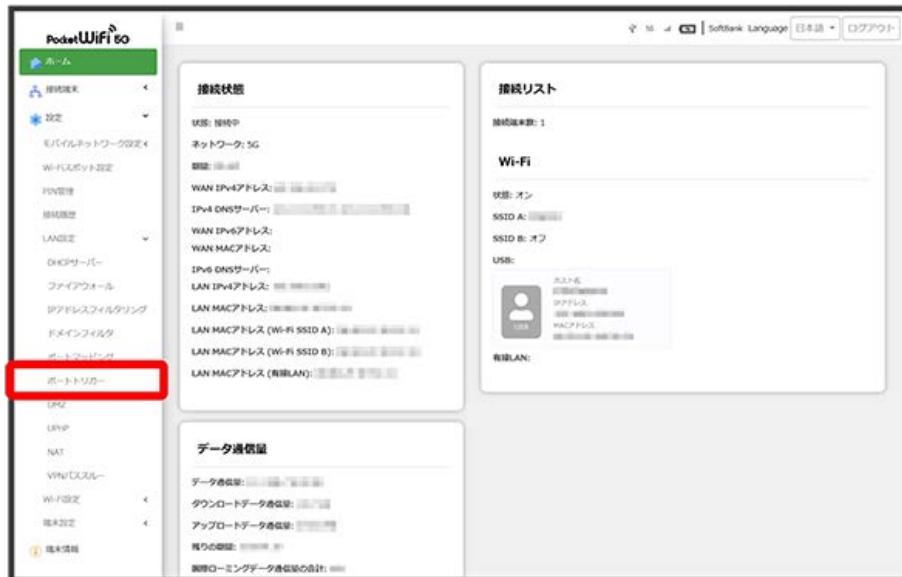


☑ ポートトリガーの設定が完了します。

ポートトリガーを解除する

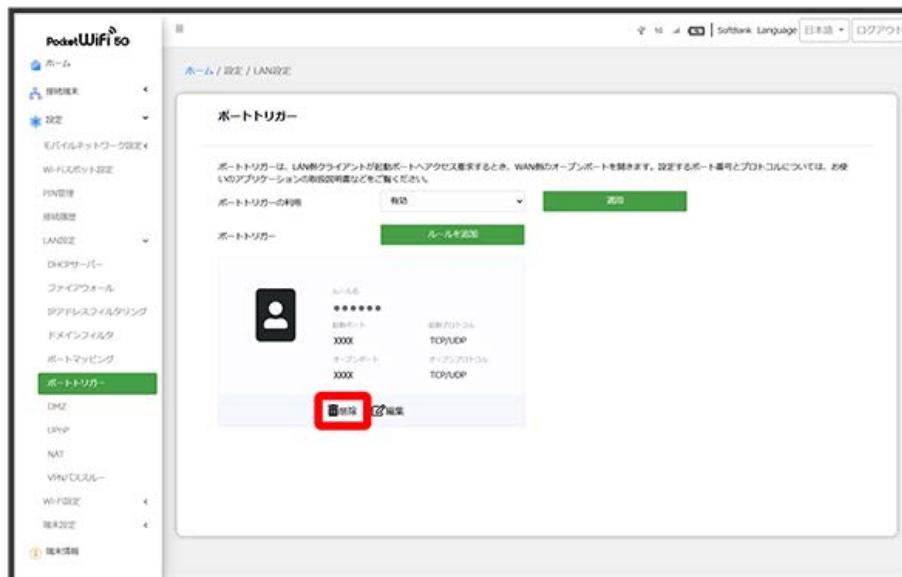
1

「設定」タブ → LAN設定 → ポートトリガー



2

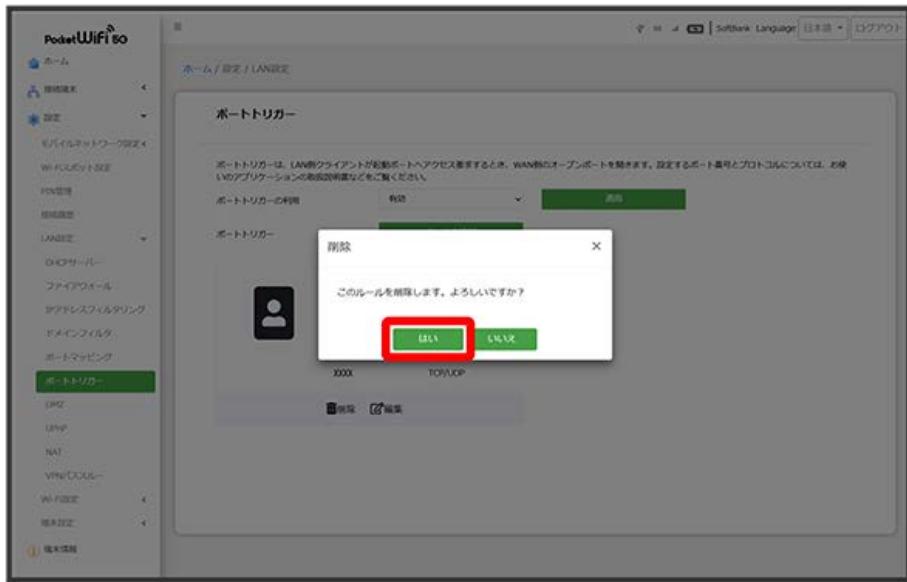
削除するルールの [削除]



各種機能を設定する（Web UIを使用する）

3

[はい]



☒ ポートトリガーの設定が削除されます。

DMZを設定する

LAN内にある特定の端末を、他の端末から隔離されたDMZホストとして設定できます。ポート番号の設定をしなくても、Webサーバーを公開したりできるようになります。

IPv4のみに対応しています。

- お買い上げ時のDMZは、**無効**に設定されています。

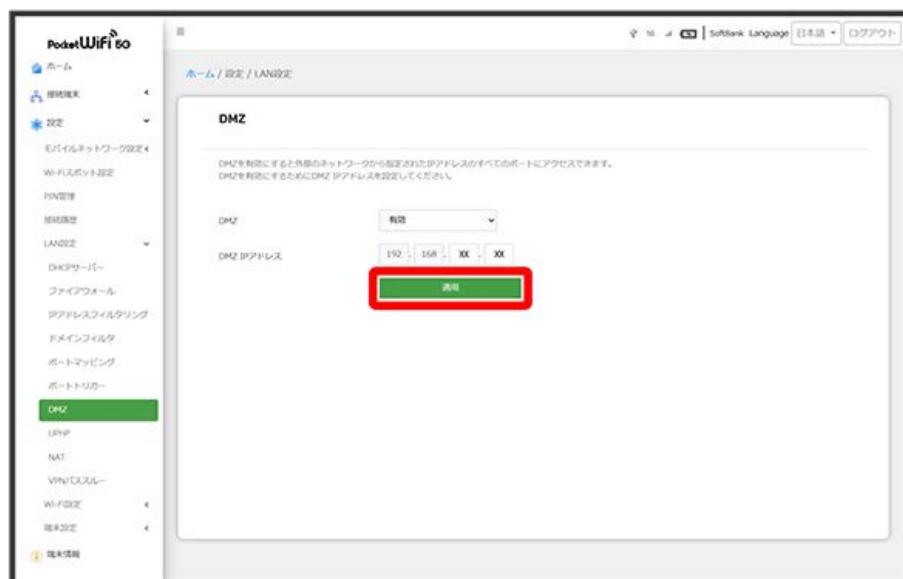
1

「設定」タブ → LAN設定 → DMZ



2

「DMZ」の **無効** → **有効** → DMZ IPアドレスを設定 → 適用



- 設定できるDMZ IPアドレスの範囲は、192.168.0.1 ~ 192.168.255.254です。

3

OK

適用しました

OK DMZが設定されます。

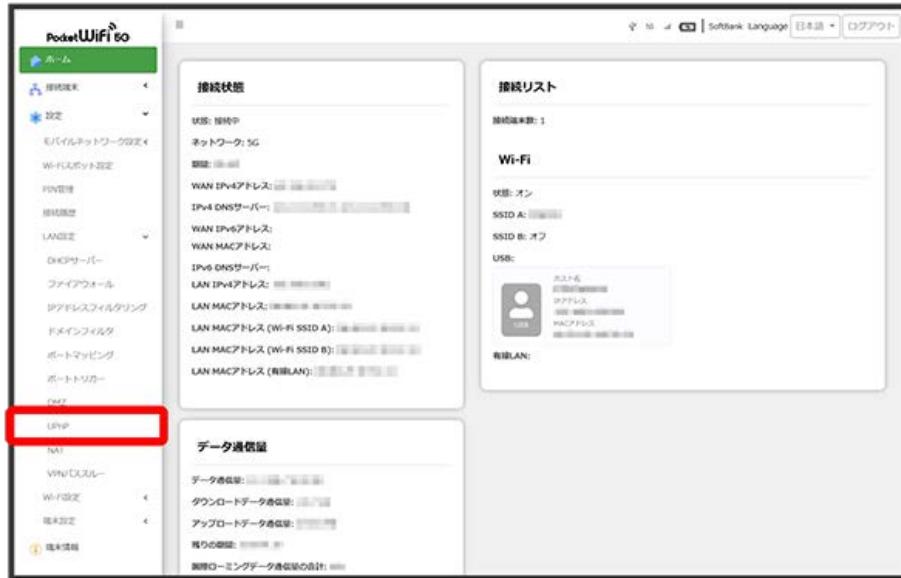
UPnPを設定する

LAN内にある端末同士の接続を簡単に行うことができるようUPnP (Universal Plug and Play) 機能について設定します。

- お買い上げ時のUPnP-IGDは**無効**に設定されています。

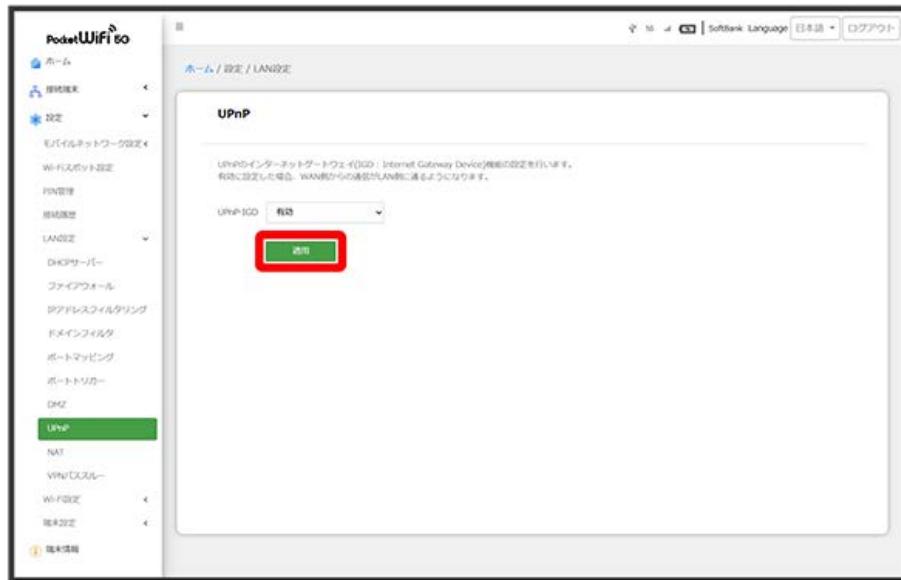
1

「設定」タブ → [LAN設定] → [UPnP]



2

「UPnP-IGD」の**無効** → **有効** → **適用**



各種機能を設定する (Web UIを使用する)

3

OK

適用しました

OK UPnPが設定されます。

NATを設定する

送信元、または宛先のIPアドレスを、あらかじめ決められたルールに従って別のIPアドレスに変換するNAT機能について設定します。ここで設定できる項目は次のとおりです。

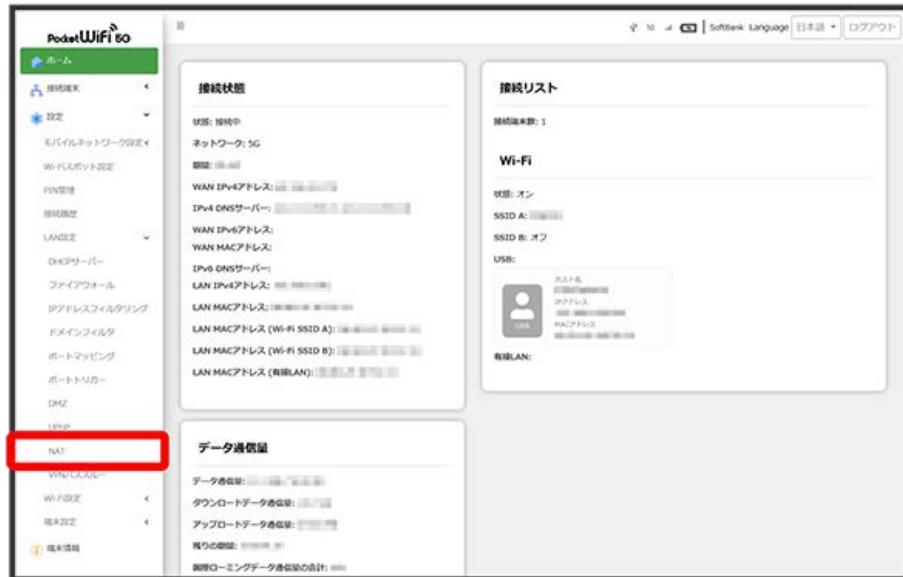
項目	説明
NATタイプ ¹	NATタイプを選択します。お買い上げ時は、 Symmetric に設定されています。
TCP NATタイマー(秒) ²	TCP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス／ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。お買い上げ時は、 300 に設定されています。設定できる範囲は、 30 ~ 86400 です。
UDP NATタイマー(秒) ²	UDP用のNAPT機能を利用する場合のIPアドレス／ポート番号の動的変換テーブルの有効保持時間(秒)を設定します。お買い上げ時は、 300 に設定されています。設定できる範囲は、 30 ~ 86400 です。

1 アドレス制限付きCone、ポート制限付きConeには対応していません。また、送信元のポート番号はランダム化されません。

2 NATタイマーの設定は、Wi-Fi接続および有線LAN接続、USB接続のすべてに反映されます。

1

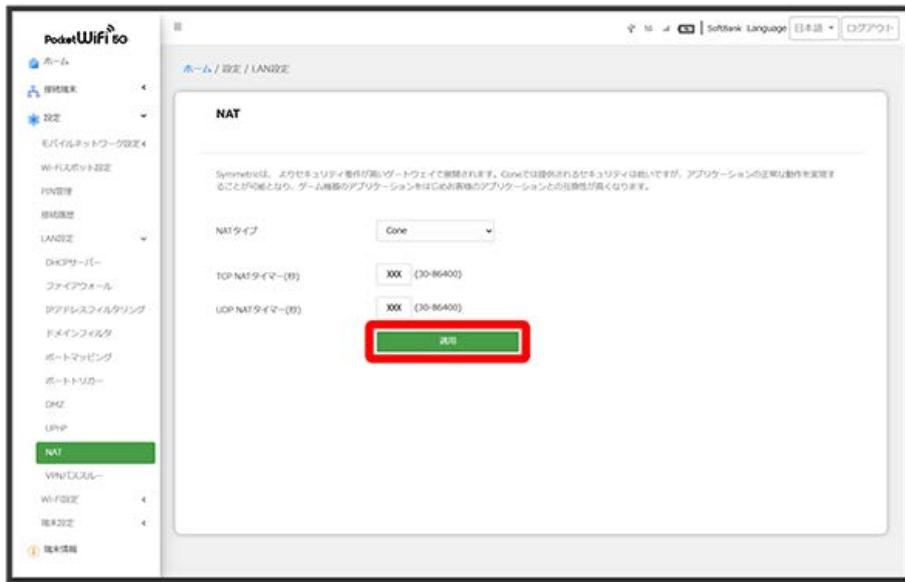
「設定」タブ → **LAN設定** → **NAT**



各種機能を設定する（Web UIを使用する）

2

各項目を設定 → 適用



3

OK



FLAG NAT機能が設定されます。

VPNパススルーを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）機能の設定を行います。パススルー機能によりVPN通信（PPTP/L2TP/IPSec）を通過させることができます。

- 同時に複数のセッションを接続することはできません。
- お買い上げ時のVPN/パススルー設定は、**有効**に設定されています。

1

「設定」タブ → LAN設定 → VPN/パススルー



2

「VPN/パススルー設定」の **有効** / **無効** を選択 → 適用



3

OK

適用しました



OK

 VPN/ススル機能が設定されます。

Wi-Fi設定を行う

本機は、パソコンやスマートフォンなどと無線LAN接続できます。この無線LAN接続を「LAN Wi-Fi」と呼びます。

! LAN Wi-Fi設定変更時のご注意

無線LANで接続した端末から、Web UIでLAN Wi-Fiの設定を変更すると、無線LANの接続が切れることがありますので、ご注意ください。

Wi-Fiの基本設定を行う (SSID A)

SSID Aについて無線LANの基本的な設定を行います。

ここで設定する項目は次のとおりです。

項目	説明
Wi-Fiの利用	本機のWi-Fi機能の [有効] / [無効] を設定します。 ¹ お買い上げ時は、[有効] に設定されています。 [無効] に設定するとUSBでの接続のみ利用できます。
マルチSSID	マルチSSID機能の [有効] / [無効] を設定します。 ² お買い上げ時は、[無効] に設定されています。
SSID間通信隔離 ³	SSID AとSSID Bの間で通信を利用するかどうかを設定します。お買い上げ時は、[有効] に設定されています。
接続可能台数	Wi-Fi機能を利用時のSSID AとSSID Bを合わせた接続可能台数を設定します。お買い上げ時は、 ¹⁶ に設定されています。設定できる範囲は、 ¹ ~ ¹⁶ です。
端末でSSIDとパスワードを表示する	本機のホーム画面で [Wi-Fi接続] → [手動接続] / [Wi-Fi接続] → [QRコードで接続] と操作したときに、本機のSSIDとパスワード、セキュリティ（暗号化方式）を表示するかどうかを設定します。お買い上げ時は、[オン] に設定されています。
インターフェース ³	インターフェース（SSID A、SSID B）を選択します。 「Wi-Fiモード」以下の項目は選択したインターフェースについて設定します。
Wi-Fiモード ⁴	使用する周波数帯を2.4GHz / 5GHzから選択します。 ^{5、6} お買い上げ時は、[2.4 GHz] に設定されています。
SSID	接続する無線LAN端末に表示されるSSID Aの名称を設定します。お買い上げ時のSSIDは、「A503SHa-」で始まる6桁の英数字です。 使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
セキュリティ(暗号化方式)	セキュリティを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> [Enhanced Open (OWE)] は [Open] より本機とWi-Fi対応機器の間の通信をさらに暗号化します。 [Enhanced Open (OWE)] を利用する場合、接続するWi-Fi対応機器が対応している必要があります。 <p>[Enhanced Open (OWE)] に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>お買い上げ時は、[WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)] に設定されています。</p>
パスワード	使用するパスワードを指定します。セキュリティ（暗号化方式）を [WPA2-PSK (AES)] または [WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)] 、 [WPA3-SAE (AES)] 、 [WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)] に設定しているときに設定できます。お買い上げ時は、10桁のランダムなASCII文字が設定されています。 使用できる文字は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> セキュリティ（暗号化方式）が [WPA2-PSK (AES)] / [WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)] の場合：8~63バイトの半角英数字、記号、または64桁の16進数 セキュリティ（暗号化方式）が [WPA3-SAE (AES)] / [WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)] の場合：8~63バイトの半角英数字、記号
パスワードを表示	チェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。お買い上げ時は、チェックなしに設定されています。
SSIDステルス	SSIDがWi-Fi対応機器から見えないようにするかどうかを設定します。お買い上げ時は、[無効] に設定されています。
プライバシーセパレーター	同時に接続しているWi-Fi対応機器同士のアクセスを禁止するかどうかを設定します。お買い上げ時は、[有効] に設定されています。

Wi-Fi暗号化強化 (PMF) の [有効] / [無効] を設定します。

- セキュリティ (暗号化方式) が [WPA2-PSK (AES)] または [WPA / WPA2-PSK (AES+TKIP)] の場合に設定できます。
- セキュリティ (暗号化方式) が [Enhanced Open (OWE)] または [WPA3-SAE (AES)] 、 [WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)] の場合は常に [有効] です。

お買い上げ時は、[有効] に設定されています。

- 「Wi-Fiモード」を [5 GHz] に設定した状態で [無効] に設定し、再度 [有効] に設定すると、Wi-Fi機能が5GHz帯で有効になるため、気象レーダーなどとの電波干渉を確認する画面などが表示される場合があります。
- Wi-Fiスポットを利用している場合は [マルチSSID] 機能を利用できません。
- 「マルチSSID」を [有効] にした場合に設定できます。
- 5.2GHz帯 (W52) および5.3GHz帯 (W53) は、屋外で使用すると法令違反になりますので、屋内で使用する場合は [屋内] を選択し、屋外で使用する場合は [屋外] を選択してください。
- 国際ローミング中は、[5 GHz] は選択できません。[5 GHz] が使用できないときは、項目がグレーアウトされます。
- 本機を充電中、または有線LAN接続中に [5 GHz] を選択した場合は、[屋内] / [屋外] の選択画面が表示されます。本機の利用場所に合わせて選択してください。選択せずに30秒間経過すると、自動的に [屋外] に設定されます。
- 本機を充電中ではなく、有線LAN接続中でもない場合に [5 GHz] に設定したときは、自動的に [屋外] に設定され、選択画面は表示されません。

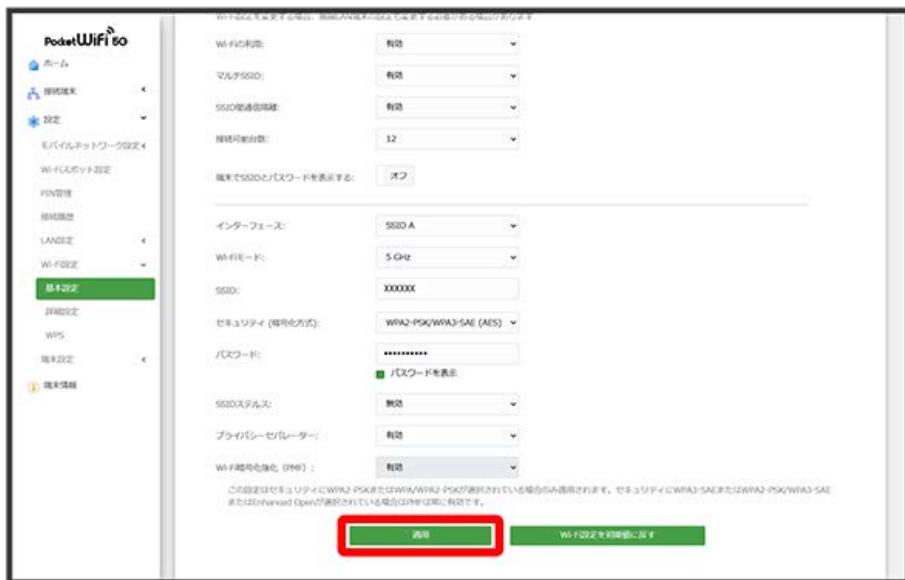
1

「設定」タブ → Wi-Fi設定 → 基本設定



2

各項目を設定 → [適用]



- 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

3

OK



- Wi-Fiが切断され、SSID AのWi-Fi設定が行われます。
- [Wi-Fi設定を初期値に戻す] → [はい] と操作すると、Wi-Fi設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

💡 Wi-Fiモードについて

Wi-Fiモードについて、以下をよくお読みください。

- SSID A / SSID Bで利用する周波数帯が異なる場合、本機のステータスアイコン表示エリアに **DBS** が表示されます。
- SSID Bの周波数帯を設定する場合は、あらかじめ「マルチSSID」を **有効** にしておいてください。
- 屋内で5GHzの周波数帯を利用する場合は、本機を充電中、または有線LAN接続中に設定してください。
本機を充電中、または有線LAN接続中のみ、5.2GHz / 5.3GHz帯無線LAN (W52 / W53) を利用できます。
- 「Wi-Fiバンド選択」で **W53**、**W56** を有効にしていた場合は、**5 GHz** に設定すると気象レーダーなどとの電波干渉を確認する画面が表示されます。確認が完了するまで、しばらくお待ちください。
- Wi-Fi接続が切断される旨の確認画面が表示された場合は、内容を確認し、**OK** を選択してください。
- Wi-Fiスポットを利用している場合はマルチSSID機能を利用できません。
- 5GHzの周波数帯を利用できない場合は、「Wi-Fiモード」を **5 GHz** に設定できません。

マルチSSID機能をONにする (SSID B)

SSID Bについて無線LANの基本的な設定を行います。

ここで設定する項目は次のとおりです。

項目	説明
Wi-Fiの利用 ¹	本機のWi-Fi機能の [有効] / [無効] を設定します。 ² お買い上げ時は、[有効] に設定されています。
マルチSSID ¹	マルチSSID機能の [有効] / [無効] を設定します。 ³ お買い上げ時は、[無効] に設定されています。
SSID間通信隔離 ⁴	SSID AとSSID Bの間で通信を利用するかどうかを設定します。お買い上げ時は、[有効] に設定されています。
接続可能台数 ¹	Wi-Fi機能を利用時のSSID AとSSID Bを合わせた接続可能台数を設定します。お買い上げ時は、[16] に設定されています。設定できる範囲は、[1] ~ [16] です。
端末でSSIDとパスワードを表示する ¹	本機のホーム画面で [Wi-Fi接続] → [手動接続] / [Wi-Fi接続] → [QRコードで接続] と操作したときに、本機のSSIDとパスワード、セキュリティ（暗号化方式）を表示するかどうかを設定します。お買い上げ時は、[オン] に設定されています。
インターフェース ⁴	インターフェース（SSID A、SSID B）を選択します。 「Wi-Fiモード」以下の項目は選択したインターフェースについて設定します。
Wi-Fiモード	使用する周波数帯を2.4GHz / 5GHzから選択します。 ^{5、6} お買い上げ時は、[2.4 GHz] に設定されています。
SSID	接続する無線LAN端末に表示されるSSID Bの名称を設定します。お買い上げ時のSSIDは、「A503SHb-」で始まる6桁の英数字です。 使用できる文字は32バイトまでの半角英数字、記号、および全角文字です。
セキュリティ（暗号化方式）	セキュリティを設定します。 <ul style="list-style-type: none">[Enhanced Open (OWE)] は [Open] より本機とWi-Fi対応機器との間の通信をさらに暗号化します。[Enhanced Open (OWE)] を利用する場合、接続するWi-Fi対応機器が対応している必要があります。 <p>[Enhanced Open (OWE)] に対応しているかどうかは、お使いのWi-Fi対応機器の取扱説明書をご覧ください。</p> <p>お買い上げ時は、[WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)] に設定されています。</p>
パスワード	使用するパスワードを指定します。[セキュリティ（暗号化方式）] を [WPA2-PSK (AES)] または [WPA / WPA2-PSK (AES+TKIP)] 、[WPA3-SAE (AES)] 、[WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)] に設定しているときに設定できます。お買い上げ時は、10桁のランダムなASCII文字が設定されています。 使用できる文字は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none">セキュリティ（暗号化方式）が [WPA2-PSK (AES)] / [WPA / WPA2-PSK (AES+TKIP)] の場合：8~63バイトの半角英数字、記号、または64桁の16進数セキュリティ（暗号化方式）が [WPA3-SAE (AES)] / [WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)] の場合：8~63バイトの半角英数字、記号
パスワードを表示	チェックを入れると、入力しているパスワードが表示されます。お買い上げ時は、チェックなしに設定されています。
SSIDステルス	SSIDがWi-Fi対応機器から見えないようにするかどうかを設定します。お買い上げ時は、[無効] に設定されています。
プライバシーセパレーター	同時に接続しているWi-Fi対応機器同士のアクセスを禁止するかどうかを設定します。お買い上げ時は、[有効] に設定されています。
Wi-Fi暗号化強化（PMF）	Wi-Fi暗号化強化（PMF）の [有効] / [無効] を設定します。 <ul style="list-style-type: none">セキュリティ（暗号化方式）が [WPA2-PSK (AES)] または [WPA / WPA2-PSK (AES+TKIP)] の場合に設定できます。セキュリティ（暗号化方式）が [Enhanced Open (OWE)] または [WPA3-SAE (AES)] 、[WPA2-PSK / WPA3-SAE (AES)] の場合は常に [有効] です。 <p>お買い上げ時は、[有効] に設定されています。</p>
SSID BユーザーのWeb UIへのアクセス ^{4、7}	SSID Bに接続している無線LAN端末からWeb UIへの接続できるようにするかどうかを設定します。お買い上げ時は、[拒否] に設定されています。

1 SSID A / SSID B共通の設定です。

2 SSID Bについて無線LANの基本的な設定を行います。

3

- 2 「Wi-Fiモード」を [5 GHz] に設定した状態で [無効] に設定し、再度 [有効] に設定すると、Wi-Fi機能が5GHz帯で有効になるため、気象レーダーなどの電波干渉を確認する画面などが表示される場合があります。
 - 3 Wi-Fiスポットを利用している場合は [マルチSSID] 機能を利用できません。
 - 4 「マルチSSID」を [有効] にした場合に設定できます。
 - 5 國際ローミング中は、[5 GHz] は選択できません。[5 GHz] が使用できないときは、項目がグレーアウトされます。
 - 6 本機を充電中、または有線LAN接続中に [5 GHz] を選択した場合は、[屋内] / [屋外] の選択画面が表示されます。本機の利用場所に合わせて選択してください。選択せずに30秒間経過すると、自動的に [屋外] に設定されます。
 - 7 本機を充電中ではなく、有線LAN接続中でもない場合に [5 GHz] に設定したときは、自動的に [屋外] に設定され、選択画面は表示されません。
- 7 「インターフェース」を [SSID B] 、かつ「SSID間通信隔離」を [無効] に設定しているときに設定できます。「SSID間通信隔離」が [有効] の場合は常に [拒否] です。

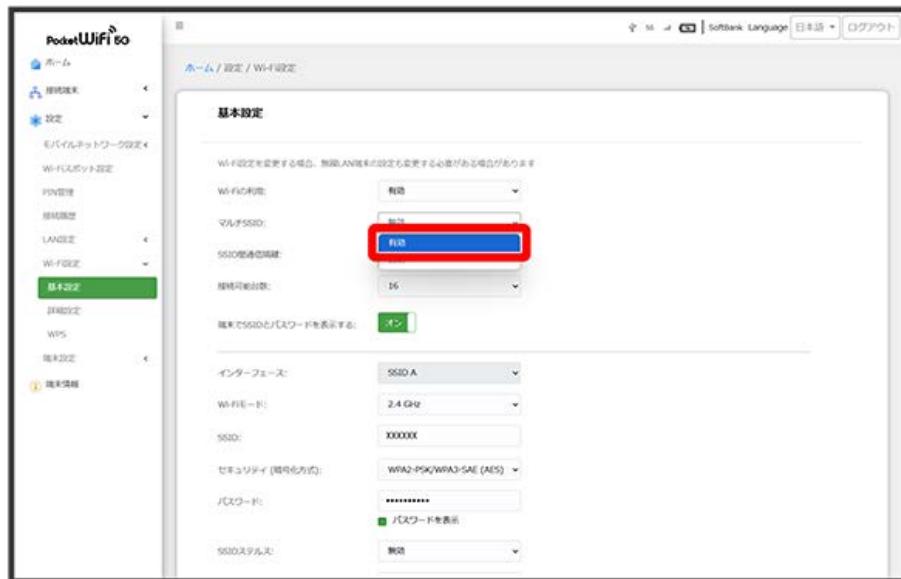
1

「設定」タブ → [Wi-Fi設定] → [基本設定]



2

「マルチSSID」の [無効] → [有効]



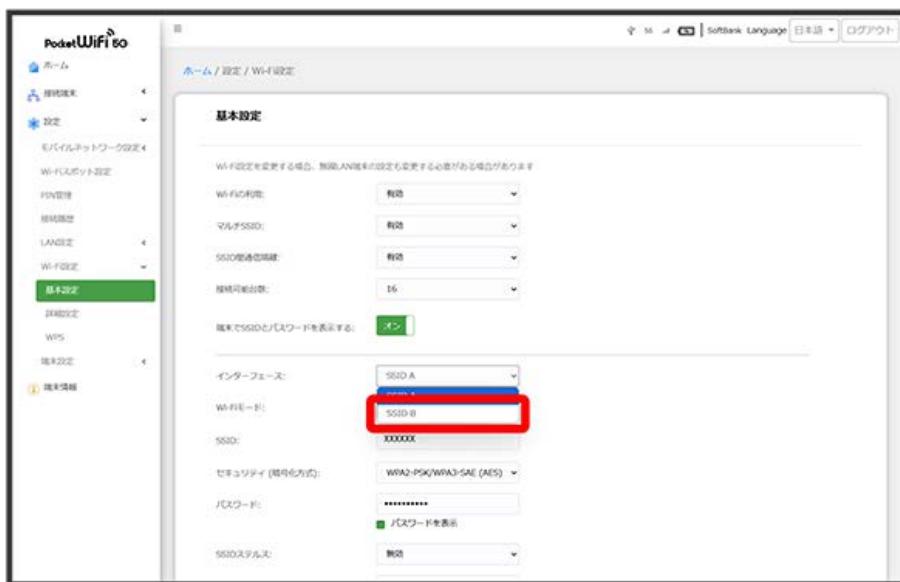
3

OK



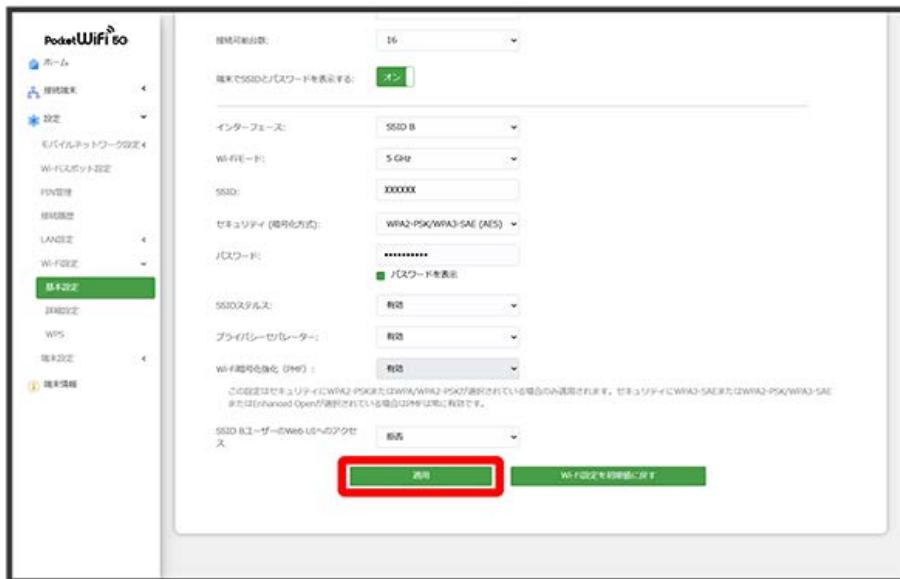
4

「インターフェース」で SSID B を選択



5

各項目を設定 → 適用



・確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

6

OK

適用しました

OK

Wi-Fiが切断され、SSID BのWi-Fi設定が行われます。

- ・ [Wi-Fi設定を初期値に戻す] → [はい] と操作すると、Wi-Fi設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

Wi-Fiの詳細設定を行う

ここで設定できる項目は次のとあります。

項目	説明
Wi-Fiチャネル	利用チャネルを選択します。 ¹ お買い上げ時、「Wi-Fi 2.4 GHz」のWi-Fiチャネルは [自動] に、「Wi-Fi 5 GHz」のWi-Fiチャネルは [自動 (144 chを含まない)] に設定されています。
Wi-Fi帯域幅	Wi-Fiチャンネルの周波数帯域幅を設定します。お買い上げ時、「Wi-Fi 2.4 GHz」のWi-Fi帯域幅は [Auto(20/40 MHz)] に、「Wi-Fi 5 GHz」のWi-Fi帯域幅は [Auto(20/40/80 MHz)] に設定されています。
Wi-Fiバンド選択（屋内）	利用する5GHzの周波数帯を選択します。 ^{2, 3} お買い上げ時のW52/W53/W56は、チェックありに設定されています。 ⁴
スリープモード設定	スリープモード設定の [有効] / [無効] を設定します。 スリープモードとは、Wi-Fi対応機器が接続されていない状態で一定時間操作がなかった場合、Wi-Fi機能を自動的に無効にする機能です。 ⁵ お買い上げ時は、[有効] に設定されています。[無効] にした場合、電池が消費され待受時間が短くなります。
スリープモードタイマー	「スリープモード設定」が [有効] に設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的に無効にするまでの時間を設定します。お買い上げ時は、[5分] に設定されています。
電池残量に連動	「電池残量に連動」を [有効] にすることで、電池残量が30%未満になるまでスリープモードにならないように設定します。お買い上げ時は、[無効] に設定されています。
Wi-Fi送信出力	「スリープモード設定」が [有効] に設定されている場合に、Wi-Fi機能を自動的に無効にするまでの時間を設定します。お買い上げ時は、[高] に設定されています。

1 Wi-Fiスポットが2.4GHz帯の周波数帯を利用している場合は、一時的に設定できません。

5GHz帯でW56に含まれる144chを使用する場合は、「Wi-Fiモード」を [5 GHz] に設定し、「Wi-Fiチャネル」を [自動 (144 chを含む)] に設定してください。ただし、[自動 (144 chを含む)] に設定した場合、144chに対応していないWi-Fi対応機器と通信ができなくなることがあります。「Wi-Fiモード」を [2.4 GHz] に設定し、「Wi-Fiチャネル」を [12 ch] または [13 ch] に設定している状態で日本国外または国外の場合、Wi-Fiチャネルは [自動] に切り替わります。

2 [屋外] に設定し、5GHz帯の周波数帯を利用する場合は設定に関わらずW56が設定されます。

Wi-Fiスポットが5GHz帯の周波数帯を利用している場合は、この設定は無効になります。

3 W52、W53を設定した場合でも、電源ON時はW56で動作します。W52、W53を利用する場合には、再度 [屋内] に設定してください。

4 すべての周波数帯を無効にすることはできません。

5 以下の場合、スリープモードになりません。

- ・画面点灯中
- ・ACアダプタ（別売）やクレードルで充電中
- ・パソコンなどとUSB接続中
- ・クレードルを利用して有線LAN接続中

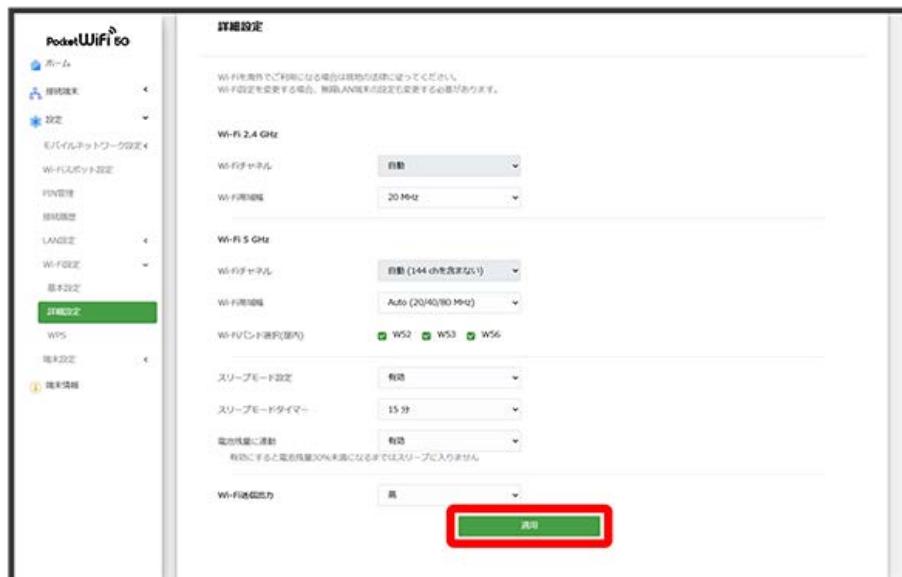
1

「設定」タブ → [Wi-Fi設定] → [詳細設定]



2

各項目を設定 → [適用]



・確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

3

OK



Wi-Fiが切断され、Wi-Fiの詳細設定が行われます。

WPS機能対応の無線LAN端末と接続する

Wi-Fi対応機器とWPS機能を利用して接続する場合に、Web UIからWPS接続を開始できます。

- ・WPS機能を利用した場合は、SSID Aのみ接続可能です。SSID Bに接続する場合は、アクセスポイントを検索して接続してください。詳しくは、「[Wi-Fi対応機器を接続する](#)」を参照してください。
- ・あらかじめ、Wi-Fiの利用を「**有効**」にして、接続するSSIDについて以下の設定をしておいてください。
 - ・セキュリティ（暗号化方式）: **WPA2-PSK (AES)** / **WPA/WPA2-PSK (AES+TKIP)** / **WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)**
 - ・SSIDステルス : **無効**
- ・無線LAN端末の無線LAN機能をONにし、必要に応じてWPS設定の準備操作を行ってください。
- ・WPS機能の設定方法は機器によって異なります。お使いの無線LAN端末に付属されている取扱説明書などを参照してください。

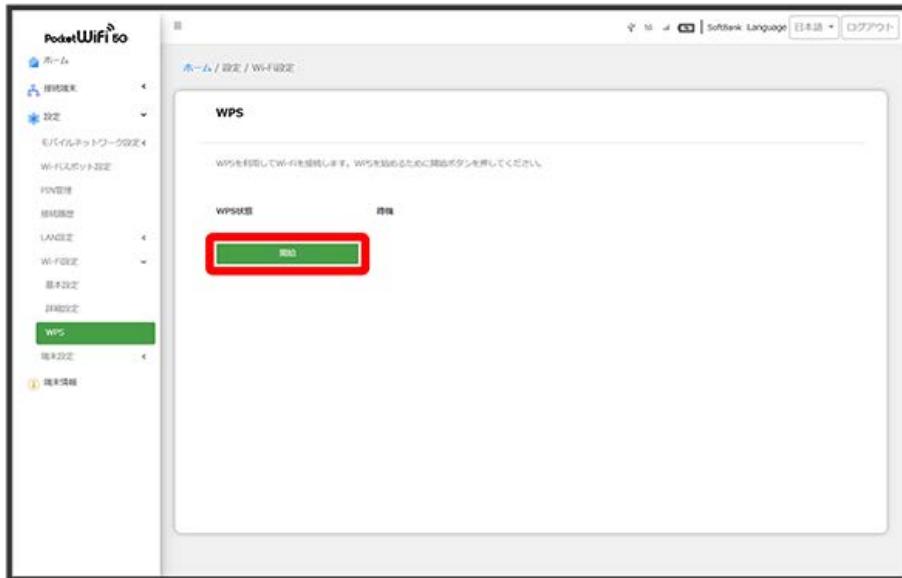
1

「設定」タブ → **Wi-Fi設定** → **WPS**



2

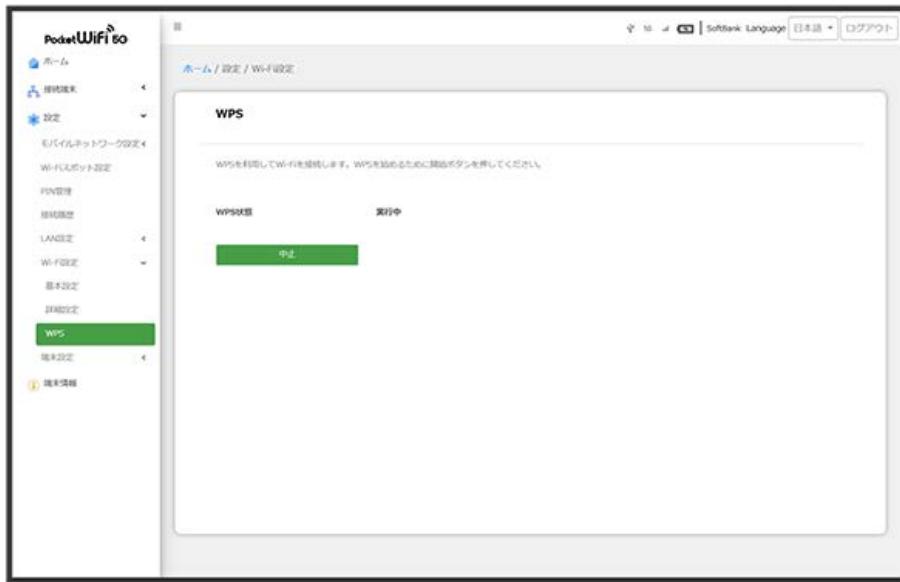
開始



🏁 「WPS状態」が「実行中」に移行します。

3

次の画面が表示されている間（120秒以内）に、無線LAN端末でWPS機能の接続設定を行う

**4**

無線LAN端末でその他の設定が必要な場合には、画面表示に従って設定操作を行う

- 接続に成功すると、本機のステータスバーの無線LAN機器接続数のカウントが1つ増えます。

端末設定を行う

Web UIのログインパスワードを変更する

ログイン時に入力するパスワードを変更できます。

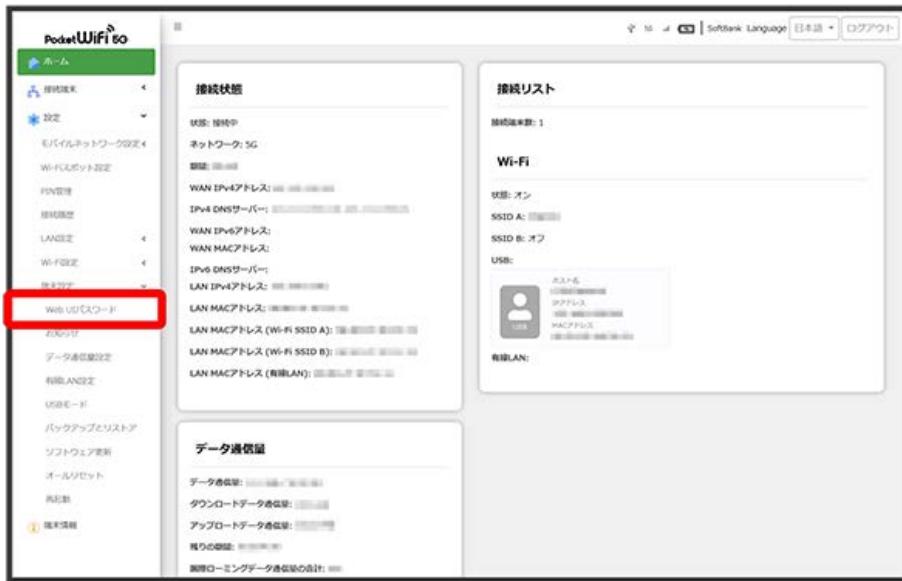
セキュリティ保護のため、ログインパスワードは定期的に変更することをおすすめします。

- お買い上げ時のパスワードは、IMEI情報（端末識別番号）の下6桁の数字に設定されています。IMEI情報は同梱の「無線LAN初期設定シール」や本体タッチメニューの「端末情報」をご確認ください。
- パスワードを忘れてしまった場合は本機のリセットボタンで本機を初期化することで、パスワードも初期化されます。

本機をリセットする方法は、「[本体について](#)」を参照してください。

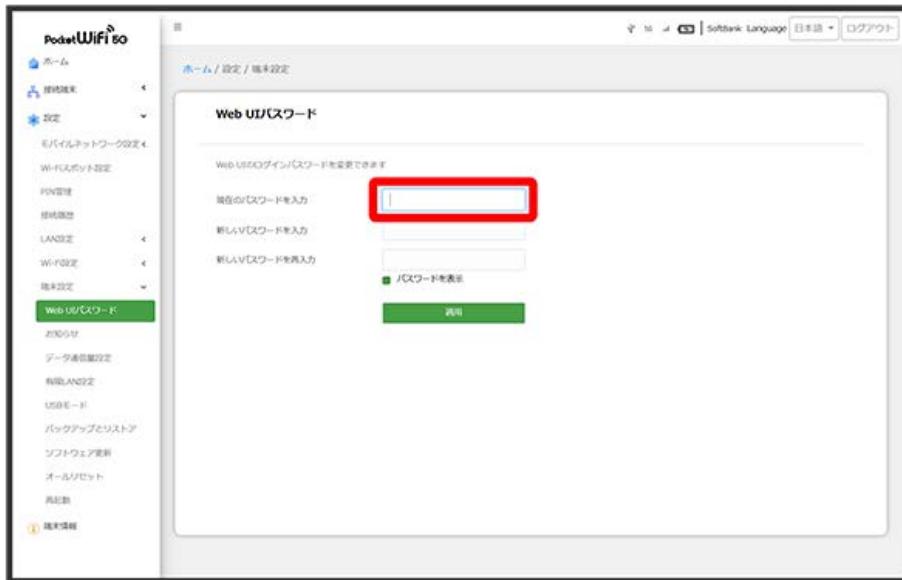
1

「設定」タブ → 端末設定 → Web UI/パスワード



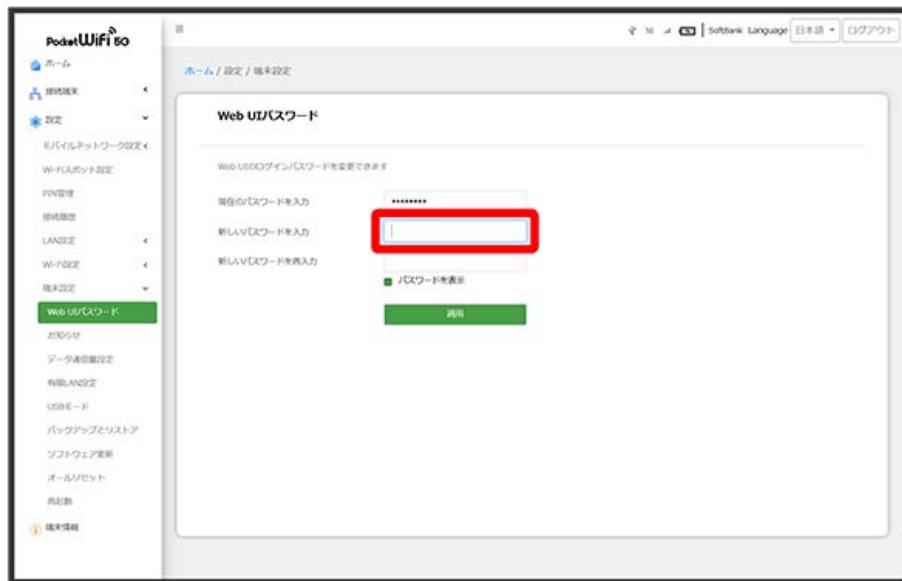
2

現在のパスワードを入力



3

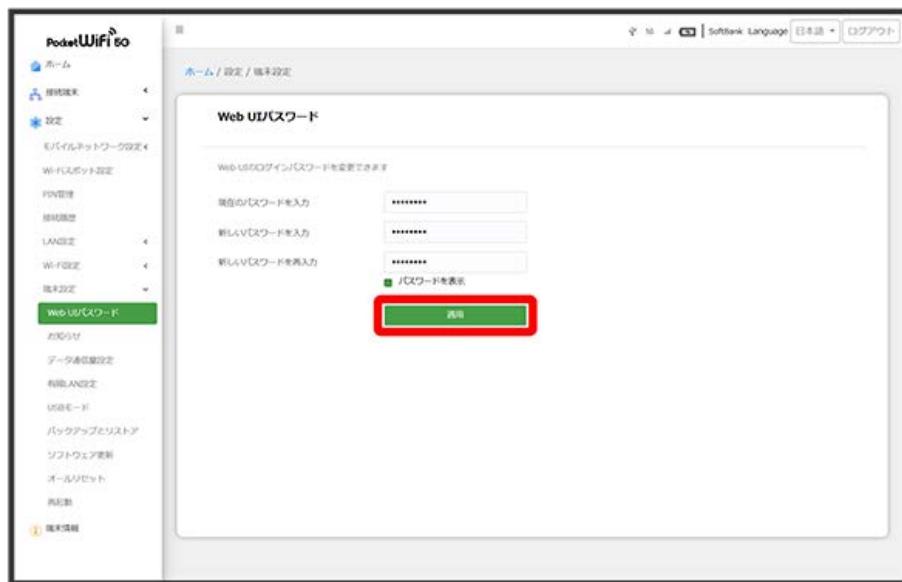
新しいパスワードを入力



- ・使用できる文字は8~32バイトの半角英数字、記号です。英大文字、英小文字、数字、記号の4種の文字をそれぞれ1文字以上含める必要があります。

4

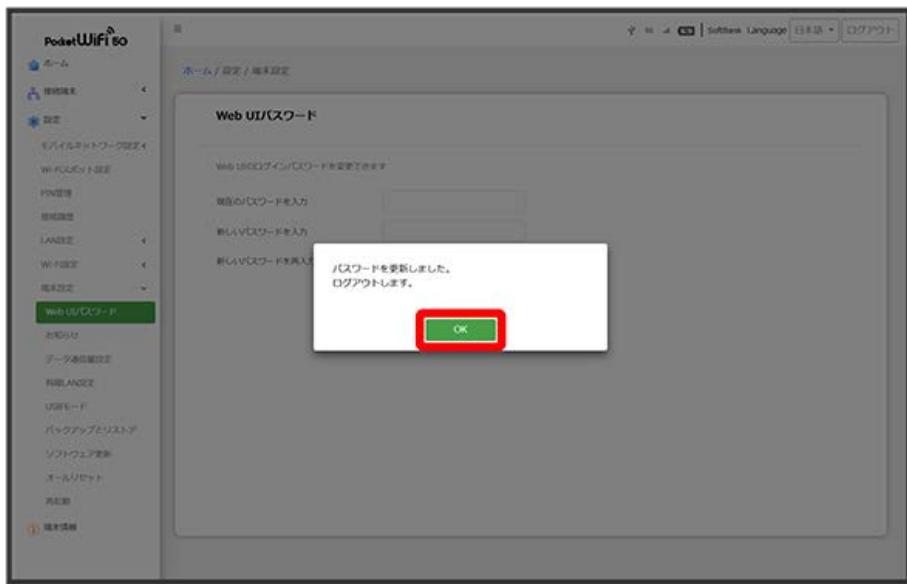
新しいパスワードを再入力 → 適用



各種機能を設定する（Web UIを使用する）

5

OK



- ☒ 新しいパスワードが設定されます。設定が完了すると、Web UIからログアウトされ、ホーム画面に戻ります。

お知らせを確認する

受信したお知らせを確認できます。

1

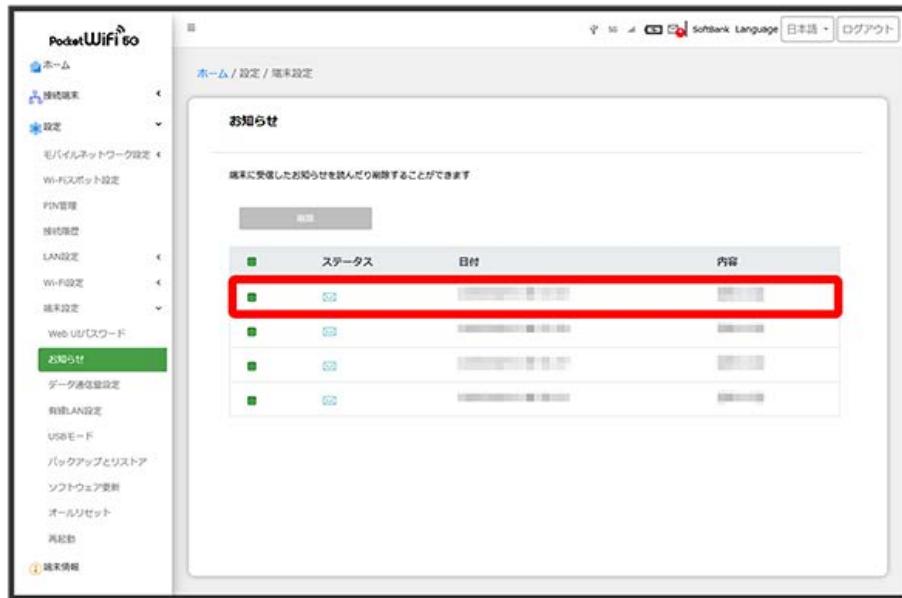
「設定」タブ → 端末設定 → お知らせ



お知らせの一覧が表示されます。

2

確認するお知らせを選択



お知らせが表示されます。

各種機能を設定する（Web UIを使用する）

お知らせを選択して削除する

受信したお知らせを削除できます。

1

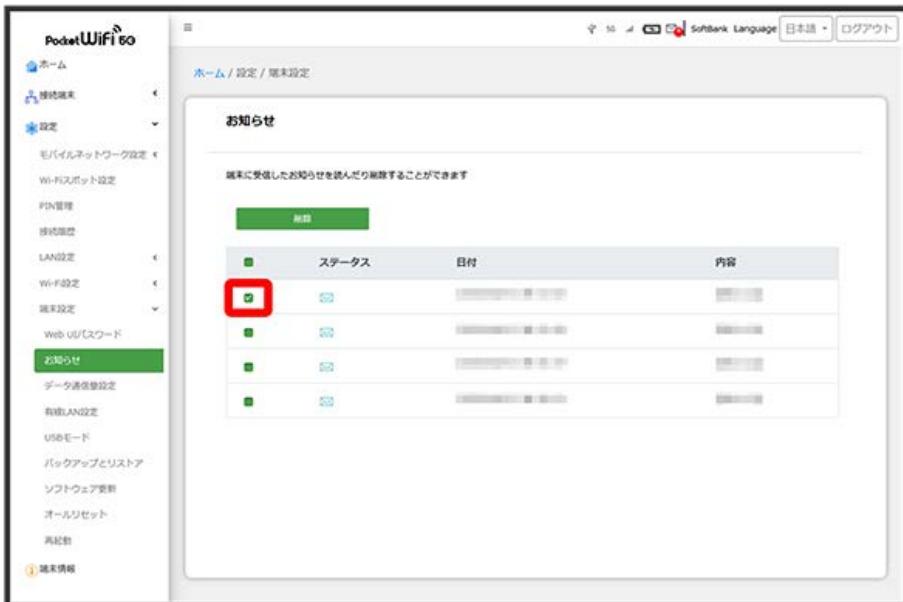
「設定」タブ → 端末設定 → お知らせ



お知らせの一覧が表示されます。

2

削除するお知らせにチェックを付ける



・ タイトル行のチェックボックスにチェックを付けると、全件を選択できます。

3

削除

The screenshot shows the 'お知らせ' (Announcement) section of the Pocket WiFi 5G web interface. On the left, there's a sidebar with various settings like 'モバイルネットワーク設定' and 'Wi-Fiスポット設定'. The main area displays a list of announcements with columns for 'ステータス' (Status), '日付' (Date), and '内容' (Content). A red box highlights the green '削除' (Delete) button at the top right of the table.

4

(はい)

This screenshot shows a confirmation dialog box titled '削除' (Delete) appearing over the announcement list. It asks 'お知らせを削除します。よろしいですか？' (Do you want to delete the announcement?). The 'はい' (Yes) button is highlighted with a red box.

お知らせが削除されます。

各種機能を設定する（Web UIを使用する）

最大通信量を設定する

毎月のデータ通信量の目安値を設定できます。設定したデータ通信量を超えると、本機のポップアップ画面やアイコンの表示などでお知らせします。お買い上げ時の最大通信量は、**50 GB** に設定されています。設定できる範囲は、**1 MB** ~ **999 TB** です。

- ・最大通信量で設定したデータ通信量を超えると、本機のロック画面に表示される (バー表示アイコン) が (赤いバーのアイコン) に変わります。お使いいただく際の目安の表示となり、それ以上通信ができなくなることを示すものではありません。
- ・設定する最大通信量はご契約されるプランと連動したものではありません。また、本機でカウントするデータ量は端末側の目安でのデータ量となり、実際のデータ量とは異なりますので、ご注意ください。

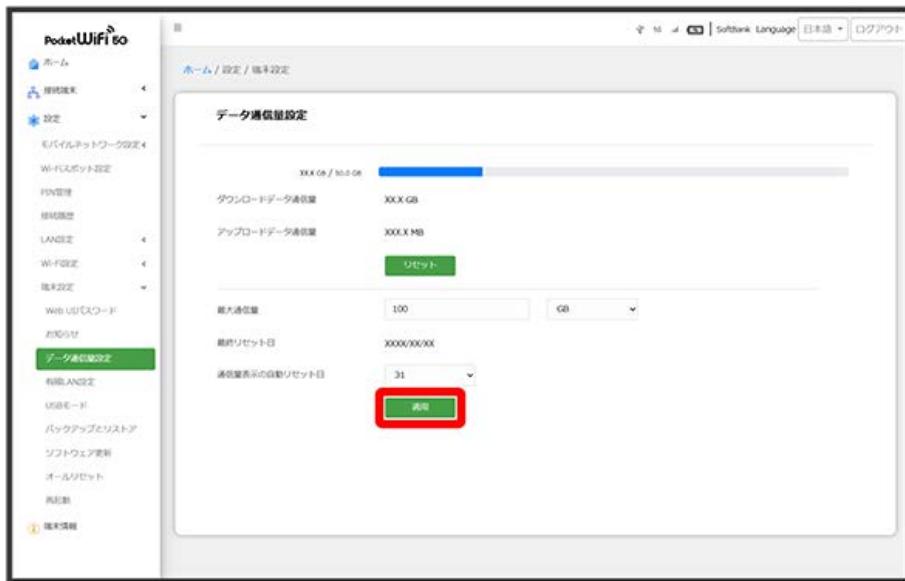
1

「設定」タブ → 端末設定 → データ通信量設定



2

最大通信量とする数値を入力 → 通信量の単位を選択 → 適用



・単位は **MB** / **GB** / **TB** を選択できます。

3

OK

適用しました

OK

最大通信量が設定されます。

自動リセット日を設定する

毎月、データ通信量を自動的にリセットする日を設定できます。設定した日付から、翌日に変わるタイミングでリセットされます。

- お買い上げ時の通信量の自動リセット日は、31に設定されています。設定できる範囲は、01～31です。

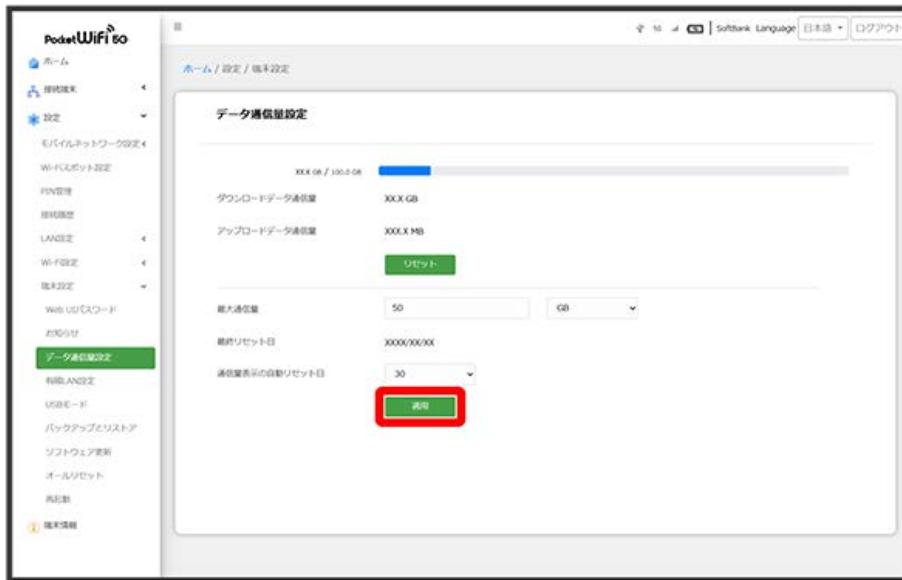
1

「設定」タブ → 端末設定 → データ通信量設定



2

自動リセット日を選択 → 適用



3

OK

適用しました

OK データ通信量を自動的にリセットする日が設定されます。

- ・自動リセット日を31に設定すると、月末日が31日に満たない月でも月末日にリセットされます。
- ・リセット  [はい] と操作すると、表示されているデータ通信量をリセットします。
- ・データ通信量は下記の条件でもリセットされます。
 - ・本機の設定内容をお買い上げ時の状態に戻したとき
 - ・SIMカードを差し替えたとき
 - ・本機のタッチメニューで [日時自動設定] をONにしたとき
 - ・本機のタッチメニューで [日付と時刻] の設定を変更したとき

有線LAN接続時の通信速度を設定する

有線LAN接続時の通信速度を設定します。

- お買い上げ時の通信速度は、**自動**に設定されています。

1

「設定」タブ → 端末設定 → 有線LAN設定



2

「通信速度」の **自動** / **100 Mbps** を選択 → 適用



3

OK → OK

適用しました

OK

 有線LAN接続時の通信速度が設定されます。

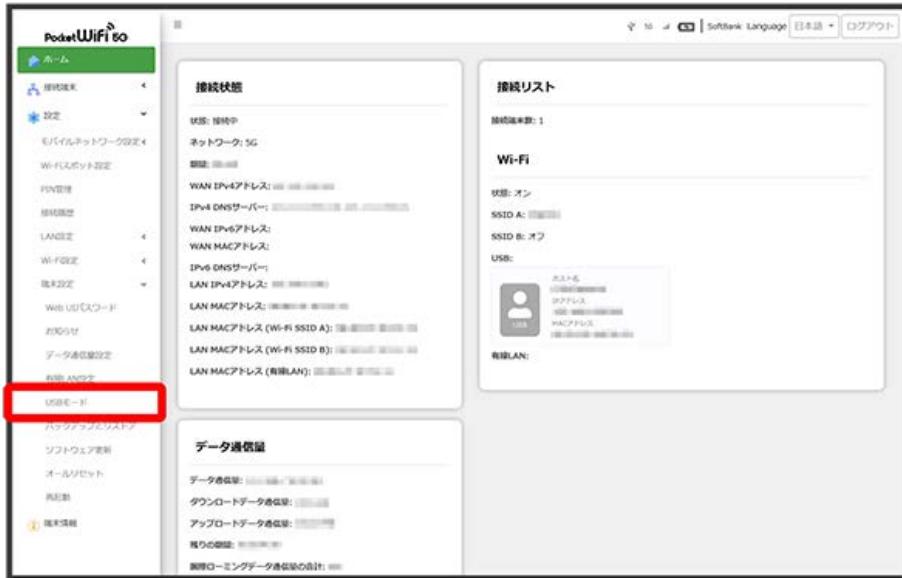
USB通信規格を設定する

USBの通信規格を設定します。

- お買い上げ時のUSBモードは、**USB 3.0**に設定されています。

1

「設定」タブ → 端末設定 → USBモード



2

「USBモード」の **USB 3.0** / **USB 2.0** を選択 → 適用



3

OK



- USBの通信規格が設定されます。設定が完了すると、ホーム画面に戻ります。

各種機能を設定する（Web UIを使用する）

設定をバックアップする

本機に設定した内容をパソコンに保存できます。

- ・ブラウザの設定によっては、保存先フォルダとファイル名を指定できない場合があります。

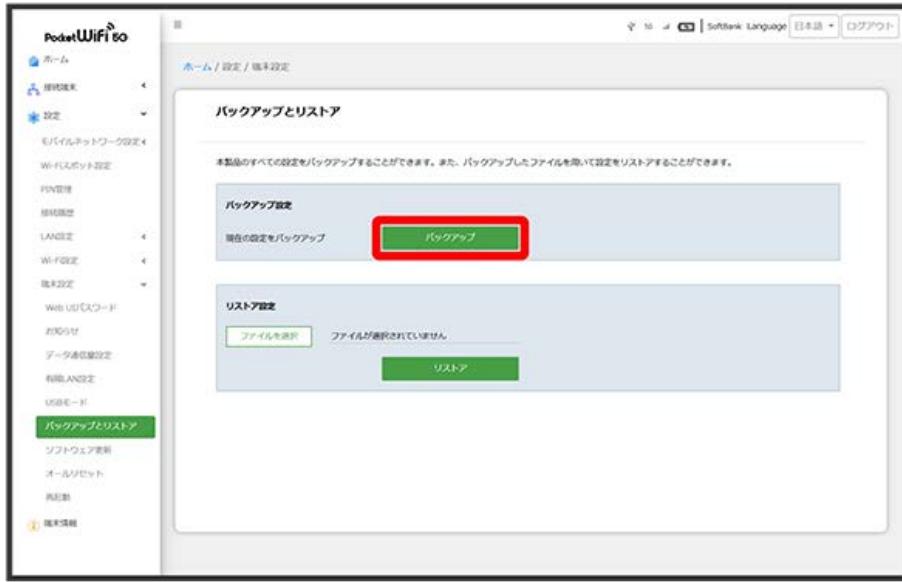
1

「設定」タブ → 端末設定 → バックアップとリストア



2

バックアップ



バックアップ用のXMLファイルがダウンロードされます。

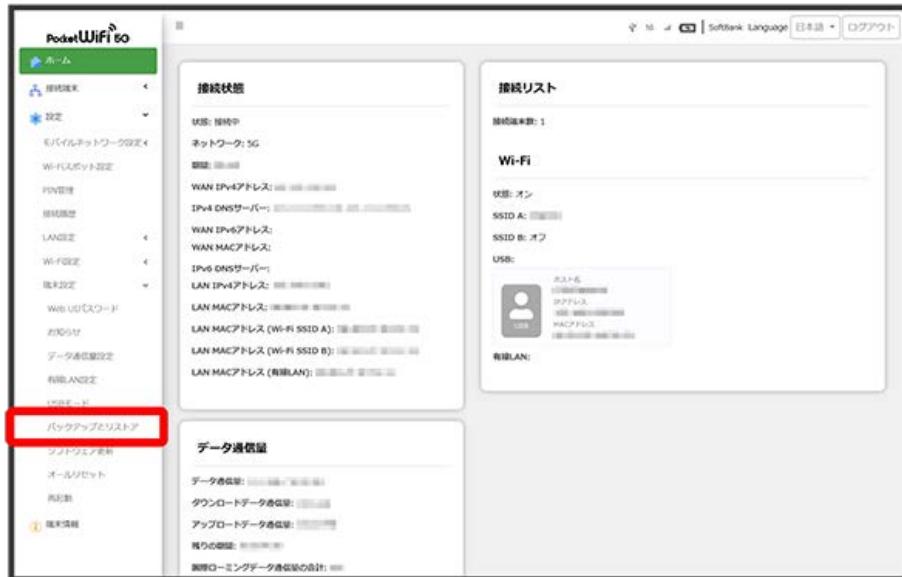
- ・バックアップ用のXMLファイルのデフォルト名は「settings.xml」です。
- ・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

設定をリストアする

「設定をバックアップする」でダウンロードしたXMLファイルを使用して、バックアップ時の設定を復元します。

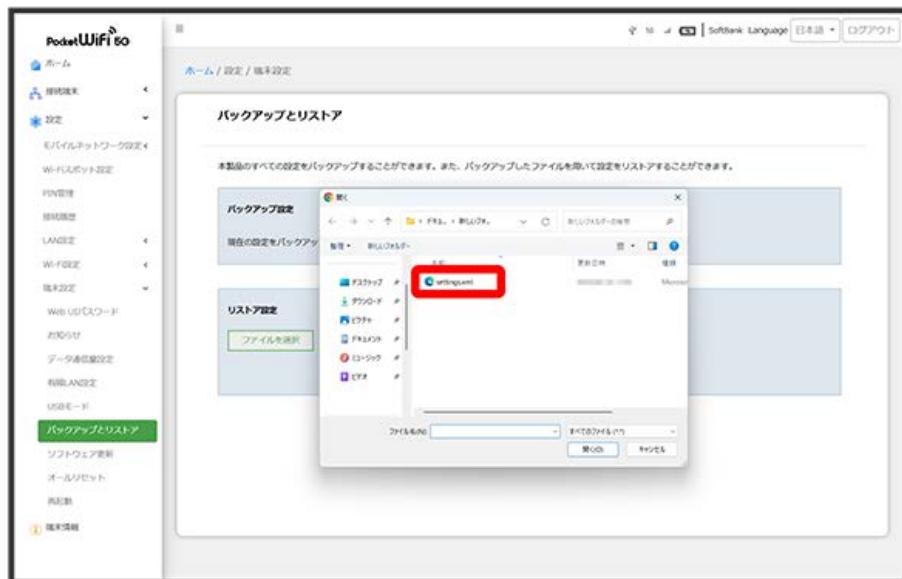
1

「設定」タブ → [端末設定] → バックアップとリストア



2

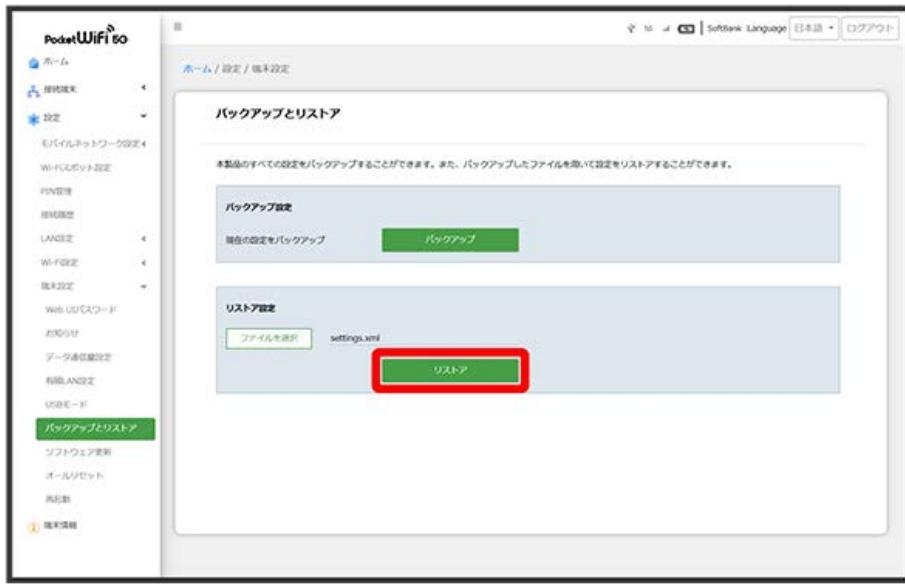
[ファイルを選択] → ダウンロードしたXMLファイルを選択



各種機能を設定する（Web UIを使用する）

3

リストア



設定の復元が開始されます。復元が完了すると、本機が再起動し、Web UIからログアウトされます。

・確認画面が表示されたときは、画面の指示に従って操作してください。

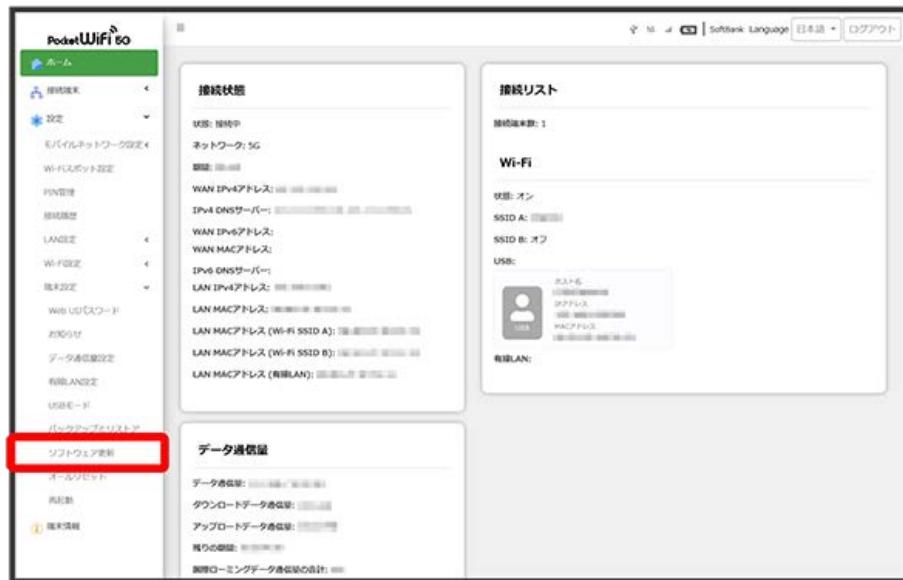
ソフトウェアの自動更新を設定する

自動更新を有効にすると、ソフトウェアを自動的に更新します。無効にすると、新しいソフトウェアがあるかどうかは確認しますが、自動的に更新されません。

- お買い上げ時の自動更新は **有効** に、更新時刻（時）は **4 :00** に設定されています。更新時刻（時）で設定できる範囲は、**0 :00**～**23 :00**です。

1

「設定」タブ → 端末設定 → ソフトウェア更新



2

「自動更新」の **有効** / **無効** を選択 → 更新時刻を設定 → 適用



ソフトウェアの自動更新機能が設定されます。

ソフトウェアの更新を行う

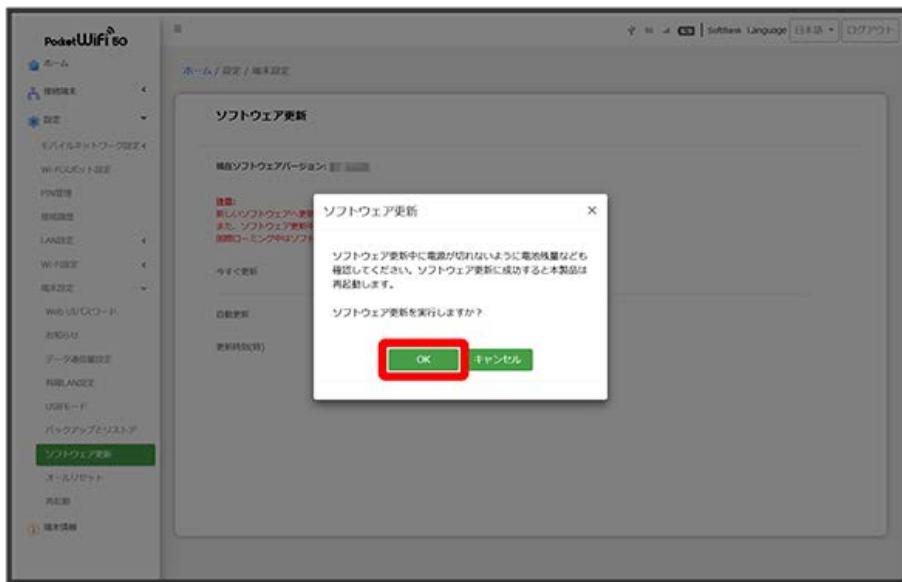
1

「設定」タブ → 端末設定 → ソフトウェア更新



2

更新 → OK



☑ 最新のソフトウェアが確認され、最新のソフトウェアがある場合はソフトウェアが更新されます。ソフトウェア更新が完了すると、本機が自動で再起動されます。

- ・更新の種類によっては、更新ファイルのダウンロードとインストールが自動的に行われます。
- ・ソフトウェアが最新の場合は、「新しいバージョンはありません」と表示されます。
- ・再起動についての確認画面が表示された場合は、内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- ・ソフトウェア更新は本機のタッチメニューからも同様に操作できます。詳しくは、「[ソフトウェアの更新を行う](#)」を参照してください。

ソフトウェアの更新について

ソフトウェア更新とは、本機をより安全で快適にご利用いただくためにソフトウェアの更新を行う機能です。以下の内容が含まれますので、必ず最新ソフトウェアへのアップデートをお願いいたします。

ソフトウェア更新の種類としては以下の2つがあります。

- ・新機能追加

本機機能を更新することで、機能・操作性が向上し、本機をより快適にご利用いただけます。

- ・品質改善

本機機能を更新することで、品質が向上し、本機をより快適にご利用いただけます。

本機に提供されている具体的なソフトウェア更新の内容および期間については、当社のウェブサイトをご覧ください。

- ・ご利用条件

・・ソフトウェアが改造されているときはアップデートができません。

・ソフトウェア更新は、本機に設定された内容を残したまま行うことができますが、お客様の端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータは事前にバックアップを取っていただくことをおすすめします。

ソフトウェア更新時のご注意

ソフトウェアを更新する際は、以下にご注意ください。

- ・ソフトウェア更新完了後は、以前のソフトウェアへ戻すことはできません。
- ・ソフトウェア更新中、本機固有の情報（機種や製造番号など）が当社のサーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ・新しいソフトウェアへ更新する際に再起動します。また、ソフトウェア更新中はデータ通信を利用できない場合があります。
- ・再起動中は各種機能を利用できません。
- ・PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードの入力を求められる場合があります。
- ・ソフトウェア更新に失敗し、一切の操作ができなくなった場合には、ご相談ください。お問い合わせ先については、「[お問い合わせ先](#)」を参照してください。
- ・以下の場合はソフトウェア更新ができません。事象を解消後に再度お試しください。
 - ・必要な電池残量がないとき
 - ・「圏外」が表示されているとき
 - ・国際ローミング中
 - ・基本ソフトウェアを不正に変更しているとき
- ・ソフトウェア更新中は電源を切ったりしないでください。
- ・更新ファイルのダウンロード中は電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、アップデートを中断することがあります。
- ・ソフトウェア更新は、電池残量が30%以上のときに行えます。
- ・「バッテリーケアモード（弱）」の場合でもソフトウェア更新が利用できます。「バッテリーケアモード（強）」の場合は、電池残量が15%以上かつACアダプタ接続中のときに行えます。
- ・ソフトウェアの更新中は、データ通信など他の機能はご利用できません（※Wi-Fiスポットを利用している場合を除く）。
- ・LAN内の端末が通信中の場合はソフトウェア更新ができません（※Wi-Fiスポットを利用している場合を除く）。

本機をリセットする

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- ・SIMカードの内容を除き、本体設定がすべてお買い上げ時の状態に戻りますので、ご注意ください。
- ・本機のリセットボタンからもリセットすることができます。

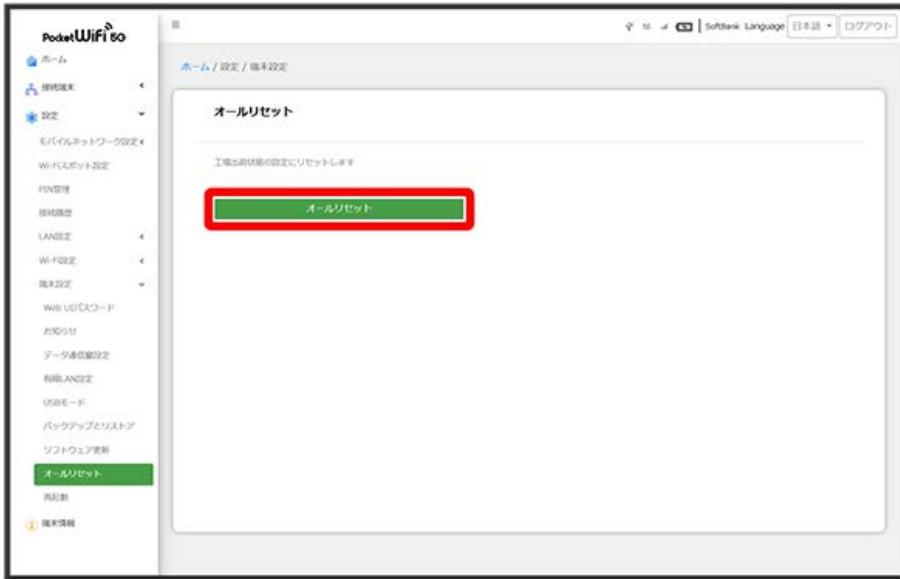
1

「設定」タブ → 端末設定 → オールリセット



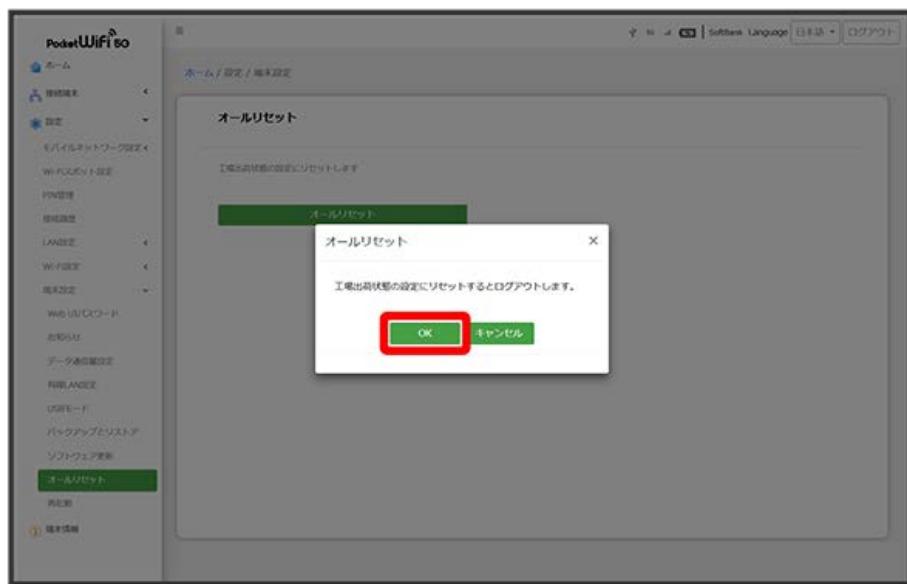
2

オールリセット



3

OK



- ▣ 本機が再起動し、お買い上げ時の設定に戻ります。また、Web UIからログアウトされます。

本機を再起動する

Web UIから本機を再起動したり、指定した日数を経過すると指定した時刻に再起動するかどうかなどを設定できます。

- お買い上げ時の自動再起動は**無効**に、自動再起動時間は**30**日間隔／**00:00**に設定されています。自動再起動時間で設定できる範囲は、**1**～**30**日間隔／**00:00**～**23:59**です。

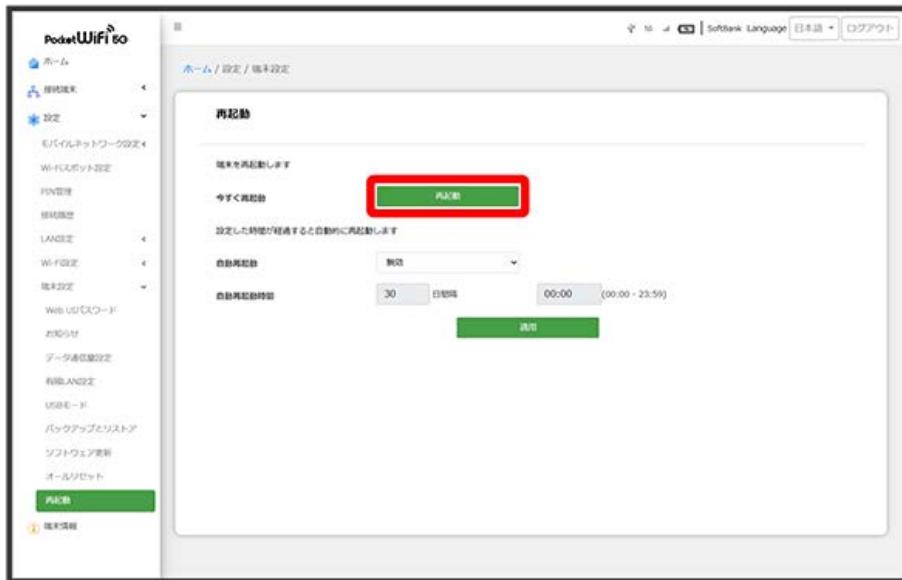
1

「設定」タブ ➔ 端末設定 ➔ 再起動



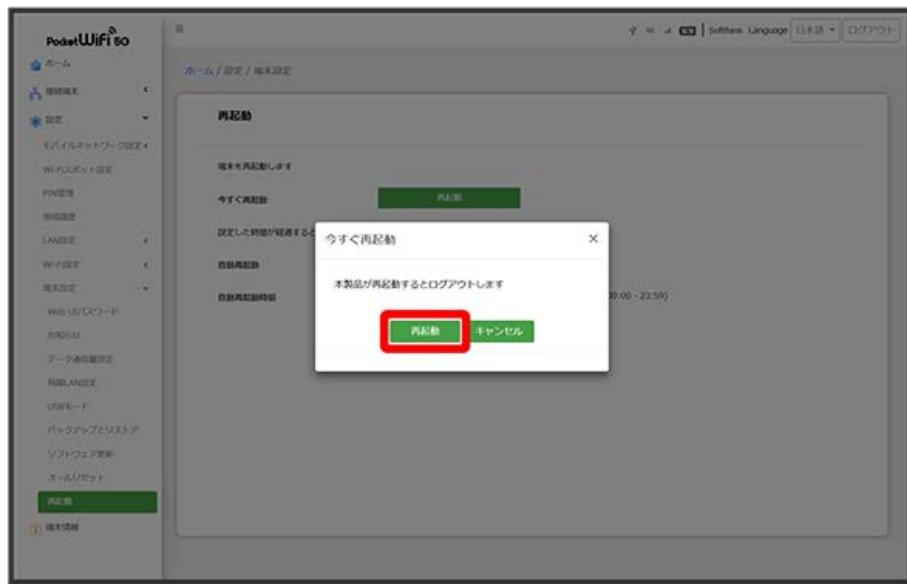
2

再起動



3

再起動



- ▣ 本機が再起動し、Web UIからログアウトされます。

端末情報を表示する

本機の情報を確認する

本機のファームウェアバージョンなど、各種情報を確認できます。

項目	説明
電話番号	SIMカードに登録されている電話番号です。
現在のプロファイル名	現在のプロファイル名です。
IMEI	本機の製造番号です。
接続可能台数	本機の接続可能台数です。
LANドメイン	本機のLANドメインです。
システムバージョン	システムのバージョンです。
ソフトウェアバージョン	ソフトウェアのバージョンです。
お客様サポートサイト	サポート窓口および製品情報ページのウェブサイトを表示します。

1

「端末情報」タブ



端末情報が確認できます。

困ったときは／仕様／保証／お問い合わせ先

トラブルシューティング.....	176
仕様.....	179
本製品の比吸収率（SAR）について.....	180
FCC Notice.....	182
保証とアフターサービス.....	183
お問い合わせ先.....	184

トラブルシューティング

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

こんなときは

Q. 無線LAN端末を接続できない

- A. 本機と無線LAN端末の無線LAN機能がONになっていることを確認してください。無線LAN端末の接続数が0になり、ディスプレイが消光した状態から5分経過すると、本機がスリープモードになり、本機の無線LAN機能とモバイルネットワークがOFFになります。電源キーを押すと自動的にONになります。OFFになるまでの時間は本機の[設定](#)の「Wi-Fiスリープ設定」で変更ができます。詳しくは、「[スリープモードを設定する](#)」を参照してください。
- A. 無線LAN端末で本機のSSIDが選択されているか、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しているかを確認してください。SSIDまたはパスワード（セキュリティキー）を忘れた場合は、本機のタッチメニューの「[Wi-Fi接続](#)」およびWeb UIの「[Wi-Fi設定](#)」で確認や変更ができます。
詳しくは、「[SSIDとパスワード（セキュリティキー）を設定する](#)」および「[Wi-Fiの基本設定を行う（SSID A）](#)」を参照してください。また、無線LAN端末によっては、WPA2™/WPA3の暗号化方式に対応していない場合があります。お使いの無線LAN端末の取扱説明書を参照してください。
- A. WPS機能で接続できない場合は、無線LAN端末の取扱説明書などを参照してください。
それでも接続できない場合は、無線LAN機能を手動で設定する必要があります。詳しくは、「[無線LANで接続する](#)」の各ページを参照してください。
- A. Wi-Fi通信規格設定を変更してから、再度接続をお試しください。詳しくは、「[Wi-Fi通信規格を設定する](#)」を参照してください。
- A. 無線LAN端末の仕様や設定によっては、本機と無線LAN端末の無線LAN機能をONにしても、自動的に接続が再開されない場合があります。お使いの無線LAN端末の取扱説明書を参照してください。
- A. Wi-Fi対応機器によっては、SSIDステルス機能やWi-Fi暗号化強化（PMF）に対応しておりません。
Wi-Fi接続できないときは、Web UIから「[設定](#)」→「[Wi-Fi設定](#)」→「[基本設定](#)」の「[SSIDステルス](#)」と「[Wi-Fi暗号化強化（PMF）](#)」を「[無効](#)」に設定にしてから、再度Wi-Fi接続し直してください。詳しくは、「[Wi-Fiの基本設定を行う（SSID A）](#)」を参照してください。

Q. 本機をパソコンにUSB接続しても、パソコンが本機を認識しない

- A. 本機が正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
A. 本機をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。
A. Windows 11の場合は、次の手順で本機が正しく取り付けられていることを確認してください。

スタートメニューを右クリック → デバイスマネー

ジャー → 次の項目が表示されていることを確認する

・「ネットワークアダプター」に「Remote NDIS Compatible Device」

- A. Windows 10の場合は次の手順で本機が正しく取り付けられていることを確認してください。

スタートメニューを右クリック → デバイスマネー

ジャー → 次の項目が表示されていることを確認する

・「ネットワークアダプター」に「Remote NDIS Compatible Device」

Q. 充電時間が長い

- A. パソコンとのUSB接続を利用して充電している場合、充電時間は長くなります。
A. 本機を使用しながら充電している場合、充電時間は長くなります。

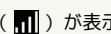
Q. インターネットへの接続が失敗した

- A. サービスエリア内であることをご確認ください。
A. 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度接続してください。
A. 時間帯によって接続先が混雑している可能性もありますので、しばらくしてからもう一度接続してください。
A. Web UIを起動し、ネットワーク関連の設定が正しく設定されていることを確認してください。

Q. 通信がすぐに切れる

- A. 電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
- A. 本機の電池残量を確認してください。電池残量が少なくなっている場合は、USBケーブル（別売または推奨品）でパソコンに接続するか、ACアダプタ（別売）を接続して充電してください。
- A. 本機とパソコンなどが、無線LANまたはUSBケーブル（別売または推奨品）により正しく接続されていることを確認してください。
- A. 本機と無線LAN端末を無線LANで接続している場合には、本機の電源をいったん切ってからもう一度電源を入れてください。
- A. 本機とパソコンをUSBケーブル（別売または推奨品）で接続している場合には、本機をパソコンから取り外しても一度接続してください。本機の「設定」の「USBモード」で「USB 3.0」を選択している場合は、「USB 2.0」に変更してください。詳しくは、「USB通信規格を設定する」を参照してください。
- A. 無線LAN端末によっては、一定時間データ通信が行われないと通信機能が停止する場合があります。お使いの無線LAN端末の取扱説明書を参照してください。
- A. 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、パソコンを再起動し、もう一度接続してください。

Q. 無線LAN端末を本機に接続してもデータ通信ができない

- A. SIMカードが認識されていることを確認してください。
- A. 本機がモバイルネットワークに接続していることを確認してください。モバイルネットワークに接続している場合、ホーム画面にはモバイルネットワーク接続中を示すアイコン（）が表示されます。
- A. 本機のソフトウェア更新中はデータ通信ができません。更新が完了してからもう一度接続してください。

Q. 通信速度が遅く感じる

- A. 本機のステータスバーに  が表示されている場合、ご利用のデータ通信量により通信速度の低速化が開始されています。詳しくは、「データ通信量に関する操作を行う」を参照してください。
- A. 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
- A. 回線の状態が良くないことがあります。時間を置いて再度試してください。
- A. 周辺で使用されている無線LAN端末などの電波と干渉していることがあります。本機の無線LANチャンネルを変更するか、USBケーブル（別売または推奨品）で接続して再度試してください。本機の無線LANチャンネルの変更方法について詳しくは、「Wi-Fiの詳細設定を行う」を参照してください。
- A. テレビ・ラジオ・電子レンジなどは本機の電波と干渉することがあります。これらの機器と離して利用するか電源を切ることで干渉しているかを確認することができます。
- A. 本機の温度が高い状態が続くと、通信を制限する場合があります。しばらくしてから再度接続してください。
- A. 本機にカバーやケースなどを装着している場合は、取り外してください。

Q. PINコードを忘れた／PINロック解除コード（PUKコード）を知らない／SIMカードが完全ロック状態である

- A. お問い合わせ先までご連絡ください。
- Q. SIMカードが認識されない／SIMカードが無効と表示される
- A. SIMカードが正しく取り付けられているかどうかをご確認ください。詳しくは、「SIMカードを取り付ける」を参照してください。
- A. SIMカードが変形していないことを確認してください。
- A. SIMカードのIC部分にキズや腐食がないことを確認してください。
- A. SIMカード（特にIC部分）が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- A. お問い合わせ先までご連絡ください。

Q. 管理者権限（Administrator）でログインしているのかわからない

- A. Windows 11の場合は、次の手順で確認してください。
スタートメニューを右クリック → 設定 → アカウント
ト → 現在ログインしているアカウントの種類が「管理者」であることを確認する
- A. Windows 10の場合は、次の手順で確認してください。
スタートメニューを右クリック → 設定 → アカウント
ト → 現在ログインしているアカウントの種類が「管理者」であることを確認する
- A. macOS Sequoia 15.1の場合、次の手順で確認してください。
アップルメニューから システム環境設定 → ユーザとグループ
ト → 現在ログインしているアカウントの種類が「管理者」であることを確認する

- Q.** 国内から国外に移動した場合、圏外のままとなり使用できない
- A.** 國際ローミングの自動接続設定がONになっていることを確認してください。詳しくは、「[国際ローミングを設定する](#)」を参照してください。
- Q.** 本機の設定をお買い上げ時の状態に戻したい（リセット）
- A.** 本機のタッチメニュー、またはWeb UIを使用してリセットすることができます。詳しくは、「[本体について](#)」（タッチメニューの場合）、「[本機をリセットする](#)」（Web UIの場合）を参照してください。
- Q.** Web UIに解約した電話番号が表示される
- A.** お客様のご契約内容や解約方法によって、解約後もWeb UI画面に電話番号が表示されることがあります。
- Q.** 本機の動作が不安定
- A.** 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所などで使用されていませんか。「お願いとご注意」をご確認の上、適切な環境でご使用ください。
- Q.** 本機の電源が切れる
- A.** 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所などで使用されていませんか。「お願いとご注意」をご確認の上、適切な環境でご使用ください。
- A.** 本機を再起動して、電池残量を確認してください。電池残量が少ない場合は充電を行い、充電開始後10分ほど経過してから再度電源を入れ、正常に起動するか確認してください。
- Q.** 音声チャットやビデオチャットの接続が失敗する
- A.** サービスエリア内であることを確認してください。
- A.** 電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。
- Q.** 電池の消耗が早い
- A.** ディスプレイの明るさやバックライトの点灯時間、スリープモード、クリック起動などの設定によっては電池の消耗が早くなりますので、設定を変更してください。詳しくは、「[その他の設定を行う](#)」の各ページを参照してください。
- A.** ネットワークへの接続が不安定な場合、電池の消耗が早くなります。
- A.** 電池の使用時間は、充電／放電の繰り返しにより徐々に短くなります。

- Q.** 充電ができない
- A.** ACアダプタ（別売）の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- A.** ACアダプタ（別売）と本機が正しくセットされていますか。
- A.** ACアダプタ（別売）のType-Cプラグと本機がしっかりと接続されていますか。
- A.** USBケーブル（別売または推奨品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。
- A.** 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、本機の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本機の温度が下がってから再度充電を行ってください。
- A.** 本機に対応しているACアダプタ（別売）で充電していますか。ACアダプタについてはソフトバンクのウェブサイトを参照してください。
- Q.** 通信速度が遅く感じる
- A.** 高温による通信速度制限中は、ステータスアイコン表示エリアにアイコン（▲）が表示されます。本体の温度が下がってからご使用ください。
- Q.** 通信がすぐに切れる
- A.** 高温による機能制限中は、ステータスアイコン表示エリアにアイコン（▲）が表示されます。本体の温度が下がってからご使用ください。
- Q.** Web UIのログインパスワードを忘れた
- A.** Web UIのログインパスワードを忘れてしまった場合は、本機のリセットボタンで本機を初期化することで、パスワードも初期化されます。
本機をリセットする方法は、「[本体について](#)」を参照してください。
- Q.** 画面ロック解除のログインパスワードを忘れた
- A.** 画面ロック解除パスワードを忘れてしまった場合は、本機のリセットボタンで本機を初期化することで、パスワードが設定されていない状態に戻ります。
本機をリセットする方法は、「[本体について](#)」（タッチメニューの場合）または「[本機をリセットする](#)」（Web UIの場合）を参照してください。

仕様

本体

本機の仕様は次のとおりです。

・お使いの場所や状況（充電状況、気温など）によって、表内の時間は変動します。

項目	説明
サイズ（幅×高さ×奥行）	約108×74×15.7mm
質量	約168g
インターフェイス	USB 3.0（Type-C端子）
環境条件	動作温度範囲：5～35°C 動作湿度範囲：45%～85%
充電時間	約190分（USB PD-PPS対応 USB Type-C™ 急速充電 ACアダプタ [ZSDBAV]（SB-AC22-TCPD）使用時） ※本機の電源を切って充電したときの目安時間です。
通信方式	国内利用時 5G：3.7GHz、3.5GHz、3.4GHz、1.7GHz、700MHz 4G（TDD-LTE（AXGP含む））：3.5GHz、2.5GHz LTE（FDD-LTE）：2.1GHz、1.7GHz、800MHz、900MHz、700MHz 海外利用時 5G：3.5GHz 4G（TDD-LTE（AXGP含む））：1.9GHz、2.3GHz、2.5GHz、3.5GHz LTE（FDD-LTE）：2.1GHz、1.7GHz、1.7GHz/2.1GHz（AWS）、850MHz、2.6GHz、900MHz、700MHz 3G：2.1GHz、850MHz、900MHz 無線LAN IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax（Wi-Fiスポット） IEEE802.11a/b/g/n/ac/ax（LAN Wi-Fi）

5G：	n3 上り：1710～1785MHz、下り：1805～1880MHz n28 上り：718～748MHz、下り：773～803MHz n77 上り：3300～4200MHz、下り：3300～4200MHz n78 上り：3300～3800MHz、下り：3300～3800MHz 4G（TDD-LTE（AXGP含む））： B38 上り：2570～2620MHz、下り：2570～2620MHz B39 上り：1880～1920MHz、下り：1880～1920MHz B40 上り：2300～2400MHz、下り：2300～2400MHz B41 上り：2496～2690MHz、下り：2496～2690MHz B42 上り：3400～3600MHz、下り：3400～3600MHz LTE（FDD-LTE）： B1 上り：1920～1980MHz、下り：2110～2170MHz B3 上り：1710～1785MHz、下り：1805～1880MHz B4 上り：1710～1755MHz、下り：2110～2155MHz B5 上り：824～849MHz、下り：869～894MHz B7 上り：2500～2570MHz、下り：2620～2690MHz B8 上り：880～915MHz、下り：925～960MHz B12 上り：699～716MHz、下り：729～746MHz B18 上り：815～830MHz、下り：860～875MHz B19 上り：830～845MHz、下り：875～890MHz B28 上り：718～748MHz、下り：773～803MHz 3G： B1 上り：1920～1980MHz、下り：2110～2170MHz B5 上り：824～849MHz、下り：869～894MHz B8 上り：880～915MHz、下り：925～960MHz 無線LAN： 2400～2484MHz（全13ch：国内） 5150～5350、5470～5730MHz
連続待受時間	5G（SA）※：約790時間 4G LTE（FDD-LTE）：約1,450時間 4G（AXGP）：約1,420時間 ※5Gの待受時間は5Gスタンドアローン環境での目安時間になります。
連続通信時間	5G（NSA）※：約540分 4G LTE（FDD-LTE）：約620分 4G（AXGP）：約710分 ※5Gの通信時間は5Gノンスタンドアローン環境での目安時間になります。

SIM取り出しツール

項目	説明
長さ	約28mm
質量	約0.5g

使用材料（本体）

使用箇所	使用材料／表面処理
ディスプレイパネル	アクリル樹脂+PC樹脂／ハードコート
外装	PC樹脂／塗装、ハードコート、印刷
電源キー	PC樹脂／塗装、ハードコート
USB Type-C接続端子の周囲 (内側側面)	ステンレス／ニッケルメッキ
SIMカードトレイ（外装部）	PC樹脂／塗装、ハードコート
SIMカードトレイ	PC樹脂+ステンレス／塗装、ハードコート

使用材料（SIM取り出しツール）

使用箇所	使用材料／表面処理
本体	ステンレス／なし

本製品の比吸収率（SAR）について

本製品の比吸収率（SAR）について

この製品【A503SH】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の中でも最も一般的な技術基準である国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、本製品を含む携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この製品を身体に装着した場合のSARの最大値は1.831W/kg※2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることがありますが、いずれも許容値を満たしています。

この製品を含む携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

この製品は人体の近くでご使用になることが可能ですが、キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、この製品が国の中でも最も一般的な技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- ・ 総務省のホームページ
<https://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- ・ 一般社団法人電波産業会のホームページ
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。

※2 携帯電話サービスと同時に使用可能な無線機能を含みます。

米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

この製品【A503SH】は無線送受信機器です。この製品は米国連邦通信委員会(FCC)によって要件として定められた許容値以下となるように設計及び製造されています。この許容値は独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この基準は使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

この製品を含む携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6 W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、下記に従い人体の近くでご使用になる場合は 1.08 W/kg です。

人体の近くでご使用になる場合： この製品は、一般的な使用方法として身体から1.0センチに距離を保ちこの製品の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、上記の距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。上記の条件に該当しない装身具は、要件を満たさない場合があるので使用を避けてください。

FCCは報告されたすべてのSARレベルが電波ばく露要件に準拠していることを確認し、この携帯電話機の認証を付与しています。この携帯電話機に関して提出されたSAR情報は、FCC ID検索ウェブページでFCC ID APYHRO00337を検索することで見つけることができます：

<https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid>

比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

Specific Absorption Rate (SAR) Information of This Product (for Japan)

This device [A503SH] complies with the Japanese technical regulations and international guidelines regarding exposure to radio waves.

This device was designed in observance of the Japanese technical regulations regarding exposure to radio waves^{*1} and the limits of exposure recommended in the international guidelines, which are equivalent to each other. The international guidelines were set out by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is in collaboration with the World Health Organization (WHO), and the permissible limits include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The technical regulations and the international guidelines set out the limits of exposure to radio waves as the Specific Absorption Rate, or SAR, which is the value of absorbed energy in any 10 grams of human tissue over a 6-minute period. The SAR limit for mobile phones including this device is 2.0 W/kg. The highest SAR value for this device when worn on the body is 1.831 W/kg ^{*2}. There may be slight differences of the SAR values in individual product, but they all satisfy the limit.

The actual value of SAR of this device while operating can be well below the indicated above. This is due to automatic changes in the power level of the device to ensure it only uses the minimum power required to access the network.

By using accessories such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body, this device is certified the compliance with the Japanese technical regulations.

The World Health Organization has stated that "a large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

Please refer to the websites listed below if you would like more detailed information regarding SAR.

- ・ Ministry of Internal Affairs and Communications Website:
<https://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/index.htm>
- ・ Association of Radio Industries and Businesses Website:
<https://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (in Japanese only)

^{*1} The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Radio Equipment Regulations, a Ministerial Ordinance of the Radio Act.

^{*2} Including other radio systems that can be simultaneously used with 5G/LTE.

困ったときは／仕様／保証／お問い合わせ先

FCC RF Exposure Information

This device [A503SH] is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limit for exposure to radio frequency (RF) energy required by the Federal Communications Commission (FCC). The limit is based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health conditions.

The exposure standard for mobile phones including this device employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

The tests are performed in positions and locations as required by the FCC. The highest SAR value for this device when tested for use worn on the body as shown below is 1.08 W/kg.

Body-worn Operation: This device was tested for typical body-worn operations with the separation distance of 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain the above separation distance between the user's body and the device. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with the FCC RF exposure requirements and should be avoided.

The FCC has granted an equipment authorization for this device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure requirements. Filed SAR information of this device can be found by searching FCC ID APYHRO00337 in the FCC ID Search webpage: <https://www.fcc.gov/oet/ea/fccid>.

Additional information on SAR can be found on the FCC website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed in the **About Device** menu.

FCC Notice

"A503SH" here refers to this Wi-Fi router " Pocket WiFi 5G."

Wi-Fi Router

Do not disassemble or modify Wi-Fi router.

Regulatory Information

We, SHARP CORPORATION, have confirmed that the product complies with the radio technical standards of Directive 2014/53/EU, but we have not issued a declaration of conformity for CE marking.

Battery Cautions

Use specified Charger only.

Non-specified equipment use may cause Internal Battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Battery is built into handset. Do not dispose of handset with ordinary refuse; take it to a SoftBank Shop for appropriate disposal.

Charge handset in ambient temperature 5°C - 35°C; Internal Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

FCC Notice

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.

These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

保証とアフターサービス

保証について

- ・保証期間は、本製品を新規でお買い上げいただいた日より1年間です。
- ・修理規定に基づき無料修理を行います。修理規定はソフトバンクのウェブサイトでご確認頂けます。
<https://www.softbank.jp/mobile/support/product/warranty/>
- ・保証対象部分は本体です。ケーブル類等や試供品については修理規定の対象外となります。

注意

損害について

本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

故障・修理について

故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な内容などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

分解・改造について

本製品を分解／改造すると、電波法にふれることができます。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、[お問い合わせ先](#)または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- ・保証期間中は修理規定に基づいて修理いたします。
- ・保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合はご要望により有料修理いたします。尚、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は生産打ち切り後日安として4年です。ただし、修理部品の不足等により、期間内であっても有料修理をお受けできない場合がございます。

ご不明な点について

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたは[お問い合わせ先](#)までご連絡ください。

困ったときは／仕様／保証／お問い合わせ先

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

各種お手続き (My SoftBank)

待ち時間0分で、いつでも簡単手続き可能です。利用料金／データ量の確認・プラン等各種変更ができます。（個人でご契約の場合）

<https://u.softbank.jp/2HHEHkw>



カスタマーサポート

機種の操作やサービス内容などのお困りごと・お問い合わせ内容に応じて、最適な解決方法をご案内します。（個人でご契約の場合）

<https://u.softbank.jp/3i5JjAB>



データ通信サポート窓口

セットアップ、操作方法等についてのお問い合わせ窓口です。

- ・ソフトバンク携帯電話から * 5525（通話料無料）
 - ・一般電話から ☎ 0088-21-5525（通話料無料）
 - ・受付時間：平日 午前9時から午後7時まで／土日祝 午前9時から午後5時まで
- ※海外からのご利用はできません。海外からご利用の場合／
+81-92-687-0042（有料）

Pocket WiFi® 5G A503SH 取扱説明書 索引

お

お知らせを確認する.....	65
お問い合わせ先.....	184

か

各部の名称とはたらき.....	8
-----------------	---

し

充電する.....	16
仕様.....	179

せ

接続中の無線LAN端末を確認する.....	80
接続履歴を確認する.....	106

そ

その他の設定を行う.....	50
----------------	----

た

タッチメニューについて.....	40
端末情報を表示する.....	174
端末設定を行う.....	150

て

データ通信量に関する操作を行う.....	67
データ通信量に関する通知について.....	13
データ通信量を設定する.....	44
電源を入れる／切る.....	17

と

トラブルシューティング.....	176
------------------	-----

は

はじめにお読みください.....	4
------------------	---

ほ

保証とアフターサービス.....	183
ホーム画面について.....	9
本機と接続中の機器の情報を確認する.....	47
本機の情報を確認する.....	66
本製品の比吸収率（SAR）について.....	180

む

無線LAN機能をONにする.....	20
--------------------	----

無線LAN (Wi-Fi)について 20

モ

モバイルネットワークを設定する 84

A

Android搭載端末を接続する 26

F

FCC Notice 182

I

iPhone® / iPad®を接続する 24

L

LAN設定を行う 107

M

MacとのUSB接続について 36

Macへの取り付け／取り外し 36

Macを接続する 23

P

PINコードを管理する 99

S

SIMカードについて 13

SSIDや認証方式を設定する 40

W

Web UIの概要 74

Web UIの見かた 77

Wi-Fiスポットの設定を行う 48

Wi-Fiスポットの設定を行う 93

Wi-Fi設定を行う 139

Wi-Fi対応機器を接続する 28

Windows/パソコンとのUSB接続について 32

Windows/パソコンへの取り付け／取り外し 32

Windows®/パソコンを接続する 21

WPS対応の無線LAN端末を接続する 29

Pocket WiFi® 5G A503SH 取扱説明書

2025年6月 第1版
ソフトバンク株式会社

※ご不明な点はお求めになった
ソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Pocket WiFi® 5G A503SH
製造元：シャープ株式会社